

にいかわ農村振興基本計画

令和3年3月

富山県新川農林振興センター

目次

第1章 計画策定の目的	1
1. 計画策定の趣旨	1
2. 計画の位置づけ	1
3. 計画の目標年次	1
4. 計画の構成	2
第2章 現状・課題の整理	3
1. 地域の情勢	3
2. アンケート調査	79
3. 上位・関連計画	85
4. 地域の診断	89
第3章 地域の将来像	97
1. 地域の将来の望ましい姿	97
2. 農村振興のテーマ	97
第4章 農村振興に関する施策の基本方針	99
1. 地域の将来像の実現のために必要な施策	99
2. 推進プログラム	101
3. ゾーンごとの取り組みと連携の方針	118
4. 計画の推進体制	121

第1章 計画策定の目的

1. 計画策定の趣旨

本地域では、豊かな水を活かした米中心の農業経営が展開されている中、人口減少・少子高齢化が加速していることで担い手不足などが深刻な課題となっています。一方、ICTやロボット技術といった先進技術により、今後農業・農村分野においても作業等における効率化が期待できるなど、社会情勢が刻々と変化しています。

このような変化を見せる社会情勢に的確に対応し、本地域の農業・農村の将来像及び農村振興施策の基本方針等を明らかにし、計画的に実行していくための指針として、「にいかわ農村振興基本計画」（以下、「本計画」とします）を策定しました。

2. 計画の位置づけ

本計画は、「元気とやま創造計画」（2018年3月）や「富山県農業・農村振興計画」（2018年5月）を上位計画とし、国の「食料・農業・農村基本計画」（2020年3月）、富山県の「富山県農業農村整備実施方針ーとやま水土里プロジェクト2019ー」（2019年8月）や各市町の既存計画等との整合性を図りつつ、県が農業従事者や関係機関と連携して本地域の農業振興を推進するための基本指針となります。

3. 計画の目標年次

本計画の目標年次は、2031年度としますが、社会情勢の変化等、必要に応じて適宜見直すこととします。

4. 計画の構成

本計画の構成は、下図のとおりです。

【計画の構成】

第1章 計画策定の目的

計画策定の趣旨や位置付けなどを示す

第2章 現状・課題の整理

1. 地域の情勢

本地域における農業など様々な分野の情勢を整理

2. アンケート調査

農村振興に関する意見を住民から幅広く聞き、計画策定の基礎資料として活用するため、アンケート調査を実施

3. 上位・関連計画

県や各市町の既存計画等と整合性を図るため、上位・関連計画を整理

4. 地域の診断

地域の情勢及びアンケート調査を踏まえて地域の課題を整理し、さらに上位・関連計画を踏まえて優先的に取り組むべき重点課題を示す

第3章 地域の将来像

1. 地域の将来の望ましい姿

重点課題を踏まえて、地域の将来像を設定

2. 農村振興のテーマ

地域の将来像の実現に向けて、農村振興のテーマを設定

第4章 農村振興に関する施策の基本方針

1. 地域の将来像の実現のために必要な施策

農村振興のテーマを達成するために、必要なハード・ソフト施策の項目を示す

2. 推進プログラム

1で示した施策の内容や実施スケジュール、目標指標を示す

3. ゾーンごとの取り組みと連携の方針

地域をゾーニングして各ゾーンの施策展開を示すとともに、連携の方針を示す

4. 計画の推進体制

計画の推進に向けて、実施体制等を示す

(2) 自然条件

① 位置・地勢

ア. 魚津市

総面積は 200.61km² で、北東は布施川を境に黒部市と、南西は早月川を隔てて滑川市・上市町と接しています。北西には富山湾があり、南東部は最大標高 2,415m（釜谷山：毛勝三山の一つ）に達する山岳地帯で北アルプスに連なっており、これらの山々を源として早月川、角川、片貝川、布施川などの河川が富山湾へ注いでいます。

イ. 滑川市

総面積は 54.63km² で、富山県の中央部からやや北東寄りに位置し富山湾に面しています。北東に早月川が、南西に上市川が流れ、南東には、壮大な北アルプスを背景に小起伏が続く丘陵地形とその前山的景観の「加積山麓階」とよばれる数段の台地群がみられます。平野部の大部分は、早月川、上市川の両河川によって形成された複合扇状地となっています。

ウ. 黒部市

総面積は 427.96km² で、富山県の北東部に位置し、北は日本海に面し、東は北アルプスの山々を仰ぎ、南は立山連峰をはじめとする中部山岳国立公園がひかえています。平坦部に比べて山岳部が比較的多く、大きな高低差のある黒部川、布施川などの河川が流れており、黒部川流域には広大で肥沃な黒部川扇状地が広がっています。

エ. 入善町

総面積は 71.25km² で、一級河川である黒部川が形成した黒部川扇状地の中央に位置し、東は朝日町、南西は黒部市、北は日本海に面しています。日本海に面した北側の海岸線は 11.5km、それを底辺として南に尖った三角形をしています。

オ. 朝日町

総面積は 227.41km² で、東は新潟県・長野県と接し、西は入善町、南は黒部市・長野県と接しています。東南は標高 2,418mの朝日岳・2,932mの白馬岳を主峰とする北アルプス連峰がそびえ、小川、笹川、境川、の三川はこれらの山々を源として富山湾に注いでいます。

② 歴史・沿革

1950年代の合併や市制施行等により、現在の5市町が誕生しました。また、その後も編入や分離、合併などの動きが見られます。

市町	年号	沿革
魚津市	1889年4月1日	町村制施行に伴い、現在の市域にあたる町村が成立。 (下新川郡魚津町、道下村、片貝谷村、加積村、経田村、天神村、上中島村、下中島村、西布施村、上野方村、下野方村、松倉村)
	1952年4月1日	上記全町村が合併して市制施行、現在に至る。 1954年4月1日に氷見市が大合併を行うまでは、富山県で一番広い面積を誇る市であった。
滑川市	1953年11月1日	旧滑川町、浜加積村、早月加積村、北加積村、東加積村、中加積村、西加積村の1町6か村が合併。
	1954年3月1日	滑川町が市制施行し、滑川市となる。
	1956年6月1日	隣接の上市町山加積の一部、本江外4集落を編入。
黒部市	1940年2月11日	下新川郡三日市町、石田村、田家村、村椿、大布施村、前沢村、荻生村、若栗村が合併して桜井町となった。
	1953年4月1日	東布施村が桜井町に編入された。
	1954年4月1日	桜井町と生地町が合併し、市制施行。
	2006年3月31日	隣接している宇奈月町と合併し、新たな黒部市となった。
入善町	1889年3月1日	町村制実施に伴い、入善町、上原村、青木村、飯野村、小摺戸村、新屋村、櫛山村、横山村の1町7か村となった。
	1953年10月1日	入善町、上原村、青木村、飯野村、小摺戸村、新屋村、櫛山村、横山村が新設合併し、改めて入善町が発足。
	1959年1月1日	舟見町(朝日町の野中分離地区が舟見町と合併)が編入。
朝日町	1954年8月1日	下新川郡泊町、大家庄村、五箇庄村、境村、南保村、宮崎村、山崎村が合併し、朝日町になる。
	1954年11月20日	下新川郡野中村を編入。
	1959年1月1日	旧野中村の区域の一部を下新川郡舟見町へ分離。

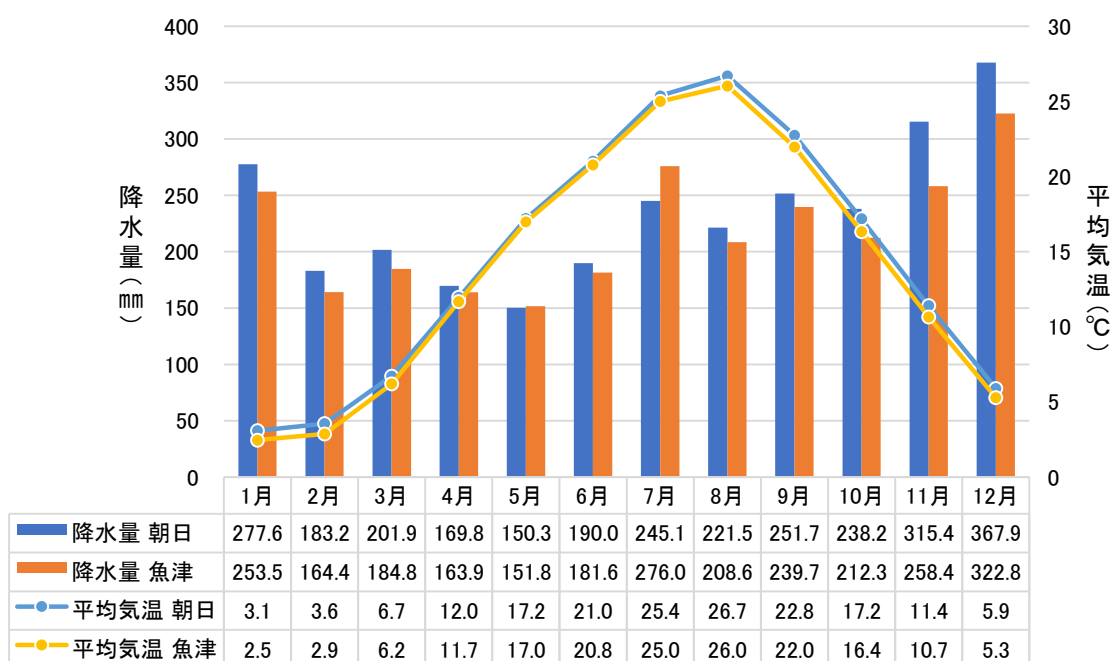
③ 気象

年間降水量について、朝日は2,812.4mm、魚津は2,617.7mmであり、年間降水量が比較的多いことが特徴です。また、梅雨の時期だけでなく、冬の期間にも降水量（積雪）が多くなっています。

年平均気温について、朝日は14.4℃、魚津は13.9℃であり、年平均気温が14℃前後となっています。

【月別降水量・平均気温】

月	降水量(mm) 【2000～2019年】		平均気温(℃) 【2000～2019年】	
	朝日	魚津	朝日	魚津
1月	277.6	253.5	3.1	2.5
2月	183.2	164.4	3.6	2.9
3月	201.9	184.8	6.7	6.2
4月	169.8	163.9	12.0	11.7
5月	150.3	151.8	17.2	17.0
6月	190.0	181.6	21.0	20.8
7月	245.1	276.0	25.4	25.0
8月	221.5	208.6	26.7	26.0
9月	251.7	239.7	22.8	22.0
10月	238.2	212.3	17.2	16.4
11月	315.4	258.4	11.4	10.7
12月	367.9	322.8	5.9	5.3
年	2,812.4	2,617.7	14.4	13.9



※本地域内の観測地点
出典:気象庁

④ 地形・地質

ア. 魚津市

地形は、飛騨変成花崗岩類からなる標高 400mから 1,000m以上の山地が全体の 60%を占め、平坦地は片貝川、布施川、早月川、角川によって形成された扇状地となっています。地質は、沖積層並びに洪積層で形成されています。

イ. 滑川市

地形は、山麓に発達する隆起(旧)扇状地と平野部を形成する(新)扇状地にほぼ大別されています。地質は、(新)扇状地の早月川寄りの地域は極端な砂壤土で、下層は礫層から成り地下水位も低い、上市川沿岸に近づくに従って粒土は細粒化し、壤土化しています。

ウ. 黒部市

地形は、北アルプスから富山湾まで約 3,000mの標高差があり、高山帯から低山帯、さらに黒部川の広大な扇状地、富山湾沿岸部など変化に富んでいます。地質は、宇奈月地域の平地では、黒部川によって沖積された第四期新層で砂礫が主になっており、耕作地では、第四期新層の泥土が混じるところがあり、砂には上流花崗岩の影響を受ける石英分が多くなっています。

エ. 入善町

地形は、黒部川の堆積によってつくられた扇状地が約 80%を占める沖積層地帯と約 20%を占める新洪積層地帯で形成されています。地質は、沖積層地帯では花崗岩系の砂壤土、新洪積層地帯では壤土からなっています。

オ. 朝日町

地形は、おおよそ平坦地の沖積層地帯と山麓地の洪積層地帯に分けられます。地質は、平坦地の五箇庄、南保地区と大家庄地区の一部に位置する沖積層地帯では、黒部川・小川水系から形成された乾田砂土壌土で耕地面積の約 35%を占め、山崎・大家庄地区の大半では、洪積層の植壤土で耕地面積の 40%を占めています。

(3) 土地利用の動向

① 土地利用の状況

令和元年における土地利用状況（民有地）は、総数が 22,559ha で県全体の約 2 割となっています。

土地利用の構成割合では、田が全体の約 6 割となっており、次いで山林・宅地が約 2 割と多くなっています。

田・宅地の構成割合は、富山県平均を上回っています。

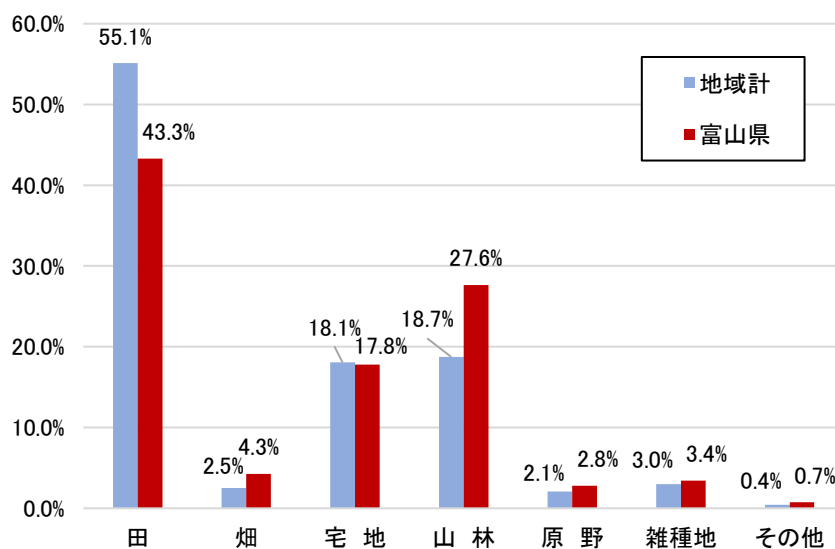
【土地利用面積】

(単位: ha)

市町	民有地							
	総数	田	畑	宅地	山林	原野	雑種地	その他
魚津市	4,897	1,991	266	950	1,443	82	162	3
	100.0%	40.7%	5.4%	19.4%	29.5%	1.7%	3.3%	0.1%
滑川市	3,673	2,285	57	971	275	19	66	0
	100.0%	62.2%	1.6%	26.4%	7.5%	0.5%	1.8%	0.0%
黒部市	5,538	2,779	131	1,112	885	313	232	87
	100.0%	50.2%	2.4%	20.1%	16.0%	5.7%	4.2%	1.6%
入善町	4,865	3,810	33	740	172	10	99	1
	100.0%	78.3%	0.7%	15.2%	3.5%	0.2%	2.0%	0.0%
朝日町	3,587	1,570	85	304	1,455	48	114	10
	100.0%	43.8%	2.4%	8.5%	40.6%	1.3%	3.2%	0.3%
計	22,559	12,434	573	4,077	4,230	471	673	101
	100.0%	55.1%	2.5%	18.1%	18.7%	2.1%	3.0%	0.4%
富山県	135,964	58,869	5,821	24,192	37,591	3,799	4,672	1,019
	100.0%	43.3%	4.3%	17.8%	27.6%	2.8%	3.4%	0.7%

出典: 富山県勢要覧(令和元年版)

【土地利用の構成割合】



出典: 富山県勢要覧(令和元年版)

② 農業振興地域の状況

本地域の農業振興地域の総面積は24,873ha(魚津市4,808ha、滑川市4,850ha、黒部市6,421ha、入善町5,898ha、朝日町2,896ha)であり、そのうち農用地面積は12,911ha(魚津市2,003ha、滑川市2,323ha、黒部市3,067ha、入善町3,976ha、朝日町1,542ha)と、農業振興地域の約52%を占めています。

また、農用地区域に設定されている面積は、12,308ha(魚津市1,896ha、滑川市2,280ha、黒部市2,871ha、入善町3,906ha、朝日町1,354ha)であり、そのうち農地面積は12,181ha(魚津市1,869ha、滑川市2,280ha、黒部市2,778ha、入善町3,906ha、朝日町1,348ha)と、農用地区域の約99%を占めています。

【農業振興地域の土地利用計画(令和2年現在)】

(単位:ha)

市町	総面積	農用地	農業用 施設用地	森林・原野	住宅地	工場用地	その他
魚津市	4,808	2,003	25	573	458	134	1,615
滑川市	4,850	2,323	0	697	410	188	1,232
黒部市	6,421	3,067	10	1,050			2,293
入善町	5,898	3,976	3	268	428	92	1,132
朝日町	2,896	1,542	6	384	76	15	873
計	24,873	12,911	45	2,972	1,372	429	7,146

※黒部市の「その他」には、住宅地・工場用地も含まれる

出典:農業振興地域整備計画書(各市町)

【農用地区域の土地利用計画(令和2年現在)】

(単位:ha)

市町	総面積	農地	採草 放牧地	混牧林地	農業用 施設用地	森林・ 原野等
魚津市	1,896	1,869	2	0	25	0
滑川市	2,280	2,280	0	0	0	0
黒部市	2,871	2,778	83	0	11	0
入善町	3,906	3,906	0	0	0	0
朝日町	1,354	1,348	0	0	6	0
計	12,308	12,181	85	0	42	0

出典:農業振興地域整備計画書(各市町)

③ 地域指定の状況

本地域では、自然的条件から「特別豪雪地帯」「振興山村」「農村地域産業導入地区」「特定農山村地域」「指定棚田地域」が指定されているとともに、社会的条件から「辺地」「過疎地域」が指定されています。

【地域指定の状況】

指定地域	主に自然的条件に基づく地域指定					主に社会的条件に基づく地域指定	
	特別豪雪地帯	振興山村	農村地域産業導入地区	特定農山村地域	指定棚田地域	辺地	過疎地域
根拠法	豪雪地帯対策特別措置法	山村振興法	農村地域への産業の導入の促進等に関する法律	特定農山村地域における農林業等の活性化のための基盤整備の促進に関する法律	棚田地域振興法	辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律	過疎地域自立促進特別措置法
魚津市		松倉	天神、中島	松倉、片貝谷		(鹿熊)、(北山)、(埴野)、(神島)、(列方)	
滑川市			早月加積、滑川、中加積、山加積		東加積、山加積	東福寺野、菰輪・大日	
黒部市	○ (旧黒部市以外)	東布施		東布施、内山	東布施、桜井、東山、愛本		
入善町			入善、西部		(舟見)※		
朝日町		山崎、南保、宮崎、境	草野、大家庄	宮崎、境			○
備考						()は、辺地総合整備計画を策定していない辺地	

※現在申請中

出典：新川農林振興センター調べ(令和3年3月)

(4) 人口構造の動向

① 人口・世帯数

地域全体では、平成27年の人口が154,262人、世帯数が55,489世帯、世帯人員が2.78人となっており、平成12年と比較すると、人口は減少傾向、世帯数は増加傾向、世帯人員は減少傾向で推移しています。

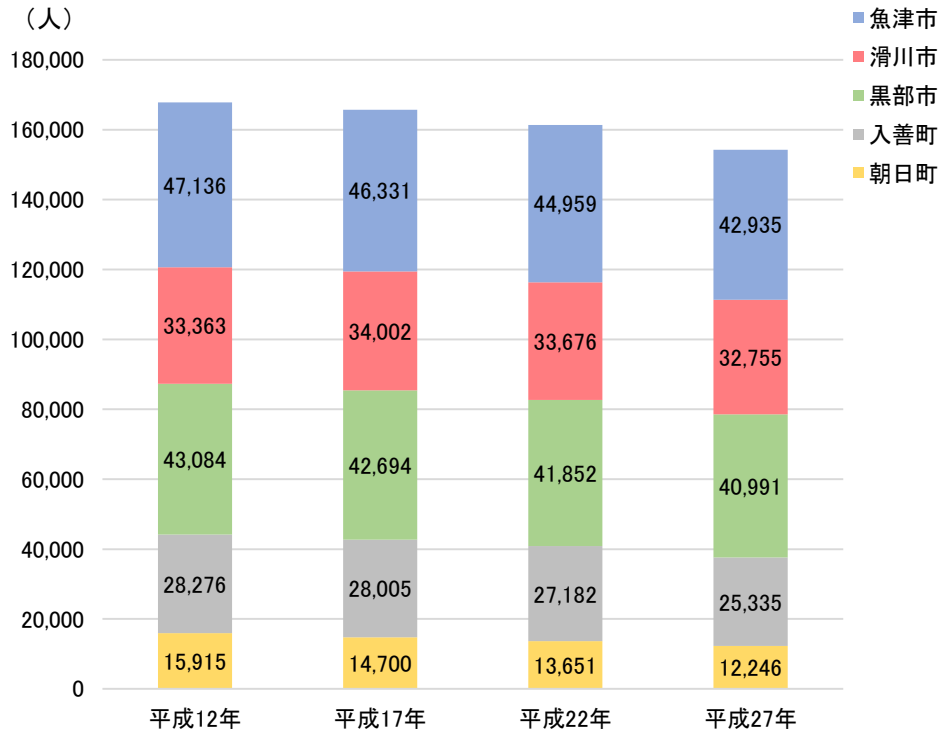
5市町ともに人口・世帯人員が減少傾向となっており、世帯数については朝日町のみ減少傾向となっています。

【人口・世帯数の推移】

市町		平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成12年～平成27年	
						増減数	増減率
魚津市	人口(人)	47,136	46,331	44,959	42,935	-4,201	-8.9%
	世帯数(世帯)	14,891	15,641	15,924	15,855	964	6.5%
	世帯人員(人/世帯)	3.17	2.96	2.82	2.71	-0.46	-14.5%
滑川市	人口(人)	33,363	34,002	33,676	32,755	-608	-1.8%
	世帯数(世帯)	10,429	11,052	11,298	11,699	1,270	12.2%
	世帯人員(人/世帯)	3.20	3.08	2.98	2.80	-0.40	-12.5%
黒部市	人口(人)	43,084	42,694	41,852	40,991	-2,093	-4.9%
	世帯数(世帯)	13,782	14,320	14,628	14,793	1,011	7.3%
	世帯人員(人/世帯)	3.13	2.98	2.86	2.77	-0.36	-11.4%
入善町	人口(人)	28,276	28,005	27,182	25,335	-2,941	-10.4%
	世帯数(世帯)	8,258	8,716	8,658	8,628	370	4.5%
	世帯人員(人/世帯)	3.42	3.21	3.14	2.94	-0.49	-14.2%
朝日町	人口(人)	15,915	14,700	13,651	12,246	-3,669	-23.1%
	世帯数(世帯)	4,986	4,886	4,718	4,514	-472	-9.5%
	世帯人員(人/世帯)	3.19	3.01	2.89	2.71	-0.48	-15.0%
計	人口(人)	167,774	165,732	161,320	154,262	-13,512	-8.1%
	世帯数(世帯)	52,346	54,615	55,226	55,489	3,143	6.0%
	世帯人員(人/世帯)	3.21	3.03	2.92	2.78	-0.43	-13.3%

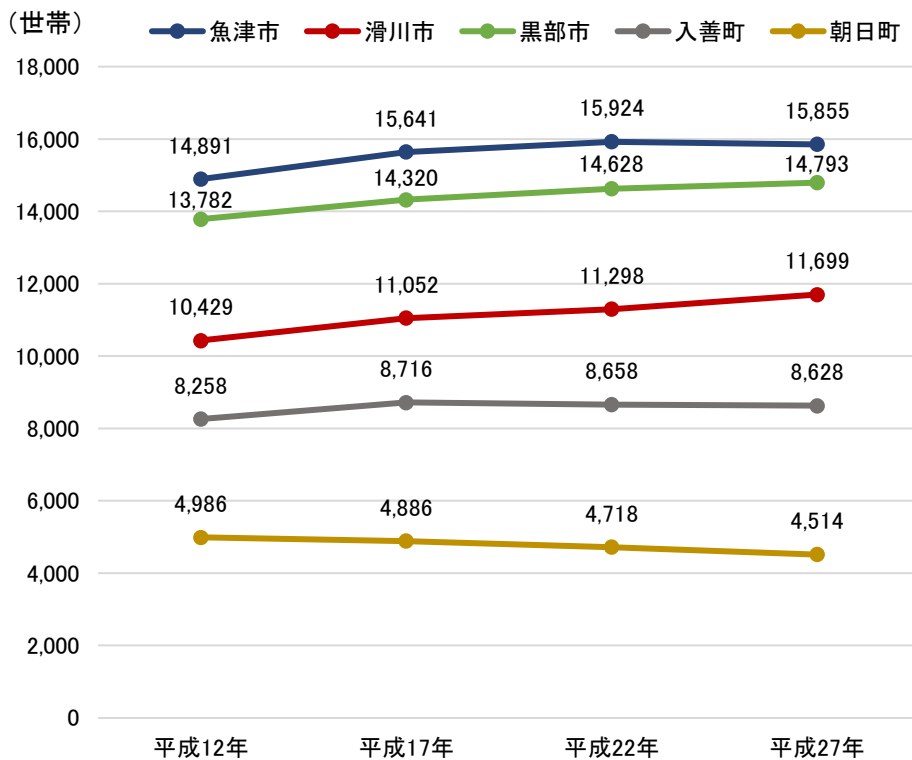
出典：国勢調査

【人口の推移】



出典: 国勢調査

【世帯数の推移】



出典: 国勢調査

② 階層別人口の推移

平成 27 年国勢調査によると、年少人口は 18,060 人（総人口の 11.8%）、生産年齢人口は 86,061 人（総人口の 56.2%）、老年人口は 48,963 人（総人口の 32.0%）となっています。

平成 12 年国勢調査と比較すると、年少人口及び生産年齢人口は減少傾向、老年人口は増加傾向となっており、市町別に見ても同様の傾向を示しています。

【年齢3区分別人口の推移(人)】

(単位:人)

市町		平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
魚津市	年少人口(15歳未満)	6,379	6,060	5,620	4,851
	生産年齢人口(15～64歳)	30,612	28,845	26,725	23,977
	老年人口(65歳以上)	10,145	11,358	12,440	13,867
	総人口	47,136	46,263	44,785	42,695
滑川市	年少人口(15歳未満)	4,975	5,052	4,855	4,256
	生産年齢人口(15～64歳)	21,749	21,451	20,586	18,995
	老年人口(65歳以上)	6,639	7,498	8,235	9,377
	総人口	33,363	34,001	33,676	32,628
黒部市	年少人口(15歳未満)	6,063	5,757	5,569	5,117
	生産年齢人口(15～64歳)	27,716	26,670	25,091	22,855
	老年人口(65歳以上)	9,305	10,264	11,108	12,266
	総人口	43,084	42,691	41,768	40,238
入善町	年少人口(15歳未満)	4,054	3,582	3,279	2,742
	生産年齢人口(15～64歳)	17,557	17,149	16,164	14,093
	老年人口(65歳以上)	6,665	7,274	7,727	8,442
	総人口	28,276	28,005	27,170	25,277
朝日町	年少人口(15歳未満)	2,011	1,627	1,349	1,094
	生産年齢人口(15～64歳)	9,554	8,594	7,525	6,141
	老年人口(65歳以上)	4,350	4,479	4,777	5,011
	総人口	15,915	14,700	13,651	12,246
計	年少人口(15歳未満)	23,482	22,078	20,672	18,060
	生産年齢人口(15～64歳)	107,188	102,709	96,091	86,061
	老年人口(65歳以上)	37,104	40,873	44,287	48,963
	総人口	167,774	165,660	161,050	153,084

※年齢不詳を除く

出典:国勢調査

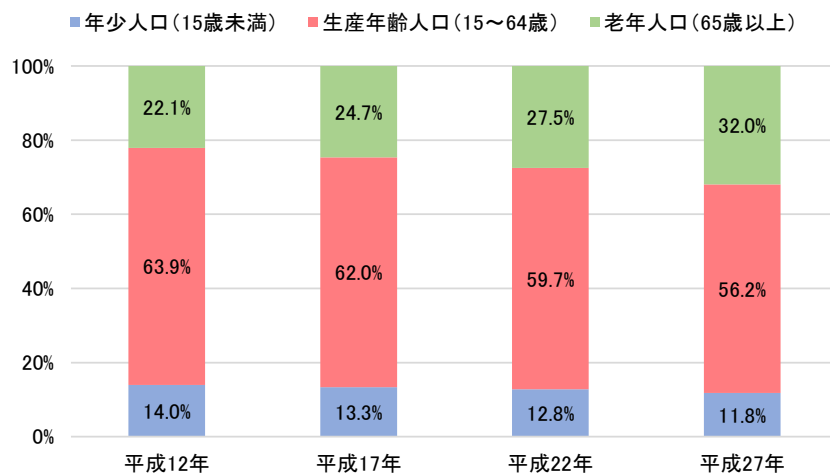
【年齢3区分別人口の推移(%)】

(単位: %)

市町		平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
魚津市	年少人口(15歳未満)	13.5	13.1	12.5	11.4
	生産年齢人口(15~64歳)	64.9	62.4	59.7	56.2
	老年人口(65歳以上)	21.5	24.6	27.8	32.5
	総人口	100.0	100.0	100.0	100.0
滑川市	年少人口(15歳未満)	14.9	14.9	14.4	13.0
	生産年齢人口(15~64歳)	65.2	63.1	61.1	58.2
	老年人口(65歳以上)	19.9	22.1	24.5	28.7
	総人口	100.0	100.0	100.0	100.0
黒部市	年少人口(15歳未満)	14.1	13.5	13.3	12.7
	生産年齢人口(15~64歳)	64.3	62.5	60.1	56.8
	老年人口(65歳以上)	21.6	24.0	26.6	30.5
	総人口	100.0	100.0	100.0	100.0
入善町	年少人口(15歳未満)	14.3	12.8	12.1	10.8
	生産年齢人口(15~64歳)	62.1	61.2	59.5	55.8
	老年人口(65歳以上)	23.6	26.0	28.4	33.4
	総人口	100.0	100.0	100.0	100.0
朝日町	年少人口(15歳未満)	12.6	11.1	9.9	8.9
	生産年齢人口(15~64歳)	60.0	58.5	55.1	50.1
	老年人口(65歳以上)	27.3	30.5	35.0	40.9
	総人口	100.0	100.0	100.0	100.0
計	年少人口(15歳未満)	14.0	13.3	12.8	11.8
	生産年齢人口(15~64歳)	63.9	62.0	59.7	56.2
	老年人口(65歳以上)	22.1	24.7	27.5	32.0
	総人口	100.0	100.0	100.0	100.0

出典: 国勢調査

【年齢3区分別人口の推移(地域計)】



出典: 国勢調査

(5) 産業構造の動向

平成 27 年国勢調査によると、第 1 次産業人口は 3,547 人（総人口の 4.5%）、第 2 次産業人口は 31,866 人（総人口の 40.6%）、第 3 次産業人口は 43,084 人（総人口の 54.9%）となっています。

平成 12 年国勢調査と比較すると、第 1 次産業人口割合及び第 2 次産業人口割合は減少傾向、第 3 次産業人口割合は増加傾向となっており、市町別に見ても同様の傾向を示しています。

【産業別人口の推移(人)】

(単位：人)

市町		平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
魚津市	第1次産業	1,133	1,275	921	900
	第2次産業	11,222	9,534	8,732	8,521
	第3次産業	13,390	13,586	12,661	12,286
	総人口	25,745	24,395	22,314	21,707
滑川市	第1次産業	839	873	600	619
	第2次産業	7,993	7,277	6,733	6,779
	第3次産業	9,214	9,714	9,454	9,600
	総人口	18,046	17,864	16,787	16,998
黒部市	第1次産業	1,205	1,136	855	828
	第2次産業	10,991	10,084	9,150	9,056
	第3次産業	11,760	11,738	11,288	10,876
	総人口	23,956	22,958	21,293	20,760
入善町	第1次産業	1,329	1,451	1,012	883
	第2次産業	7,382	6,530	5,835	5,387
	第3次産業	6,823	7,294	6,823	6,786
	総人口	15,534	15,275	13,670	13,056
朝日町	第1次産業	502	560	382	317
	第2次産業	3,423	2,776	2,369	2,123
	第3次産業	4,334	4,092	3,741	3,536
	総人口	8,259	7,428	6,492	5,976
計	第1次産業	5,008	5,295	3,770	3,547
	第2次産業	41,011	36,201	32,819	31,866
	第3次産業	45,521	46,424	43,967	43,084
	総人口	91,540	87,920	80,556	78,497

出典：国勢調査

【産業別人口の推移(%)】

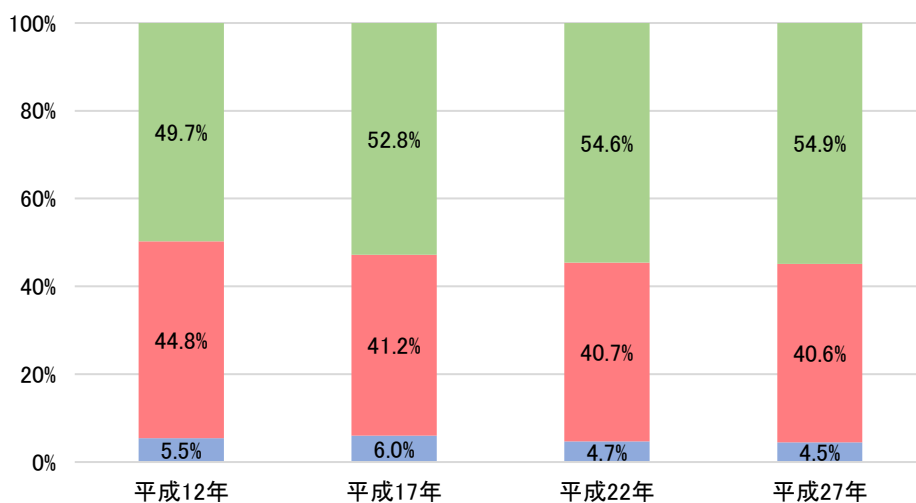
(単位：%)

市町		平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
魚津市	第1次産業	4.4	5.2	4.1	4.1
	第2次産業	43.6	39.1	39.1	39.3
	第3次産業	52.0	55.7	56.7	56.6
	総人口	100.0	100.0	100.0	100.0
滑川市	第1次産業	4.6	4.9	3.6	3.6
	第2次産業	44.3	40.7	40.1	39.9
	第3次産業	51.1	54.4	56.3	56.5
	総人口	100.0	100.0	100.0	100.0
黒部市	第1次産業	5.0	4.9	4.0	4.0
	第2次産業	45.9	43.9	43.0	43.6
	第3次産業	49.1	51.1	53.0	52.4
	総人口	100.0	100.0	100.0	100.0
入善町	第1次産業	8.6	9.5	7.4	6.8
	第2次産業	47.5	42.7	42.7	41.3
	第3次産業	43.9	47.8	49.9	52.0
	総人口	100.0	100.0	100.0	100.0
朝日町	第1次産業	6.1	7.5	5.9	5.3
	第2次産業	41.4	37.4	36.5	35.5
	第3次産業	52.5	55.1	57.6	59.2
	総人口	100.0	100.0	100.0	100.0
計	第1次産業	5.5	6.0	4.7	4.5
	第2次産業	44.8	41.2	40.7	40.6
	第3次産業	49.7	52.8	54.6	54.9
	総人口	100.0	100.0	100.0	100.0

出典：国勢調査

【産業別人口の推移(地域計)】

■ 第1次産業 ■ 第2次産業 ■ 第3次産業



出典：国勢調査

(6) 農業・農村構造の動向

① 総農家数及び農業就業人口

平成 27 年農林業センサスによると、総農家数は 4,453 戸であり、平成 12 年の 9,371 戸から 4,918 戸（▲52.5%）減少しています。専業、兼業農家別で見ると、第 2 種兼業農家数は 2,412 戸であり、平成 12 年の 6,841 戸から 4,429 戸（▲64.7%）減少しています。

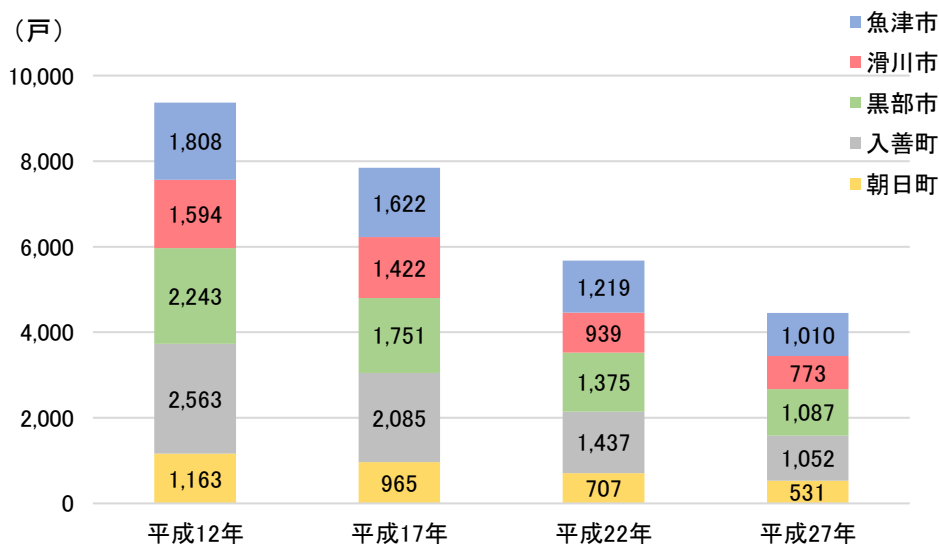
また、農業就業人口は 4,171 人であり、平成 12 年の 10,421 人から 6,250 人（▲60.0%）減少しています。農業就業人口の高齢化率*は平成 12 年の 61%から 75%と 14 ポイント増加しています。

※農業就業人口の高齢化率：農業就業人口に占める 65 歳以上人口の割合

【総農家数の推移】

(単位:戸)

市町	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成12年～平成27年	
					増減数	増減率
魚津市	1,808	1,622	1,219	1,010	-798	-44.1%
滑川市	1,594	1,422	939	773	-821	-51.5%
黒部市	2,243	1,751	1,375	1,087	-1,156	-51.5%
入善町	2,563	2,085	1,437	1,052	-1,511	-59.0%
朝日町	1,163	965	707	531	-632	-54.3%
計	9,371	7,845	5,677	4,453	-4,918	-52.5%

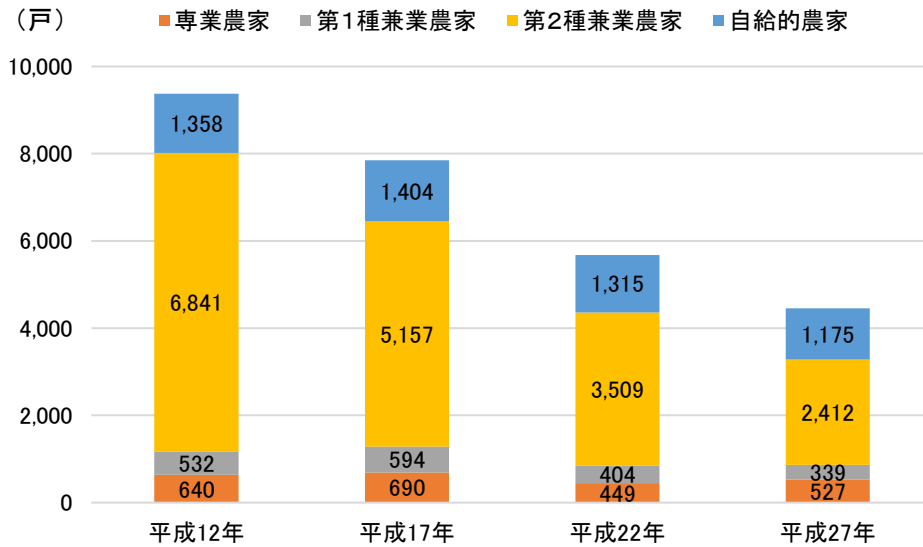


出典：農林業センサス

【専業農家数、兼業農家の推移(地域計)】

(単位:戸)

年	販売農家				自給的農家	農家計
	専業	第1種兼業	第2種兼業	計		
平成12年	640	532	6,841	8,013	1,358	9,371
平成17年	690	594	5,157	6,441	1,404	7,845
平成22年	449	404	3,509	4,362	1,315	5,677
平成27年	527	339	2,412	3,278	1,175	4,453

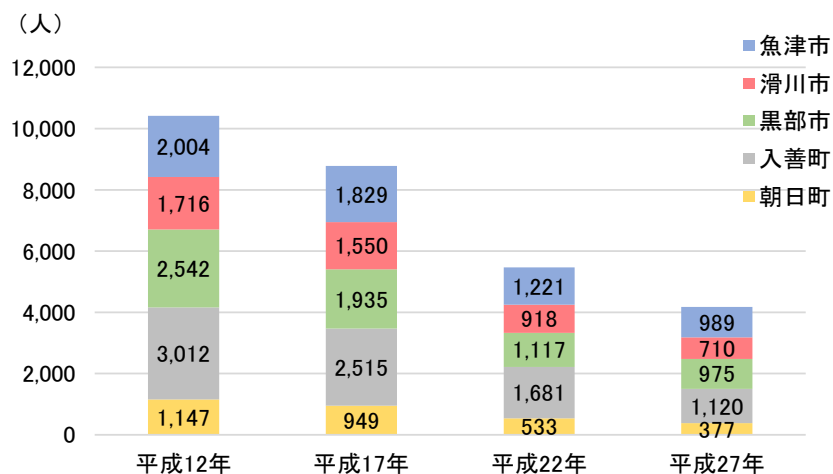


出典:農林業センサス

【農業就業人口の推移】

(単位:人)

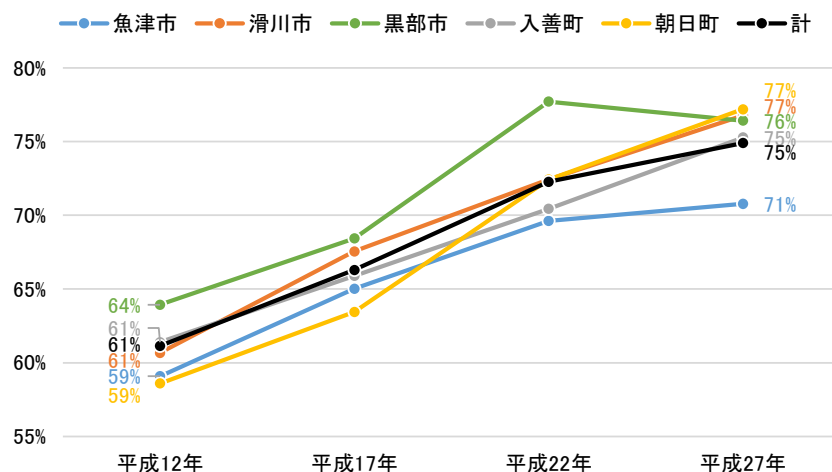
市町	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成12年～平成27年	
					増減数	増減率
魚津市	2,004	1,829	1,221	989	-1,015	-50.6%
滑川市	1,716	1,550	918	710	-1,006	-58.6%
黒部市	2,542	1,935	1,117	975	-1,567	-61.6%
入善町	3,012	2,515	1,681	1,120	-1,892	-62.8%
朝日町	1,147	949	533	377	-770	-67.1%
計	10,421	8,778	5,470	4,171	-6,250	-60.0%



【農業就業人口の高齢化率の推移】

(単位:%)

市町	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成12年～平成27年	
					増減数	増減率
魚津市	59	65	70	71	+12ポイント	19.8
滑川市	61	68	72	77	+16ポイント	26.5
黒部市	64	68	78	76	+12ポイント	19.5
入善町	61	66	70	75	+14ポイント	22.6
朝日町	59	63	72	77	+18ポイント	31.7
計	61	66	72	75	+14ポイント	22.5



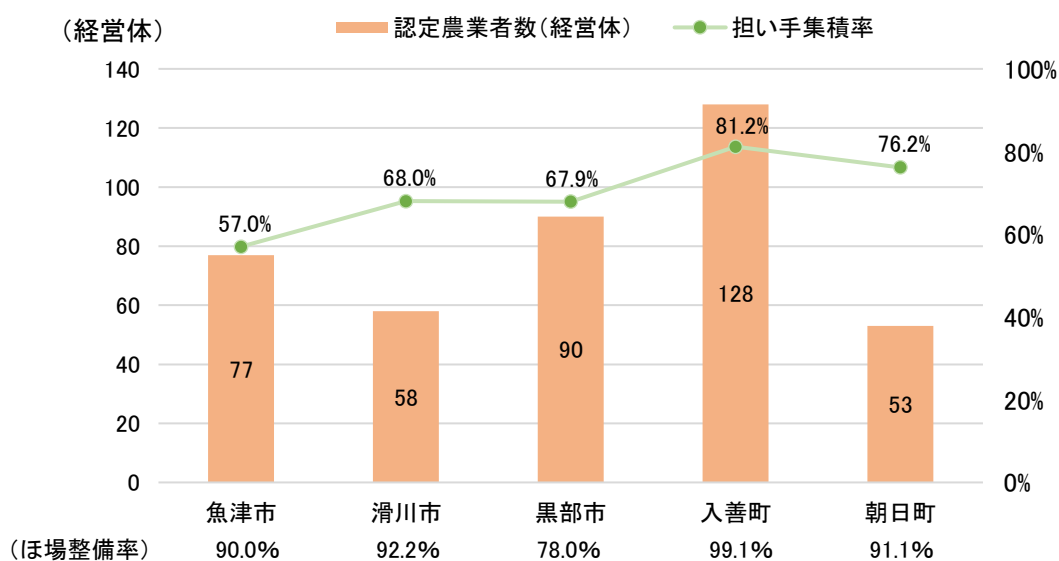
出典:農林業センサス

② 認定農業者数及び担い手集積率

令和元年度の認定農業者数は406経営体であり、担い手集積率は71.6%となっています。特に入善町において担い手数が多く、担い手集積率も高くなっています。

【認定農業者数及び担い手集積率(令和元年度)】

区分	魚津市	滑川市	黒部市	入善町	朝日町	計
認定農業者数(経営体)	77	58	90	128	53	406
担い手集積率	57.0%	68.2%	67.9%	81.2%	76.2%	71.6%
(参考)ほ場整備率	90.0%	92.2%	78.0%	99.1%	91.1%	90.7%



出典:新川農林振興センター調べ

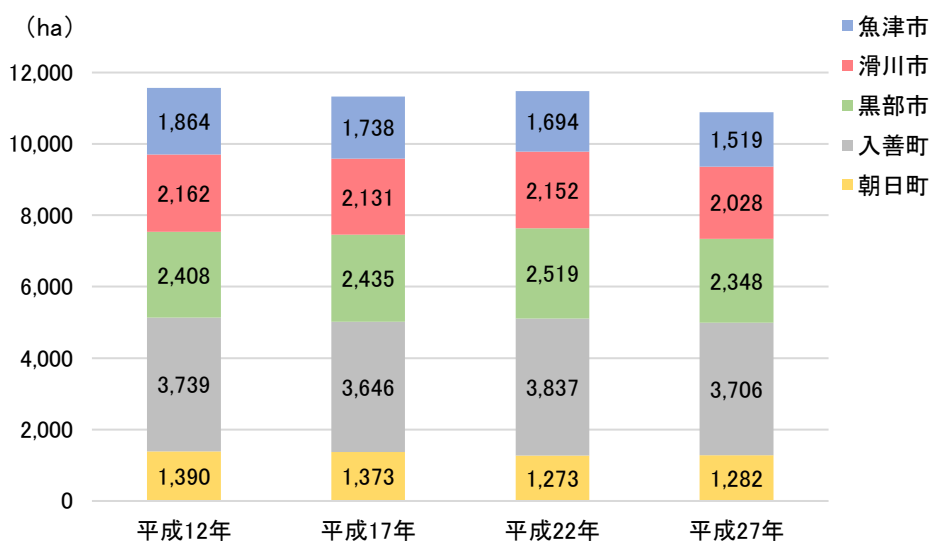
③ 経営耕地面積

平成27年農林業センサスによると、経営耕地面積は10,883haであり、平成12年の11,563haから680ha（▲5.9%）減少しています。

【経営耕地面積の推移】

(単位:ha)

市町	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成12年～平成27年	
					増減数	増減率
魚津市	1,864	1,738	1,694	1,519	-345	-18.5%
滑川市	2,162	2,131	2,152	2,028	-134	-6.2%
黒部市	2,408	2,435	2,519	2,348	-60	-2.5%
入善町	3,739	3,646	3,837	3,706	-33	-0.9%
朝日町	1,390	1,373	1,273	1,282	-108	-7.8%
計	11,563	11,323	11,475	10,883	-680	-5.9%



出典:農林業センサス

④ 耕作放棄地の発生状況

平成27年の農林業センサスによると、耕作放棄地の面積は140haとなっています。

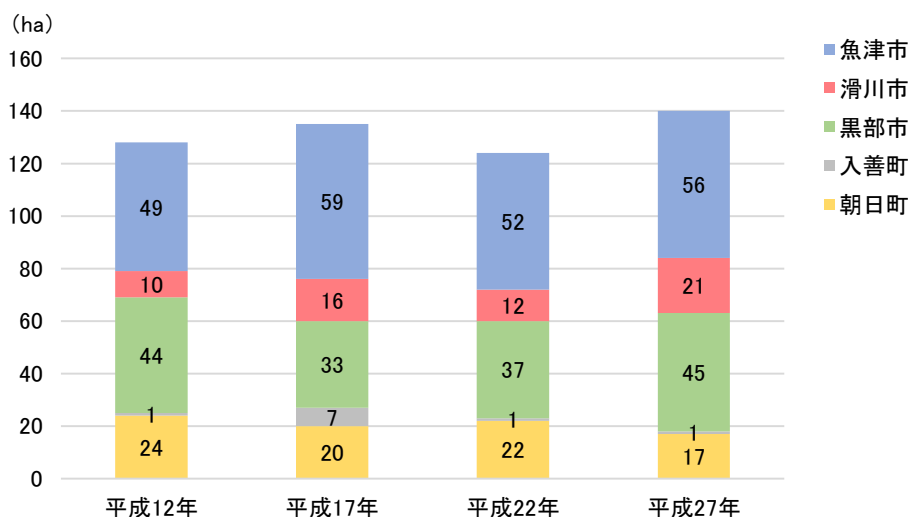
市町別で見ると、朝日町のみ平成12年から平成27年にかけて耕作放棄地の減少が見られます。

平成27年における、土地持ち非農家を入れた耕作放棄地の面積は377ha（うち、土地持ち非農家は239ha）となっています。

【耕作放棄地の推移】

(単位:ha)

市町	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成12年～平成27年	
					増減数	増減率
魚津市	49	59	52	56	7	14.3%
滑川市	10	16	12	21	11	110.0%
黒部市	44	33	37	45	1	2.3%
入善町	1	7	1	1	0	0.0%
朝日町	24	20	22	17	-7	-29.2%
計	128	135	124	140	12	9.4%



※各年のデータ定義を統一させるため、集計対象は「販売農家」「自給的農家」の合計値とし、「土地持ち非農家」を除いて集計している

出典:農林業センサス

【参考:耕作放棄地の推移(土地持ち非農家を入れた集計)】

(単位:ha)

市町	平成17年	平成22年	平成27年
魚津市	100	105	126
滑川市	28	27	40
黒部市	95	124	153
入善町	13	10	3
朝日町	67	65	55
計	303	331	377

⑤ 収穫量・出荷量

令和2年3月現在の収穫量・出荷量は、米が45,320tと最も多くなっています。

市町別で見ると、魚津市はだいこんや養豚など、滑川市はハトムギ、黒部市はソバやねぎなど、入善町は米やジャンボ西瓜など、朝日町はきゅうりやばれいしょなどが他の市町と比較して多くなっています。

【収穫量・出荷量(令和2年3月現在)】

市町		魚津市	滑川市	黒部市	入善町	朝日町	計
主穀作	米 (t)	6,190	7,780	9,710	15,900	5,740	45,320
	大麦 (t)	227	200	169	231	183	1,010
	大豆 (t)	73	158	312	1,429	161	2,133
その他	ソバ (t)		6.7	8.7	0.8	1.2	17.4
	ナタネ (t)				3.7	1.1	4.8
	ハトムギ (t)		9.7			3.1	12.8
園芸作物	ねぎ(ねぎたん含む) (t)	46.3	13.4	216.2	39.5	23.6	339.0
	ハウスねぎ (t)	1.7		6.4	19.4		27.5
	こまつな (t)	40.3					40.3
	トマト (t)	58.3					58.3
	さといも (t)		1.8		20.1	9.9	31.8
	きゅうり (t)	28.2			33.2	52.4	113.8
	キャベツ(加工) (t)	48.9		44.7	63.2	24.7	181.5
	ジャンボ西瓜 (t)				147.5		147.5
	にんじん (t)			19.9	6.8	1.8	28.5
	だいこん (t)	1,061.0					1,061.0
	はくさい (t)	85.5					85.5
	ばれいしょ (t)	0.3				7.3	7.6
	りんご (t)	450.0	53.0	22.9			525.9
	日本なし (t)	179.4	7.4	33.6			220.4
	ぶどう (t)	46.6		2.1			48.7
	もも (t)	17.2		14.0	19.5	1.7	52.4
	かき(脱渋柿) (t)					3.5	3.5
	小粒いちじく (kg)			113	285		398
	チューリップ球根 (千球)	775.0	333.7	77.0	1,675.0	209.0	3,069.7
	ユリ球根 (千球)						0
	キク類 (千本)	1		104	179	32	316
	鉢物・花苗類 (千鉢)	175		73			248
ストック (千本)			0.1		8.0	8.1	
畜産	酪農 (t)	996		567	1,004		2,567
	肉牛 (頭)	18		13	99	71	201
	養豚 (t)	7,814	231	6,624			14,669
	養鶏 (頭)	132					132

出典: 令和2年度 普及指導計画書

⑥ 作付面積・飼養頭羽数

令和2年3月現在の作付面積は、地域全体で9,957haとなっており、主穀作が97.5%（うち米が81.5%）、園芸作物が1.6%を占めています。

飼養頭羽数を見ると、黒部市は酪農、入善町は肉牛、魚津市は養豚や養鶏が他の市町と比較して多くなっています。

【作付面積】

(単位:ha)

区分	魚津市	滑川市	黒部市	入善町	朝日町	計	
計	1,344	1,731	2,045	3,597	1,240	9,957	
主穀作	米	1,140	1,430	1,760	2,760	1,030	8,120
	大麦	78	76	78	78	47	357
	大豆	37	190	163	704	138	1,232
その他	ソバ		12.0	19.9	17.8	9.8	59.5
	ナタネ				9.5	1.6	11.1
	ハトムギ		12.3			2.1	14.4
園芸作物	ねぎ(ねぎたん含む)	2.90	2.40	12.90	4.15	1.85	24.20
	ハウスねぎ	0.1		0.2	1.2	0.1	1.6
	こまつな	10.0					10.0
	トマト	0.6					0.6
	さといも		1.50		2.65	1.17	5.32
	きゅうり	0.6			0.5	0.8	1.9
	キャベツ(加工)	1.5		1.4	2.0	0.8	5.7
	ジャンボ西瓜				4.2		4.2
	にんじん			2.8	0.3	0.7	3.8
	だいこん	20.3					20.3
	はくさい	1.7					1.7
	ばれいしょ	0.1				0.6	0.7
	りんご	32.9	4.6	2.6			40.1
	日本なし	7.7	0.3	1.6			9.6
	ぶどう	5.5		0.4			5.9
	もも	1.7		1.5	3.9		7.1
	かき(脱渋柿)					3.8	3.8
	小粒いちじく			0.02	0.01		0.03
	チューリップ球根	2.8	1.9	0.5	8.2	1.2	14.6
	ユリ球根	0.1					0.1
	キク類	0.1		0.3	0.6	0.2	1.2
	鉢物・花苗類	0.5			0.2		0.7
	ストック			0.01		0.10	0.11

出典:令和2年度 普及指導計画書

【飼養頭羽数】

(単位:頭)

区分	魚津市	滑川市	黒部市	入善町	朝日町	計
計	13,064	1,643	2,983	363	142	18,195
酪農	160	6	233	122		521
肉牛	43			241	142	426
養豚	4,861	1,637	2,750			9,248
養鶏	8,000					8,000

出典:令和2年度 普及指導計画書

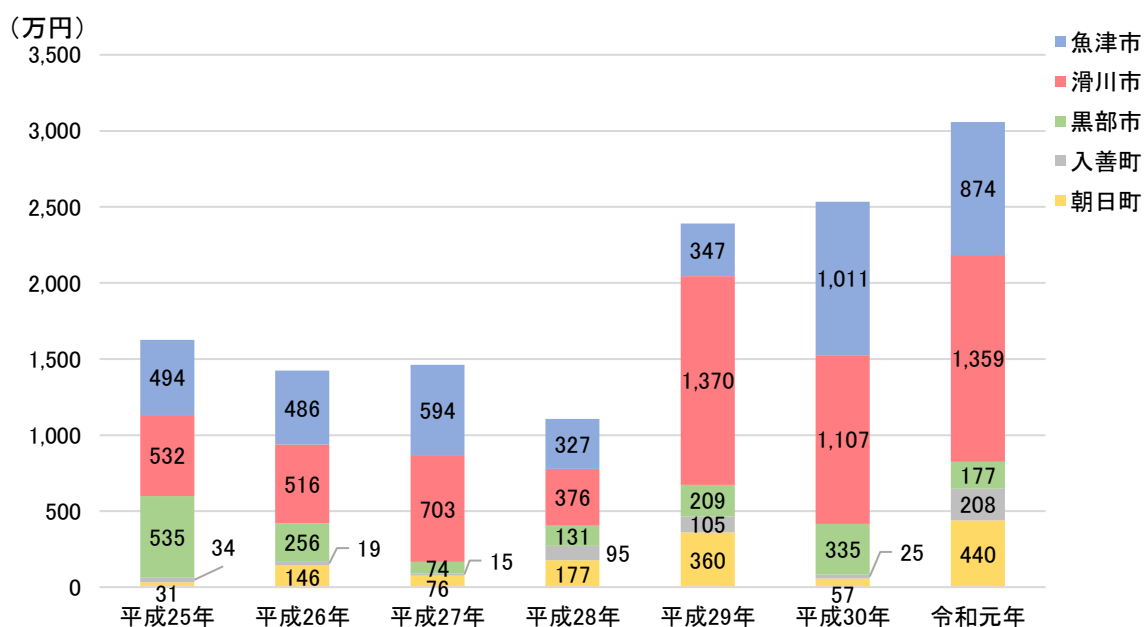
⑦ 有害鳥獣による農作物被害

有害鳥獣による農作物の被害額は、令和元年が 3,058 万円であり、平成 25 年の 1,626 万円から 1,432 万円（88.1%）増加と、全体的に増加傾向にある一方、黒部市については減少しています。

【有害鳥獣による農作物の被害額の推移】

（単位：万円）

市町	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	平成25年～令和元年	
								増減数	増減率
魚津市	494	486	594	327	347	1,011	874	380	76.9%
滑川市	532	516	703	376	1,370	1,107	1,359	827	155.5%
黒部市	535	256	74	131	209	335	177	-358	-66.9%
入善町	34	19	15	95	105	25	208	174	511.8%
朝日町	31	146	76	177	360	57	440	409	1319.4%
計	1,626	1,423	1,462	1,106	2,391	2,535	3,058	1,432	88.1%



出典：新川農林振興センター調べ

⑧ 農業団体組織

農業団体組織は、「魚津市農業協同組合」「アルプス農業協同組合」「黒部市農業協同組合」「みな穂農業協同組合」があります。

各組合の関係市町、組合員数、方針を次に示します。

【農業団体組織 一覧】

名称	魚津市農業協同組合	アルプス農業協同組合	黒部市農業協同組合	みな穂農業協同組合
関係市町	魚津市全域	滑川市(立山町、上市町、舟橋村)	黒部市全域	入善町、朝日町
組合員数	7,158人 正組合員:2,603人 准組合員:4,555人 (令和2年3月31日現在)	13,050人 正組合員:8,544人 准組合員:4,506人 (令和元年度末)	9,762人 正組合員:4,760人 准組合員:5,002人 (平成31年2月1日現在)	9,166人 正組合員:5,423人 准組合員:3,743人 (令和元年度)
方針	計画名称・期間	中期3ヵ年計画 (令和元年度～令和3年度)	第2次中期3ヵ年計画ならびに令和2年度基本方針 (令和2年度～令和4年度)	第5次中期3ヵ年計画 (令和元年度～令和3年度)
	内容	<p>①「農業者の所得増大」「地域の活性化」への挑戦 需要に応じた農産物の生産と付加価値の増大、生産コストの低減等に向けた取組みの他、担い手の育成・確保等を行い農業者の所得増大にむけた継続した取組み</p> <p>②「農業者の所得増大」「地域の活性化」に向けた組織・事業・経営の革新 接続可能な経営基盤の確立にむけた各事業における合理化・効率化および内部管理態勢等の更なる高度化への取組み</p> <p>③協同組合理念の浸透と「食・能・協働組合」にかかる理解の醸成 JAの事業や活動への参加を促す取組み及び情報発信の取組み</p>	<p>【基本理念・基本方針】 明るく元気で地域に親しまれ、信頼されるアルプス農協の実現</p> <p>【基本目標】 1. 「農業所得の増大」「地域の活性化」へのさらなる挑戦 2. 自己改革を支える組織・事業・経営の再構築 3. メンバーシップの強化と「食」「農」「協働組合」にかかる理解の醸成</p>	<p>(1) 持続可能な経営基盤の充実・強化 (2) 業務執行体制の強化と組合員・利用者接点の再構築 (3) 将来を担う人材の育成</p>

出典:各組合ホームページ

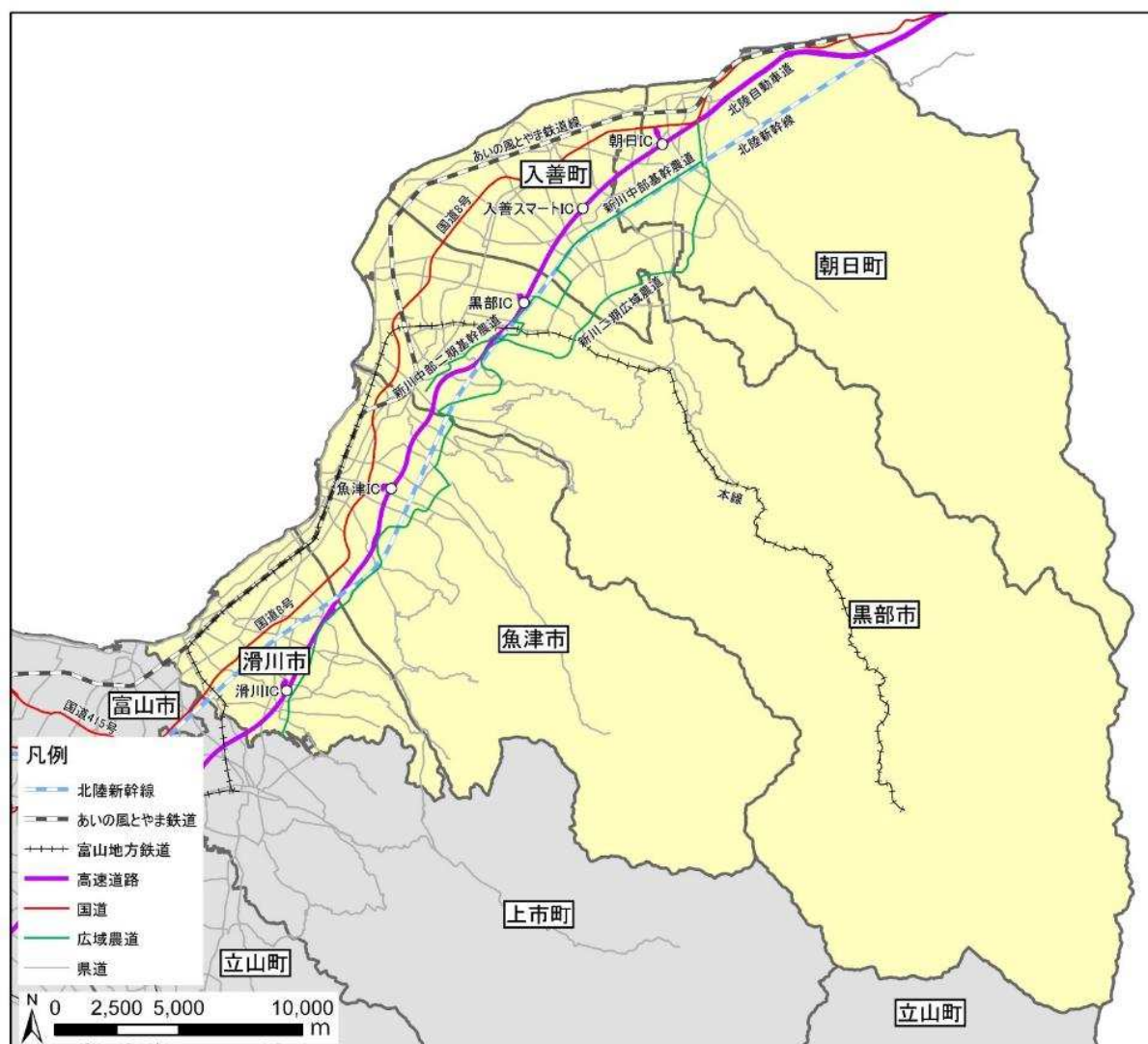
(7) 生活環境の整備状況

① 道路・公共交通

本地域の道路については、広域幹線道路として、南西から北東にかけて北陸自動車道、国道8号、広域農道が並走しており、周辺圏域との連絡道路として利用されています。南北方向は、県道を軸に市町道がこれを補完する形で整備されています。

一方、公共交通については、南西から北東にかけて北陸新幹線とあいの風とやま鉄道線が走り、あいの風とやま鉄道線と一部並走しながら富山市と宇奈月温泉を結ぶ富山地方鉄道が敷設され、各市町の交通輸送面の機軸となっています。また、日常生活の移動手段として路線バスやコミュニティバスが運行していますが、中山間地域等では一部公共交通の不便な地域が存在しています。

【道路ネットワーク図】



② 水道

水道の状況について、本地域全体の水道普及率は75.6%となっています。市町別で見ると、滑川市の水道普及率が97.7%であるのに対して、入善町は22.9%となっています。

【水道の状況(平成30年度)】

(単位:人)

市町	人口 (A)	上水道 給水人口	簡易水道 給水人口	専用水道 給水人口	計 給水人口 (B)	普及率 B/A×100
魚津市	41,651	35,790	1,326	147	37,263	89.5%
滑川市	32,476	31,717	—	—	31,717	97.7%
黒部市	40,235	24,981	5,516	98	30,595	76.0%
入善町	24,344	—	5,417	150	5,567	22.9%
朝日町	11,355	—	7,946	294	8,240	72.6%
計	150,061	92,488	20,205	689	113,382	75.6%

出典:富山県生活衛生課

③ 下水道

下水道の状況について、本地域全体の下水道普及率は96.2%となっています。市町別で見ると、入善町の下水道普及率が100.0%であるのに対して、朝日町は87.4%となっています。

【下水道の状況(令和2年現在)】

市町	住民基本 台帳人口 (人)	汚水処理 人口 (人)	普及率
魚津市	41,497	40,528	97.7%
滑川市	33,168	31,629	95.4%
黒部市	40,974	39,249	95.8%
入善町	24,362	24,358	100.0%
朝日町	11,740	10,261	87.4%
計	151,741	146,025	96.2%

【参考:下水道の種類別の状況(令和2年現在)】

市町	住民基本 台帳人口 (人)	公共下水道		農業集落排水施設等		合併処理浄化槽等		地域し尿処理施設 (コミュニティ・プラント)	
		処理人口 (人)	普及率	整備人口 (人)	普及率	処理人口 (人)	普及率	処理人口 (人)	普及率
魚津市	41,497	32,476	78.3%	6,669	16.1%	1,383	3.3%	0	0.0%
滑川市	33,168	26,223	79.1%	3,450	10.4%	1,956	5.9%	0	0.0%
黒部市	40,974	26,520	64.7%	9,934	24.2%	2,795	6.8%	0	0.0%
入善町	24,362	18,235	74.9%	6,123	25.1%	0	0.0%	0	0.0%
朝日町	11,740	9,491	80.8%	0	0.0%	770	6.6%	0	0.0%
計	151,741	112,945	74.4%	26,176	17.3%	6,904	4.5%	0	0.0%

※農業集落排水施設等の整備人口について、入善町は「漁業集落排水施設」も含まれている
 ※合併処理浄化槽等の処理人口は、「浄化槽市町村整備推進事業等設置処理人口」「浄化槽設置整備事業設置処理人口」「民間設置浄化槽処理人口」の合計値を示している

出典:新川農林振興センター調べ

④ 情報通信

光ファイバ整備状況について、市町別の利用可能世帯率は黒部市が97.49%と最も高く、次いで朝日町が95.81%となっています。一方、入善町は83.56%と90%を下回っており、本地域内で情報通信の格差が見られます。

【光ファイバ整備状況】

(単位:%)

市町	利用可能世帯率
魚津市	90.79
滑川市	94.75
黒部市	97.49
入善町	83.56
朝日町	95.81

出典:総務省(「平成30年度末ブロードバンド基盤整備率調査」の調査結果)

⑤ 教育

令和2年現在、小学校29校（児童数6,809人、教員数527人）、中学校9校（生徒数3,710人、教員数272人）、高等学校8校（生徒数3,163人）があり、令和2年では魚津市の小学校2校、黒部市の中学校2校が統合により減少となりました。

少子化の傾向から、今後さらに子どもの数が減少していくことが予測されますが、子どもが健全に育つよう教育環境の充実が求められています。

【小学校・中学校の推移】

（単位：校、人）

市町	年	小学校				中学校			
		学校数	学級数	児童数	教員数	学校数	学級数	生徒数	教員数
魚津市	平成20年	13	114	2,410	179	2	36	1,220	77
	平成25年	12	113	2,212	182	2	37	1,179	80
	平成30年	7	80	1,856	136	2	34	1,084	77
	令和2年	5	75	1,778	125	2	32	999	72
滑川市	平成20年	7	81	2,082	121	2	30	1,023	65
	平成25年	7	81	1,917	124	2	33	1,009	72
	平成30年	7	76	1,651	125	2	32	933	70
	令和2年	7	74	1,608	120	2	28	865	62
黒部市	平成20年	11	110	2,368	166	4	41	1,156	85
	平成25年	11	113	2,226	171	4	44	1,136	89
	平成30年	9	100	2,122	156	4	44	1,062	90
	令和2年	9	98	2,040	159	2	34	1,039	70
入善町	平成20年	6	69	1,463	96	3	28	754	62
	平成25年	6	59	1,232	90	2	27	719	55
	平成30年	6	60	1,093	97	2	23	607	52
	令和2年	6	57	989	90	2	23	590	47
朝日町	平成20年	3	28	647	43	1	12	366	27
	平成25年	2	24	527	40	1	11	311	23
	平成30年	2	22	409	35	1	11	263	23
	令和2年	2	22	394	33	1	8	217	21
計	平成20年	40	402	8,970	605	12	147	4,519	316
	平成25年	38	390	8,114	607	11	152	4,354	319
	平成30年	31	338	7,131	549	11	144	3,949	312
	令和2年	29	326	6,809	527	9	125	3,710	272

出典：【平成20～30年】富山県統計年鑑、各年5月1日

【令和2年】富山県教育関係職員録、4月1日

【高等学校の状況】

(単位:校、人)

市町	年	高等学校	
		学校数	生徒数
魚津市	平成20年	4	1,578
	平成25年	4	1,584
	平成30年	4	1,432
	令和2年	4	1,351
滑川市	平成20年	2	772
	平成25年	1	714
	平成30年	1	676
	令和2年	1	595
黒部市	平成20年	1	593
	平成25年	1	596
	平成30年	1	554
	令和2年	1	543
入善町	平成20年	1	522
	平成25年	1	489
	平成30年	1	445
	令和2年	1	486
朝日町	平成20年	1	354
	平成25年	1	355
	平成30年	1	340
	令和2年	1	188※
計	平成20年	9	3,819
	平成25年	8	3,738
	平成30年	8	3,447
	令和2年	8	3,163

※朝日町の令和2年「生徒数」について、泊高校が令和4年4月に入善高校と再編統合するため、「1学年」のデータなし

出典:【平成20～30年】富山県勢要覧、各年5月1日
【令和2年】富山県教育関係職員録、4月1日

⑥ 保健・医療

平成30年10月現在、医療施設として病院が16箇所、一般診療所が95箇所、歯科診療所が59箇所あります。

また、平成30年12月現在、医療従事者は、医師が312人、歯科医師が82人、薬剤師が300人、保健師が104人、助産師が58人、看護師・准看護師が2,018人となっています。

【医療施設の推移】

(単位:箇所)

市町		平成20年	平成25年	平成30年	平成20年～平成30年	
					増減数	増減率
魚津市	病院	7	6	6	-1	-14.3%
	一般診療所	30	31	31	1	3.3%
	歯科診療所	19	21	21	2	10.5%
滑川市	病院	2	2	2	0	0.0%
	一般診療所	24	23	22	-2	-8.3%
	歯科診療所	8	9	9	1	12.5%
黒部市	病院	4	4	4	0	0.0%
	一般診療所	33	30	25	-8	-24.2%
	歯科診療所	19	17	16	-3	-15.8%
入善町	病院	1	1	2	1	100.0%
	一般診療所	17	16	14	-3	-17.6%
	歯科診療所	10	9	7	-3	-30.0%
朝日町	病院	3	3	2	-1	-33.3%
	一般診療所	5	5	3	-2	-40.0%
	歯科診療所	7	6	6	-1	-14.3%
計	病院	17	16	16	-1	-5.9%
	一般診療所	109	105	95	-14	-12.8%
	歯科診療所	63	62	59	-4	-6.3%

出典:富山県統計年鑑

【医療従事者の推移】

(単位:人)

市町	医療従事者数						
	年	医師	歯科医師	薬剤師	保健師	助産師	看護師・ 准看護師
魚津市	平成20年	86	26	82	17	5	607
	平成26年	80	27	79	27	7	637
	平成30年	88	30	77	26	6	659
滑川市	平成20年	46	11	74	15	11	298
	平成26年	48	13	85	22	17	352
	平成30年	49	13	84	21	14	338
黒部市	平成20年	127	23	81	37	17	593
	平成26年	119	24	97	40	24	622
	平成30年	128	22	93	40	28	647
入善町	平成20年	19	10	19	10	7	130
	平成26年	15	10	20	9	11	140
	平成30年	23	9	24	10	9	181
朝日町	平成20年	25	10	32	6	1	198
	平成26年	26	7	25	8	1	224
	平成30年	24	8	22	7	1	193
計	平成20年	303	80	288	85	41	1,826
	平成26年	288	81	306	106	60	1,975
	平成30年	312	82	300	104	58	2,018

注1) 隔年調査のため、平成25年は調査なし

注2) 医師・歯科医師・薬剤師については籍・名簿登録者の総数、保健師・助産師・看護師・准看護師については業務の従事者数

※厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」の「衛生行政報告例」をもとに県計算

出典:富山県統計年鑑

⑦ 社会福祉

平成 30 年現在、保育所が 47 箇所（入所人員は 3,815 人）、民生委員数が 439 人（うち主任児童委員は 48 人）、老人クラブが 309 箇所（会員数は 21,614 人）あります。

保育所と老人クラブについては、平成 20 年から平成 30 年にかけて減少傾向にあります。

【保育所、民生委員、老人クラブの推移】

（単位：箇所、人）

市町	年	保育所		民生委員数		老人クラブ	
		施設数	入所人員		うち主任児童委員	クラブ数	会員数
魚津市	平成20年	17	1,491	120	17	91	5,534
	平成25年	17	1,307	120	17	86	5,425
	平成30年	12	771	121	17	75	4,763
滑川市	平成20年	10	964	70	10	72	5,655
	平成25年	12	974	72	10	60	4,673
	平成30年	10	826	74	10	59	4,555
黒部市	平成20年	14	1,354	109	15	107	6,784
	平成25年	14	1,360	110	15	107	6,357
	平成30年	14	1,302	113	15	96	5,350
入善町	平成20年	13	819	72	3	58	5,431
	平成25年	11	764	72	3	57	5,197
	平成30年	8	650	72	3	52	4,663
朝日町	平成20年	7	369	59	3	30	2,966
	平成25年	4	298	59	3	31	2,860
	平成30年	3	266	59	3	27	2,283
計	平成20年	61	4,997	430	48	358	26,370
	平成25年	58	4,703	433	48	341	24,512
	平成30年	47	3,815	439	48	309	21,614

出典：富山県県勢要覧

⑧ 環境保全

ごみ処理施設について、ごみ計画処理区域内人口と平成27年度人口を比較すると、ごみ計画処理区域内人口は5市町の人口を網羅しています。

【ごみ処理施設の状況】

市町	ごみ処理施設(平成25年10月1日)			<参考>	
	一日焼却能力(平成26年3月31日) (t/日)	ごみ運搬車 (台)	ごみ計画処理区域内人口 (人)	平成27年度人口 (人)	
魚津市	—	エコぽ〜と(朝日町)	52	44,116	42,935
滑川市	—	クリーンセンター(立山町)	149	33,746	32,755
黒部市	—	エコぽ〜と(朝日町)	256	42,451	40,991
入善町	—	エコぽ〜と(朝日町)	157	26,504	25,335
朝日町	174	エコぽ〜と(朝日町)	21	13,447	12,246
計	174	—	635	160,264	154,262

※焼却能力は、施設の設置者にかかわらず所在地で計上している

※「一日焼却能力」は着工ベースとしている

※「ごみ運搬車」は民間業者との合算値である

出典:富山県県勢要覧(令和元年版)、国勢調査

(8) 地域資源の分布

① 自然・観光資源

ア. 魚津市

魚津市は蟹気楼や埋没林、ホタルイカといった三大奇観をはじめとする豊かな自然を有しています。今後、新たな観光資源の開発とともに、これらを十分に活用した魅力の向上と全国への発信を進めています。

【魚津市の主な自然・観光資源】

No	施設名称	内容	写真
1	海の駅「蟹気楼」	魚津港で水揚げされた鮮魚や、四季折々の特産品を購入できる、蟹気楼眺望スポットです。	
2	蟹気楼展望地点	カメラ、双眼鏡を片手に人々が集まり、蟹気楼の出現を待っています。	
3	魚津水族館	日本海側最大級の水族館として、歴史も古く、種類の豊富さでも日本トップクラスです。	
4	ミラージュランド	魚津水族館に隣接したレジャーランド。夏には海水プールもオープンします。	
5	魚津埋没林博物館	約2,000年前に埋没した樹齢500年内外の原生林の樹根が保存されており、国の特別天然記念物に指定されています。	
6	魚津城跡	築城年代は明らかではありませんが、戦国時代、織田信長が天下統一を目指し、上杉軍との戦いを繰り広げた「魚津城の戦い」(天正10年、1582年)が有名です。	
7	しんきろうロード	すぐ横は日本海、晴れた日には立山連峰を仰ぎ見ることのできる、県内でも有数のドライブコースです。	

No	施設名称	内容	写真
8	みなとオアシス魚津	魚津港北地区は、平成 19 年 3 月に国土交通省の「みなとオアシス」に登録され、蜃気楼の見える港として、全国にPRしています。	
9	洞杉群	南又谷流域の標高 500～700m付近を中心に、樹齢 500 年以上とも推定される天然生のスギが群生しており、スギの大木の根の様子は他では見られないような独特の景観を作り出しています。	
10	魚津桃山運動公園	野球場、陸上競技場、テニスコート、屋内グラウンドがあります。野球場は女子野球大会に用いられマドンナの甲子園として知られています。	
11	新川文化ホール	県立の文化ホールで、愛称はミラージュホール。大ホール・小ホール・展示ホール・会議室・和室などの施設があり、特に大ホールは県内でも有数の音響設備を備え、音響家が選ぶ優良ホール 100 選に選ばれています。	
12	ありそドーム	正式名称は「魚津テクノスポーツドーム」。アリーナ・産業展示大ホール・トレーニングルーム・展望塔（交流学习室）があり、様々なイベントに対応できます。	
13	天神山城跡	松倉城の支城の一つで、上杉方の重要な中継拠点でした。魚津城の戦いの折、越後の上杉景勝が後詰として陣を敷いた所として有名です。	
14	北山鉦泉	子宝の湯として知られる歴史ある湯治場。少彦名社で参拝し、温泉に入れば子宝を授かると言い伝えられています。	

No	施設名称	内容	写真
15	魚津歴史民俗博物館	魚津駅から車で 10 分程の天神山の中腹にあります。吉田記念郷土館、歴史民俗資料館と旧澤崎家との 3 つの建物からなる魚津の歴史スポットです。	
16	米騒動発祥の地	大正 7 年、米価高騰に苦しんでいた猟師の主婦ら数十人が、米の積み出しをやめるよう要求し、米騒動はここから始まりました。銀行の社屋や倉庫が当時のおもかげを残しています。	
17	電鉄魚津駅前観光案内所・ミラたん神社	建物の外壁に地場木材を使用し、中には案内カウンターや応接スペースなどを設け、魚津のことを何でも知りつくした観光コンシェルジュが常駐しています。また、Free Wi-Fi を完備し、大画面テレビでは観光スポットも紹介しています。	
18	片貝山ノ守キャンプ場	市民に自然とふれあう憩いの場を提供し、自然環境の大切さを学ぶとともに、地域振興に寄与するため、片貝上流の片貝県定公園内に平成 21 年に建設されました。ハイキング、オートキャンプやバーベキューが楽しめます。	
19	松倉城跡	鹿熊字城山（標高 430m）に築かれた山城で、越中でも有数の規模をもつ山城といわれています。1583 年に落城するまで越中東部の中心として繁栄しました。	

出典: 富山県新川ガイドマップ、魚津市ホームページ、魚津旅マップ



イ. 滑川市

滑川市は広大な日本海と雄大な北アルプス立山連峰、清らかな水が流れる早月川・上市川に囲まれ、さわやかな大気と美しい緑、実り豊かな大地に恵まれています。先人の英知と努力によって築かれた文化や伝統、自然環境を大切に残しながら、神秘的な「ほたるいか」や富山湾の恵み「海洋深層水」のまちとして全国的に知られています。

【滑川市の主な自然・観光資源】

No	施設名称	内容	写真
1	みのわ温泉ファミリーハウス	標高 189mに位置する、滑川市で唯一の温泉です。しっとり肌になじむナトリウム硫酸塩泉は、神経痛や高血圧にも効果があり心身共に癒されます。北アルプスへの登山客や釣り人にも好立地で、宿泊もできます。	
2	ほたるいか海上観光	富山県屈指の漁獲量を誇る滑川漁港を、夜明け前に出港し、富山県ならではの定置網によるホタルイカ漁を観光船から見学します。	
3	ほたるいかミュージアム	不思議な生態をもつホタルイカについての「なぜ?」「どうして?」を楽しく知ることができる体験型ミュージアムです。	
4	なめりかわ宿場回廊	古くは 16 世紀初頭から北国街道加賀藩の宿場町として人の往来や物資の流通で賑わった滑川市。「なめりかわ宿場回廊めぐり案内マップ」を片手に宿場町を回廊のように見て回ることができます。	
5	深層水体験施設タラソピア	滑川沖の水深 333mから汲み上げた海洋深層水をふんだんに使用した、海洋療法（タラソテラピー）を体験できる施設です。	

No	施設名称	内容	写真
6	富山湾岸クルージング	滑川漁港から出航する観光遊覧船に乗り、標高 3,000m級の立山連峰が眺望できるクルージングです。	
7	あいらぶ湯	立山連峰、富山湾、北陸新幹線を一望できる展望風呂で、全国的にも珍しい滑川沖水深 333mから取水した塩分濃度 3%の「滑川海洋深層水風呂」が人気の入浴施設です。	
8	深層水足湯	期間限定（4月下旬～10月中旬頃）で、海洋深層水を使った足湯に浸かることができます。足湯から眺める富山湾の景色も素敵です。	
9	東福寺野自然公園	標高 300mの台地に広がる自然豊かな公園です。園内にはパークゴルフ場、バーベキュー広場やSLハウス（宿泊施設）、芝生広場などがあり、子どもから大人まで一緒に楽しめる施設です。	
10	行田公園	面積が約 6.6ha あり、園内には四季折々に様々な花が美しく咲きます。特に見ごたえあるのは6月中旬から下旬にかけて満開になる花菖蒲です。	
11	パノラマレストラン光彩	道の駅ウェーブパークなめりかわにあるレストランです。「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟している雄大な富山湾を一望でき、季節に合わせた富山の旬の食材を堪能することができます。	
12	西光寺 銀杏の古木 (市指定文化財)	西光寺(下大浦)にあるイチョウの大木で、樹齢 200 年以上と推定されています。このイチョウは雄株であるため実はなりません。秋には扇形の葉が美しい黄金色となり、見事な景観を見せています。	

No	施設名称	内容	写真
13	いをのみ公園	複合遊具や築山といった子供が遊べるわんぱくゾーンや、健康遊具を高齢者の健康促進のため設置したシルバーゾーンなど子供から高齢者まで遊べる公園です。	
14	日医工スポーツアカデミー	人工芝サッカーコート2面が整備されており、富山のサッカーの普及・強化拠点として、連日多くのサッカー愛好者で賑わっています。	

出典:滑川市ホームページ

ウ. 黒部市

黒部市は北アルプスから流れてきた豊かな水が作り出した「山・川・海」の豊かで美しい自然環境を有しています。日本一の清流黒部川と扇状地がもたらした自然の豊かさが満喫できます。

【黒部市の主な自然・観光資源】

No	施設名称	内容	写真
1	黒部峡谷トロッコ電車	立山連峰と後立山連峰との間に深く刻み込まれた渓谷美を楽しめる宇奈月～樺平 20.1km のトロッコ電車です。	
2	宇奈月温泉	収容人員 3,500 名を誇る富山県随一の温泉郷です。大正 12 年に開湯した湯量豊富な単純泉で、黒部川上流にある黒薙が源泉で、1 日 3,000 t もの湯量を誇っています。	
3	宇奈月温泉スキー場	温泉街を見下ろし、初心者から上級者まで楽しめます。	
4	宇奈月国際会館 セレネ美術館	国際会館内にある「黒部の自然」をテーマとした美術館で、宇奈月とゆかりの深い作家や現代代表作家の作品を展示しています。	
5	黒部川電気記念館	建設当時活躍していた電気機関車 (E B 5 号) が記念館前に展示してあります。	
6	宇奈月麦酒館・ 黒部市歴史民俗資料館	道の駅で地ビールを楽しみながら食事ができ、歴史民俗資料館(友学館)では宇奈月と黒部峡谷の歴史に親しめます。	
7	黒部市吉田科学館	日本海側最大級直径 20m のプラネタリウムが特徴です。	

No	施設名称	内容	写真
8	石田浜海水浴場	海水浴やジェットスキー、ウィンドサーフィンが楽しめます。	
9	魚の駅「生地」	湧水の地、生地漁港に面するくろべ漁協の直販施設です。「とれたて館」では新鮮な魚介類などを購入でき、「できたて館」では漁師町の伝統料理が楽しめます。	
10	石田フィッシャリーナ	マリーナと釣棧橋があります。	
11	宮野運動公園	桜の名所でもあり、各種施設の揃った総合運動公園です。	
12	大原台自然公園	宇奈月温泉街を見下ろせる、平和の像が立つ公園です。	
13	くろべ牧場まきばの風	約 250 頭の乳牛の他、ポニーや羊などが放牧されており、酪農体験・チーズ作り・バーベキューなどが楽しめます。	
14	生地温泉	日本海を望み、新鮮な海の幸を楽しむことができる上杉謙信ゆかりの温泉であり、季節ごとの木々を楽しめる庭園があります。	
15	湖畔の湯「とちの湯」	浴場・研修室・展示室・テラスがあり、露天風呂からは宇奈月湖畔や対岸を走るトロッコ電車、北アルプスなどが眺望できます。	

No	施設名称	内容	写真
16	どやまらんど 「明日キャンプ場」	バンガローを有し、パットゴルフや グラススキーが楽しめます。	
17	黒部市おおしまパークゴ ルフ場	国際パークゴルフ協会公認5コース 45ホールのパークゴルフ場です。近 隣にキャンプ場、つり桟橋、海水浴 場があります。	
18	産業観光（YKK）	世界のYKKグループの技術拠点で ある黒部事業所です。ファスナーと 建材の製造工程やグループの歴史な どの展示、製造ラインのファクトリ ーツアーが楽しめます。	
19	宇奈月ダム	洪水を防ぎ、下流域を災害から守る とともに、豊富な水を水道水や発電 に生かす多目的ダムとして建設さ れ、地域の暮らしを支えています。	

出典：富山県新川ガイドマップ、富山観光ナビ

エ. 入善町

黒部川扇状地を切り開いてできた入善町は、北は日本海に臨み、その海岸から南を向けば北アルプス 3,000 メートル級の峰々を一望できる自然豊かな町です。

【入善町の主な自然・観光資源】

No	施設名称	内容	写真
1	杉沢の沢スギ	国指定の天然記念物であり、平地の水湿地に生育するスギの自然林です。全国名水百選に選定された黒部川扇状地湧水群の一つです。	
2	墓ノ木自然公園	黒部川の河川敷に広がる約 22ha の公園です。公園内のキャンプ場には、小川があり、水遊びや釣りを楽しむことができます。	
3	入善町中央公園	陸上競技場、野球場、テニスコートをはじめ、芝生広場やキッズ向けの遊具などがあり、スポーツも遊びも思いっきり楽しめる公園です。	
4	水の小径	入善町を流れる豊かな水を利用した水辺空間です。せせらぎの音、やさしい木漏れ日の下を歩く散策路が、南北約 1 km にわたって続いています。	
5	舟見城址館	中世の頃にあった山城をイメージし、舟見山山頂の自然公園に建てられたお城の形の資料館です。天守閣からは散居村と富山湾が織りなす素晴らしい風景を一望できます。この周辺は「とやま森林浴の森」に指定されています。	
6	扇状地湧水公苑	全国名水百選である黒部川扇状地湧水群の名水をシンボルとして、湧き水を利用した噴水や泉がある、水に親しむことができる公園です。	
7	園家山キャンプ場	海水浴やバーベキュー、釣りを楽しむ人たちが賑わう、富山湾に面したキャンプ場です。自然の中でアウトドアを思い切り楽しめます。	

No	施設名称	内容	写真
8	高瀬湧水の庭	入善町を代表する湧水スポットです。こんこんと湧き出る、おいしい水を求めて、県内外から多くの方が訪れています。	
9	入善海洋深層水パーク	入善沖約3km、水深384mから海洋深層水を取水し、産業活動に利用しています。深層水関連商品や町特産品などの購入、深層水仕込カキを味わうことができ、新たなスポットとして賑わっています。	
10	じょうべのま遺跡	日本で地方の荘園が掘り出されたことは珍しく、その中でも「じょうべのま」は最も大きな遺跡です。昭和54年5月14日に国指定の史跡となり、永久に保存されることになりました。	
11	下山芸術の森 発電所美術館	大正15年に建設された水力発電所を改装したユニークな美術館です。煉瓦づくりの建物に内部には導水管や発電機が残されています。	
12	負釣山	入善町で一番高い、標高959mの山です。山頂からは立山連峰、能登半島、富山湾、黒部川扇状地が一望できます。	
13	黒部川明日温泉元湯 バーデン明日	黒部川沿いの里山にこんこんと湧き出す天然のいで湯は、しっとりとなめらかな美肌の湯です。とろりとした肌触りの泉質で「天然の化粧水」とも呼ばれています。	
14	舟川ダム	堤高49.8m、堤頂長160.5mで、自然の力と人間の力によって作られた美しい建造物です。	
15	栴山いろり館	大正から昭和初期の平均的な農家住宅です。往時の生活様式や失われてゆく生活文化を体験・伝承しながら語らい、交流できる宿泊施設として、小グループや団体の研修会など、多くの方が利用しています。	

出典：入善町各種観光パンフレット、入善町ホームページ

オ. 朝日町

朝日町は海拔0 mから 3,000mまでの豊かな自然環境を有しており、既存の観光施設の有効活用に加え、町の特徴を活かした魅力ある観光地づくりを進めています。

日本の渚・百選にも選ばれているヒスイ海岸では、原石が拾えることもしばしばあります。朝日岳や宮崎海岸など、朝日町は自然の宝石箱です。

【朝日町の主な自然・観光資源】

No	施設名称	内容	写真
1	なないろKAN	昔懐かしいアンティークな蓄音機の数々、朝日・白馬岳を眺望しながらの食事、手作りガラスや陶芸作品の製作など、7つの魅力が楽しめます。	
2	らくち〜の	熱処理を利用した温浴施設です。温水プールやお風呂、フィットネスや食事が楽しめます。	
3	朝日ヒスイ海岸オートキャンプ場	ヒスイ海岸に隣接する総面積 3.8ha のキャンプ場です。オートキャンプをはじめ、海水浴、釣り、ヒスイ探し、ドッグランが楽しめます。	
4	朝日町立ふるさと美術館	朝日町にゆかりのある芸術家の作品が展示されており、生涯学習館も併設されています。	
5	棚山ファミリーランド	標高 300m の山麓に広がる棚山台地に位置するファミリー向けレジャーゾーンです。	
6	朝日町歴史公園	国指定史跡「不動堂遺跡」に隣接した総面積 11,700m ² の公園です。管理棟となる旧川上家は、江戸時代の中頃に建てられた県内最古といわれる町屋を再現したものです。	
7	不動堂遺跡	縄文時代中期の社会の仕組みや生活の様子を知る上で貴重な遺跡として、昭和 49 年 12 月に国の史跡に指定されています。	

No	施設名称	内容	写真
8	百河豚美術館	北アルプスを背景に、湖上に浮かぶピラミッド型の美術館。北陸でも数少ない中国・朝鮮・インド・日本の古美術が展示されています。	
9	小川温泉元湯	400年間湧き続けるこのお湯は、「子宝の湯」「湯治の湯」として愛されています。	
10	ヒスイ海岸	この海岸は日本でも珍しい砂利浜で、宝石の一種である「ヒスイ」の原石が打ち上がることから、ヒスイ海岸の愛称で親しまれています。	
11	三峯グリーンランド	遊歩道、林間広場、キャンプ場などが整備されています。トレラン大会などが開催されます。	
12	護国寺	境地区中央の日本海を望む高台にあり、弘法大師によって創建されたと伝えられています。護国寺庭園・寺の背後の山を利用した庭園は、つつじやシャクナゲが咲ほころぶ名園として知られています。	
13	ハーバルバレーおがわ	朝日小川ダムの下流川岸に広大な敷地をもつハーブ公園です。開花時期である5月～8月頃まで様々なハーブの花や香りを楽しむことができます。(40種類、約5万株)	

出典:富山県、朝日町各種観光パンフレット、朝日町ホームページ

■ 自然・観光資源の分布図 ■



② 行事・イベント

ア. 魚津市

魚津市には、魚津しんきろうマラソンやじゃんとい魚津まつりなど、下表に示すようなシーズン毎の祭りやイベントがあります。

【魚津市の主な行事・イベント】

イベント名	開催時期
桜のページェント	4月上旬
魚津しんきろうマラソン	4月下旬
よっしゃ来い!!CHOUROKUまつり	5月中旬
戦国のろし祭り	5月下旬
魚津神社祭礼	6月上旬
ミラージュプールオープン	7月中旬
じゃんとい魚津まつり (たてもん祭り、海上花火大会、せり込み蝶六踊り街流し、経田七夕まつり 他)	8月上旬
全日本大学女子野球選手権大会	8月下旬
学びの森音楽祭	8月下旬
漁火まつり	8月下旬
八幡宮献灯みこし祭り	9月中旬
スポーツレクリエーション祭	10月中旬
小川寺の獅子舞(神仏混交の秋祭り)	10月中旬
魚津市民文化祭	10月下旬
魚津産業フェア(〇〇魚津)	10月下旬
片貝山ノ守紅葉まつり	10月下旬
魚津カップジュニア駅伝競走大会	11月上旬
イルミラージュUOZU	12月～翌2月
愛宕社の火祭り	1月下旬
魚津カニの陣	2月上旬
小川寺の獅子舞(神仏混交の春祭り)	3月中旬
ミラージュランドオープン	3月中旬
金山谷の獅子舞	3月中旬



たてもん祭り(国重要無形民俗文化財) せり込み蝶六(市無形民俗文化財)

出典: 富山県、魚津市各種観光パンフレット

イ. 滑川市

滑川市には、富山湾岸クルージングやベトナム・ランタンまつりなど、下表に示すようなシーズン毎の祭りやイベントがあります。

【滑川市の主な行事・イベント】

イベント名	開催時期
機原神社 春季例大祭	4月～6月
春のホタルイカ祭り	4月下旬
富山湾岸クルージング	5月下旬～11月下旬
ふるさと龍宮まつり	7月中旬
ニジマス釣りと手づかみ大会	5月下旬
花しょうぶまつり	6月中旬～下旬
ネブタ流し	7月下旬
茅の輪くぐり	7月下旬
ベトナム・ランタンまつりinなめりかわ	8月上旬
ほたるいかマラソン	10月中旬
キラリングルメの森	10月下旬～11月上旬
道の駅ウェーブパークフェスタ	11月下旬
滑川市元旦マラソン	1月上旬
ホタルイカ漁解禁	3月上旬
ほたるいかミュージアム「ほたるいか発光ショー」	3月中旬～5月下旬
ほたるいか海上観光	3月下旬～5月上旬



ほたるいかミュージアム
「ほたるいか発光ショー」



ベトナム・ランタンまつり in なめりかわ

出典：滑川市ホームページ、滑川ガイドブック

ウ. 黒部市

黒部市には、くろべ牧場まきばの風ファームフェアやえびす祭りなど、下表に示すようなシーズン毎の祭りやイベントがあります。

【黒部市の主な行事・イベント】

イベント名	開催時期
宮野山桜まつり	4月上旬
明日の稚児舞	4月中旬
黒部峡谷オープニングフェスティバル	5月上旬
くろべ牧場まきばの風ファームフェア	5月上旬
黒部峡谷三色餅つき祭	5月中旬
宇奈月平和の像観音祭	5月中旬
生地まち歩きフェスティバル	5月下旬
カーター記念黒部名水マラソン	5月下旬
黒部川鮎釣り解禁	6月上旬
愛本姫社まつり	6月下旬
黒部川水のコンサート&フェスティバル	7月下旬
にぶ流し	7月下旬
くろべ生地浜海上花火大会	7月下旬
えびす祭り	7月下旬
尾山七夕流し	8月上旬
宇奈月温泉夏祭り	8月上旬
石田浜マリーナフェスタ	8月上旬
魚つかみ捕り大会	8月中旬
峡谷花火響宴	8月中旬
くろべ納涼楽市	8月下旬
越中おわら宇奈月	8月下旬
越中おわら宇奈月・仲秋の部	9月上旬
くろべフェア	9月下旬
たいまつ祭り	10月下旬
布施谷まつり	11月上旬
雪上花火大会	1月上旬～3月下旬
雪のカーニバル	2月上旬
スノーバー	2月上旬



宮野山桜まつり



愛本姫社まつり

出典：富山県、黒部市各種観光パンフレット

エ. 入善町

入善町には、扇状地マラソンや入善深層水かき祭りなど、下表に示すようなシーズン毎の祭りやイベントがあります。

【入善町の主な行事・イベント】

イベント名	開催時期
芦崎えびす祭り	4月下旬
にゅうぜんフラワーロード	4月中旬～下旬
観音祭り	6月中旬
下山八幡社滝開き	7月上旬
舟見七夕祭り - 入善町	7月上旬
大磐祭り	7月下旬
深層水ふれあいデー	7月下旬
入善ふるさと七夕まつり	8月上旬
恵比須祭り	8月下旬
タイマツ祭り	10月上旬
まつりんぴっく	10月上旬
秋祭り奉納獅子舞	10月中旬
JAみな穂フェスティバル	10月下旬
舟見山神社 山神様祭り	11月中旬、2月上旬
扇状地マラソン	11月中旬
塞の神祭り	1月中旬
入善ラーメンまつり	2月中旬
入善深層水かき祭り～冬の陣～	3月上旬
十三寺開帳	7年に1回開催



入善ラーメンまつり



入善深層水かき祭り

出典:入善町観光物産協会

オ. 朝日町

朝日町には、あさひ舟川「春の四重奏」や鹿嶋神社稚児舞など、下表に示すようなシーズン毎の祭りやイベントがあります。

【朝日町の主な行事・イベント】

イベント名	開催時期
あさひ舟川「春の四重奏」	4月上旬
境関所まつり	4月下旬
城山まつり	4月下旬
護国寺シャクナゲ	4月下旬～6月中旬
鹿嶋神社稚児舞	5月上旬
鬼遠祭	6月下旬
翡翠カップビーチボール全国大会	7月上旬
朝日岳山開き登山会	7月上旬
あさひまつり	7月下旬
全国ビーチボール競技大会	9月上旬
紅葉の北又散策	10月下旬



あさひ舟川「春の四重奏」



鹿嶋神社稚児舞(町無形民俗文化財)

出典: 富山県、朝日町各種観光パンフレット

■ 行事・イベントの分布図 ■



③ 歴史・文化資源

ア. 魚津市

魚津市には、国指定 4 件、県指定 10 件、市指定 40 件の文化財があります。

【魚津市の指定文化財】

指定別	種別	名称	指定年月日
国	特別天然記念物	ホタルイカ群遊海面	S27.3.29
国	特別天然記念物	魚津埋没林	S30.8.22
国	特別天然記念物	カモンカ	S30.2.15
国	重要無形民俗文化財	魚津のタテモン行事	H9.12.15
県	天然記念物	大沢の地鎮杉	S40.1.1
県	天然記念物	坪野のつなぎがや	S40.10.1
県	史跡	桜峠遺跡	S40.1.1
県	史跡	松倉城跡	S40.1.1
県	建造物	旧沢崎家住宅	S49.7.1
県	美術工芸品	木造十一面観世音菩薩立像	S40.1.1
県	美術工芸品	木造阿弥陀如来立像	S45.12.19
県	美術工芸品	金銅千手観音菩薩立像	S59.2.22
県	有形民俗文化財	たてもん	S47.10.5
県	無形民俗文化財	小川寺の獅子舞	H6.2.24
市	史跡	天神山城跡	S38.4.1
市	史跡	升方城跡	S38.4.1
市	史跡	北山(金山谷)城跡	S38.4.1
市	史跡	坪野城跡	S38.4.1
市	史跡	魚津城跡	S38.4.1
市	史跡	石の門	S38.4.1
市	史跡	武隈屋敷跡(小菅沼城跡)	S38.4.1
市	史跡	水尾城跡	S56.7.29
市	史跡	青山佐渡守・豊後守父子の墓	S38.4.1
市	史跡	大音主馬の碑	S38.4.1
市	史跡	大伴家持の歌碑	S38.4.1
市	史跡	万灯台	S38.4.1
市	史跡	高円堂用水	S38.4.1
市	史跡	魚津町奉行所跡	S38.4.1
市	史跡	小貝塚	S38.4.1
市	名勝	蜃気楼展望地点	S51.7.19
市	有形民俗文化財	農具	S50.7.30
市	有形民俗文化財	漁具	S50.7.30
市	有形民俗文化財	生活用具	S50.7.30

指定別	種別	名称	指定年月日
市	有形民俗文化財	獅子舞及び面	S55.7.3
市	無形民俗文化財	せり込み蝶六	S38.4.1
市	無形民俗文化財	布施谷節	S38.4.1
市	無形民俗文化財	鹿熊の刀踊り	H10.4.1
市	美術工芸品	制札(高札)	S47.1.26
市	美術工芸品	椎名康胤寄進状	S47.1.26
市	美術工芸品	佐々成政書状	S47.1.26
市	美術工芸品	雲門寺壁書	S47.1.26
市	美術工芸品	前田利常書状	S47.1.26
市	美術工芸品	紙本著色 釈迦三尊像	S47.1.26
市	美術工芸品	紙本著色 庶民風俗図屏風	S47.1.26
市	美術工芸品	紙本水墨 達磨大師図	S47.1.26
市	美術工芸品	絹本水墨 虎図	S47.1.26
市	美術工芸品	紙本水墨 獅子図屏風	S47.1.26
市	美術工芸品	絹本著色 阿弥陀三尊像	S63.2.2
市	美術工芸品	魚津町惣絵図	S47.1.26
市	美術工芸品	魚津町軒名図	S47.1.26
市	美術工芸品	近世武具	H13.6.4
市	美術工芸品	水噴きの龍	S38.4.1
市	美術工芸品	木造僧形八幡神座像	H12.4.3
市	天然記念物	洞杉及び岩上植物群落	H25.5.8

出典:魚津市ホームページ

イ. 滑川市

滑川市には、国指定 2 件、県指定 1 件、市指定 31 件の文化財があります。

【滑川市の指定文化財】

指定別	種別	名称	指定年月日
国	特別天然記念物	ホタルイカ群遊海面	S27.3.29
国	重要無形民俗文化財	滑川のネブタ流し	H11.12.21
県	史跡	本江遺跡	S47.2.26
市	建造物	養照寺本陣(上段の間)	S57.3.17
市	建造物	岩城家住宅	H27.3.27
市	絵画	釈迦三尊(三幅図)	S57.3.17
市	彫刻	神農坐像	S54.2.22
市	彫刻	左大臣・右大臣、狛犬(対)	S57.3.17
市	彫刻	帝釈天	S60.8.27
市	彫刻	釈迦如来坐像	S57.3.17
市	工芸品	加積雪嶋神社「みこし」	S51.7.12
市	工芸品	梵鐘	S57.3.17
市	書跡	柔遠自筆文書	S50.4.15
市	考古資料	銅製経筒	S54.2.22
市	歴史資料	種ふくろ(吉田芳塙)	S51.7.12
市	歴史資料	河崎家文書	S51.7.12
市	歴史資料	上杉景勝の「制札」	S54.2.22
市	歴史資料	桐沢家文書	S57.3.17
市	有形民俗資料	売薬民俗資料	S57.3.17
市	無形民俗文化財	赤浜のショーブツ	H27.3.27
市	史跡	句碑(有磯塚)	S49.4.18
市	史跡	千鳥遺跡	S49.4.18
市	史跡	東金屋たたら製鉄場跡	S49.4.18
市	史跡	東福寺焼窯跡	S49.4.18
市	史跡	一里塚	S50.4.15
市	史跡	常夜燈	H13.3.27
市	史跡	立山・大岩道しるべ	H13.3.27
市	天然記念物	門松	S49.4.18
市	天然記念物	ひいらぎの古木	S49.4.18
市	天然記念物	銀杏の古木	S49.4.18
市	天然記念物	立山杉の古木	S54.2.22
市	天然記念物	ギンモクセイ	S54.2.22
市	天然記念物	エドヒガンザクラの古木(中野)	H27.3.27
市	天然記念物	エドヒガンザクラの古木(追分)	H27.3.27

出典:滑川市ホームページ(滑川市文化財一覧表)

ウ. 黒部市

黒部市には、国指定 3 件、国選択 1 件、県指定 11 件、市指定 51 件、市準指定 2 件の文化財があります。

【黒部市の指定文化財】

指定別	種別	名称	指定年月日
国	天然記念物	黒部峡谷附猿飛ならびに奥鐘山	S39.7.10
国	天然記念物	白馬連山高山植物帯	S27.3.29
国	民俗文化財	越中の稚児舞・明日の稚児舞	S57.1.14
国選択	民俗文化財	越中の田の神行事(おおべっさま迎え)	S58.12.16
県	民俗文化財	中陣地区のニブ流し	H6.2.4
県	民俗文化財	尾山の七夕流し	H16.7.16
県	史跡	嘉例沢の石仏	S40.2.1
県	史跡	嘉暦四歳銘五輪石塔	S40.2.1
県	史跡	北野の石龕	S40.2.1
県	史跡	生地台場	S40.10.1
県	史跡	愛本新遺跡	S45.12.19
県	天然記念物	明日の大桜	S40.1.1
県	天然記念物	内山のとちの森	S40.1.1
県	天然記念物	宇奈月の十字石	S40.1.1
県	天然記念物	愛本のウラジロガシ林	S42.9.26
市	建造物	長安寺山門及び付属土塁	S63.4.30
市	建造物	松桜閣	H7.12.22
市	絵画	川中島合戦絵馬	S34.2.10
市	絵画	喜多川相説「四季草花図押絵貼屏風」	S59.10.31
市	絵画	元禄二年銘「鶏之図」絵馬	H4.6.29
市	絵画	春秋耕作図絵馬	H4.6.29
市	絵画	阿弥陀仏絵像	H7.12.22
市	絵画	天竺・震旦高僧連坐像	H7.12.22
市	絵画	十字名号	H7.12.22
市	絵画	和朝太子先徳連坐像	H7.12.22
市	絵画	阿弥陀如来絵像(方便法身尊形)	H11.3.25
市	絵画	伊年印四季草花図屏風	H12.1.27
市	彫刻	吉祥寺木造聖観世音菩薩立像	S31.11.13
市	彫刻	木造阿弥陀如来立像	H11.8.30
市	彫刻	木造千手観音立像	H18.8.29
市	彫刻	千光寺の阿弥陀如来立像	S36.12.26
市	古文書	法福寺の古文書並びに仏画	S35.7.19
市	古文書	顕如上人真影とその裏書	S49.6.12
市	古文書	川端家文書	H9.12.24

指定別	種別	名称	指定年月日
市	歴史資料	備荒倉扁額	S30.7.11
市	歴史資料	八幡社の大幟	H5.7.28
市	歴史資料	松儀家所蔵加賀藩主からの拝領品	H9.2.28
市	歴史資料	三日市駅宿並絵図	H18.8.29
市	歴史資料	越中新川郡愛本橋百分一之図	H24.12.25
市	民俗文化財	若埜神社の花火大筒	S52.5.27
市	民俗文化財	若埜神社の大幟一旒	S52.5.27
市	民俗文化財	獅子頭	H11.3.25
市	民俗文化財	しばんば	S31.1.13
市	民俗文化財	布施谷節	S31.1.13
市	民俗文化財	えびす迎えの行事	S35.7.19
市	民俗文化財	愛本新用水天満宮松明祭	S56.1.10
市	民俗文化財	生地たいまつ祭り	H28.1.26
市	史跡	三本柿	S30.7.11
市	史跡	若栗城跡	S30.7.11
市	史跡	八心大市比古神社	S30.7.11
市	史跡	石田の石塔群	S35.7.19
市	史跡	明教院釈僧鎔慶叟の碑	S36.12.26
市	史跡	阿古屋野古墳	S40.2.1
市	史跡	仙人岩屋と石仏	S46.9.1
市	史跡	浦山寺蔵遺跡	H13.2.12
市	史跡	三日市里程標	H18.8.29
市	名勝	松桜閣の庭園	S31.1.13
市	名勝	西徳寺の庭園	S31.9.8
市	天然記念物	月訪の桜	S36.12.26
市	天然記念物	桜井の化藤	S40.2.1
市	天然記念物	謙信手植の松	S45.4.1
市	天然記念物	天池の宮ツバキ社叢	S56.6.30
市	天然記念物	三島の大ケヤキ	S58.9.28
市	天然記念物	仙人岩屋のヒカリゴケ	S60.5.1
市	天然記念物	白山社のウラジロガシ林	S60.4.30
市	天然記念物	旧三日市小学校の百年桜	H18.8.29
市準	史跡	熊野・栃屋の石塔群	S61.12.20
市準	天然記念物	愛本新御前林の松	S61.12.20

出典：黒部市ホームページ

エ. 入善町

入善町には、国指定 4 件、県指定 3 件、町指定 11 件の文化財があります。

【入善町の指定文化財】

指定別	種別	名称	指定年月日
国	無形民俗文化財	邑町のサイノカミ	H22.3.11
国	史跡	じょうべのま遺跡	S54.5.14
国	天然記念物	杉沢の沢スギ	S48.8.4
国	登録有形文化財	入善町下山芸術の森アートスペース (旧下山発電所)	H8.12.20
県	彫刻	木造聖観世音菩薩立像 千手観世音菩薩立像 馬頭観世音菩薩立像	S40.1.1
県	天然記念物	下山八幡社の大藤と境内林	S40.1.1
県	天然記念物	小摺戸の大藤	S40.1.1
町	建造物	藤保内神社本殿	H13.11.26
町	彫刻	木造二天像(持国天立像、多聞天立像)	H15.9.3
町	彫刻	木造狛犬	H15.9.3
町	工芸品	越中舟見焼	S48.3.10
町	有形民俗文化財	入善の糸あやつり人形	S57.12.15
町	無形民俗文化財	吉原木遣	S37.5.1
町	無形民俗文化財	奉納獅子舞	S39.5.1
町	無形民俗文化財	盆音頭	S45.3.10
町	無形民俗文化財	入善町新屋代神楽獅子舞(二人立)天狗舞	S52.4.1
町	無形民俗文化財	墓ノ木タイマツ祭り	S52.4.1
町	史跡	坪野遺跡	S40.5.1

出典: 入善町ホームページ

オ. 朝日町

朝日町には、国指定 3 件、県指定 6 件、町指定 29 件の文化財があります。

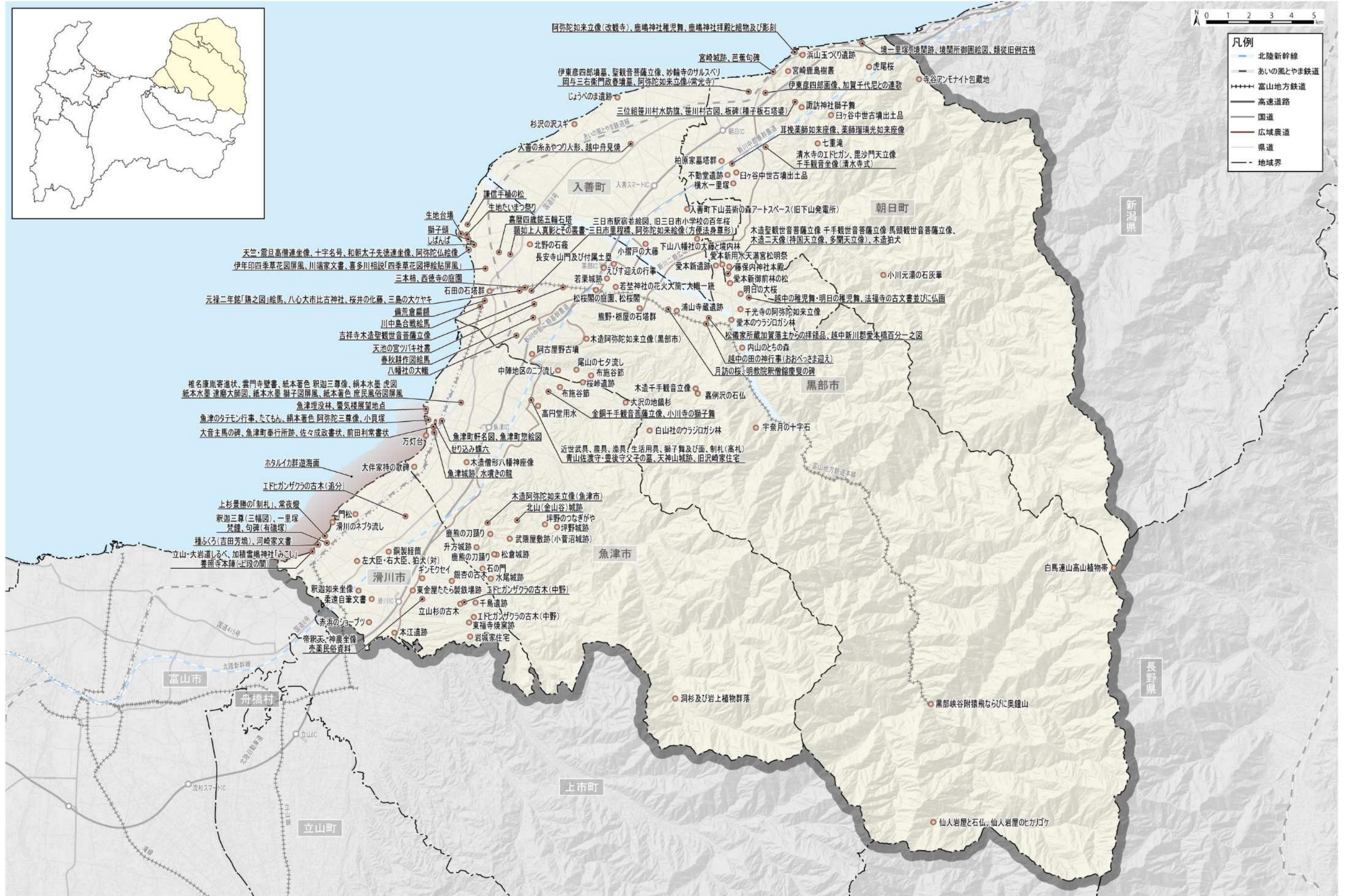
【朝日町の指定文化財】

指定別	種別	名称	指定年月日
国	史跡	不動堂遺跡	S49.12
国	特別天然記念物	白馬連山高山植物帯	S27.3
国	天然記念物	宮崎鹿島樹叢	S11.12
県	彫刻	毘沙門天立像	S60.9
県	史跡	宮崎城跡	S40.1
県	史跡	境関跡	S40.10
県	史跡	境一里塚	S40.1
県	史跡	浜山玉つくり遺跡	S47.10
県	天然記念物	寺谷アンモナイト包蔵地	S53.1
町	建造物	鹿嶋神社拝殿と組物及び彫刻	H7.2
町	彫刻	千手観音坐像(清水寺式)	S41.5
町	彫刻	薬師瑠璃光如来座像	S41.5
町	彫刻	耳挽薬師如来座像	S41.5
町	彫刻	聖観音菩薩立像	S41.5
町	彫刻	阿弥陀如来立像	S42.12
町	彫刻	阿弥陀如来立像	S46.9
町	古文書	類従旧例古格	S50.4
町	古文書	境関所御困絵図	S50.4
町	古文書	笹川村古図	S41.5
町	歴史資料	三位組笹川村水防旗	S41.5
町	歴史資料	伊東彦四郎墳墓	S41.5
町	歴史資料	加賀千代尼との連歌	S41.5
町	歴史資料	伊東彦四郎画像	S41.5
町	歴史資料	臼ヶ谷中世古墳出土品	H7.2
町	無形民俗文化財	鹿嶋神社稚児舞	S46.9
町	無形民俗文化財	諏訪神社獅子舞	S46.9
町	史跡	横水一里塚	S42.12
町	史跡	柏原家墓塔群	S42.12
町	史跡	板碑(陰刻板五輪塔婆)	S41.5
町	史跡	小林家地神の五輪塔	S41.5
町	史跡	板碑(種子板石塔婆)	S41.5
町	史跡	岡与三右衛門政春墳墓	S41.5
町	史跡	芭蕉句碑	S52.10
町	名勝	七重滝	S42.12

指定別	種別	名称	指定年月日
町	天然記念物	妙輪寺のサルスベリ	S41.12
町	天然記念物	小川元湯の石灰華	S51.9
町	天然記念物	清水寺のエドヒガン	S61.11
町	天然記念物	虎尾桜	H14.7

出典:朝日町ホームページ

■ 歴史・文化資源の分布図 ■



④ 特産品・直売所

ア. 魚津市

【特産品】

加積りんご、ベニズワイガニ、かまぼこ、ほたるいか、友道の梨、魚津漆器、地酒 北洋、だ
いこん、こまつな、はくさい、ねぎ、きゅうり、トマト、れんこん、西布施ぶどう、桃、ゆ
り、とうがん、さといも、大豆、にいかわジビエカレー、芍薬



加積りんご



ベニズワイガニ



かまぼこ



西布施ぶどう



下野方の梨



芍薬

出典：魚津市観光協会公式サイト「魚津たびナビ」、とやま水土里プロジェクト 2019

【直売所】

名称	住所
山の駅もくもく	魚津市下椿 8
魚津地場産直売倶楽部 おいで安	魚津市北鬼江 360 J A うおづ営農・経済センター組合員課内
銀座ワイワイもちより市	魚津市真成寺町 4-7
松倉もちより市	魚津市観音堂 1160
海の駅 蜃気楼	魚津市村木定坊割 2500-2
ミラマルシェ	魚津市釈迦堂 1 丁目 1-1 魚津駅構内
経田漁港わいわい市	魚津市東町 15-1
経田潮風わいわい市	魚津市浜経田 456
蜃気楼バザール	魚津市文化町 10
上口マルシェ	魚津市上口 2 丁目 16-33

【オンラインショップ】

名称	住所
尾崎かまぼこ館	https://kamabokokan.co.jp/ 魚津市友道 1153-1
鮭蒲本舗 河内屋	https://www.kamaboko.co.jp/ 魚津市駅前新町 9-12

出典：越中とやま食の王国(富山県農林水産部農林水産企画課ホームページ)、魚津市ホームページ

イ. 滑川市

【特産品】

コシヒカリ、りんご（ふじ）、りんごジャム、りんごジュース、海洋深層水トマト、海洋深層水天日塩「健好の塩」、さといも（大和）、かずみ野健康茶、らっきょう漬け、梅干し、手作りみそ、ホタルイカ、ベニズワイガニ、甘えび、バイ貝、黒作り、白ねぎ、ぶどう



ホタルイカ



りんご(ふじ)



海洋深層水トマト



海洋深層水天日塩



さといも(大和)



かずみ野健康茶

出典:トラベルなめりかわ～ホタルイカと海洋深層水のまち～、とやま水土里プロジェクト 2019

【直売所】

名称	住所
とみや 富山県農産物直売所&カフェ	滑川市常盤町 17-1
ひかる市（滑川ひかる市運営協議会） （4月～12月までの毎週水・土）	滑川市上島 235
ふれあい市（滑川市農村女性グループ 連絡協議会） （5月末～12月までの毎週水）	滑川市吾妻町地内（㈱高緑海産横）
みずまる市（滑川市みずまる市運営協 議会）	滑川市常盤町 181-52（㈱まるまんエール店内） 滑川市上小泉 1263（㈱まるまんパスタ店内）

【オンラインショップ】

名称	住所
有限会社カネツル砂子商店	https://www.kanetsuru.com/shop/ 滑川市北町 1253 番地
株式会社川村水産 オンラインショ ップ	https://www.kawamurasuisan.jp/ 滑川市三穂町 1666

出典:越中とやま食の王国(富山県農林水産部農林水産企画課ホームページ)、滑川市ホームページ

ウ. 黒部市

【特産品】

黒部名水ポーク、まこもたけ、黒部産米、ヒラメ、キジハタ、行者ニンニク、アルギットニラ、きび (いなきび)、きびおこわ、ベニズワイガニ、ねぎ、黒部のもも、きりもち、黒部丸いも、さつまいも (紅はるか)、にいかわジビエカレー、宇奈月地ビール



黒部名水ポーク



黒部丸いも



行者ニンニク



宇奈月地ビール



黒部のもも



にいかわジビエカレー

出典: 黒部市ホームページ、とやま水土里プロジェクト 2019

【直売所】

名称	住所
bossa farm	黒部市沓掛 700-1
飯澤醤油味噌店	黒部市生地中区 85
くろべ漁業協同組合 魚の駅「生地」	黒部市生地 265
地産の黒部 有限責任事業組合	黒部市若栗 2788-1 若栗農業会館(地鉄舌山駅前)
アグリプラザ東 (JAくろべ)	黒部市宇奈月町浦山 806-1
ふれあい直売小屋よらーれ (5月末~12月までの毎週土・日)	黒部市三日市 40-1 (コラーレ横)
道の駅直売所 うなづき食菜館	黒部市宇奈月町下立 687 (宇奈月麦酒館前)

【オンラインショップ】

名称	住所
米農家寺崎 オンラインショップ	http://www.kurobe-terasaki.com/ 黒部市金屋 121
JAくろべ ネットショッピング	http://www.ja-kurobe.jp/shop2/html/ 黒部市宇奈月町浦山 806-1
にいかわジビエ	https://niikawagibier.com/ 黒部市窪野 910

名称	住所
生地蒲鉾有限公司	http://www.kamaboko.org/ 黒部市生地 376
昆布のことなら四十物昆布	http://www.aimono.com/ 黒部市生地中区 339- 5
銀盤酒造株式会社	http://ginban.co.jp/ 黒部市荻生 4853- 3

出典: 越中とやま食の王国(富山県農林水産部農林水産企画課ホームページ)、
JA ファーマーズマーケット(直売所)ホームページ、黒部市ホームページ

エ. 入善町

【特産品】

チューリップ球根、入善ジャンボ西瓜、深層水仕込カキ、深層水アワビ、入善産コシヒカリ、入善町こしひかり（包装米飯）、雪しろねぎ、キャベツ、さといも、もも



チューリップ球根



入善ジャンボ西瓜



深層水仕込カキ



入善産コシヒカリ



入善町こしひかり(包装米飯)



雪しろねぎ

出典: 入善町ホームページ、にゅうぜんマニア(入善町観光物産協会)、とやま水土里プロジェクト 2019

【直売所】

名称	住所
みな穂あいさい広場 (JAみな穂)	入善町入膳 3489-1
(有)ドリームファーム 直売所ラ・ラ・ガーデン	入善町柵山 1451-9

【オンラインショップ】

名称	住所
JAみな穂オンラインショップ	http://ja-minaho.shop-pro.jp/ 入善町入膳 3489-1
有限会社ドリームファーム	https://www.dreamfarm.jp/ 入善町柵山 1445
有限会社米山農産	https://yoneyama.official.ec/ 入善町新屋 168

出典: 越中とやま食の王国(富山県農林水産部農林水産企画課ホームページ)、JA ファーマーズマーケット(直売所)ホームページ

オ. 朝日町

【特産品】

ヒスイ、赤かぶのまる漬、グリーン・アスパラガス、食彩味噌、大豆栄養なめみそ、バタバタ茶、柿じまん、金糸瓜粕漬、朝日産米「あいの風」、山野菜の万作漬、みょうがのみそ漬、名物たら汁、灰付ワカメ、わさび漬、燻製、ねぎ、きゅうり、あさひ柿、桃、ラズベリー、電照菊



灰付ワカメ



ラズベリー



食彩味噌



バタバタ茶



あさひ柿



金糸瓜粕漬

出典: 朝日町ホームページ、とやま水土里プロジェクト 2019

【直売所】

名称	住所
なないろ朝市 (毎週日曜開催)	朝日町横水 300 なないろ KAN
食彩あさひ	朝日町山崎 296 番地
まめなけ市場	朝日町泊 418 番地 とやま朝日町北陸街道 五叉路

【オンラインショップ】

名称	住所
富山県朝日町 泊漁協ホームページ	https://www.tomari-gyokyou.com/ 下新川郡朝日町東草野 487-1

出典: 越中とやま食の王国(富山県農林水産部農林水産企画課ホームページ)
なないろ KAN ホームページ

■ 直売所の分布図 ■



(9) 地域づくり・交流活動の状況

本地域には、NPO法人が43団体（魚津市：11団体、滑川市：9団体、黒部市：16団体、入善町：5団体、朝日町：2団体）あり、医療福祉や文化スポーツなど団体によって様々な活動をしています。

市町	NPO 法人名	代表者	住所	活動分野
魚津市	UOZU FOOTBALL CLUB	大崎 浩二	富山県魚津市北鬼江 320	文化スポーツ、子ども
	魚津市西部地域振興協議会	江幡 岩雄	魚津市下樺 8 魚津もくもくホール内	医療福祉、社会教育、まちづくり、子ども、経済活性
	大町地域振興会	大野 聡一	魚津市本町 1-1-10	まちづくり、文化スポーツ、地域安全、子ども
	米蔵の会	慶野 達二	魚津市天神野新 147-1 新川学びの森天神山交流館内	社会教育、まちづくり
	生活支援センターアットホーム新川	尾谷 清光	魚津市吉島 1118-1	医療福祉
	地域福祉協会	高橋 憲三	魚津市大字大海寺新村 2770-23	医療福祉、文化スポーツ、環境保全、NPO 支援
	つむぎ	飯田 恭子	魚津市吉島 511	医療福祉、まちづくり、子ども
	富山東部の地域振興界	美波 節	魚津市大海寺野 4810 番地	まちづくり、観光、農山漁村
	パトリーズ	野村 博	富山県魚津市経田西町 10 番 73 号	まちづくり、環境保全、子ども、雇用機会、NPO 支援
	無漏路	近藤 宗明	魚津市吉島 552-8	医療福祉、人権平和、雇用機会
	わかくさ会	吉田 兼三	魚津市大光寺 1010-14	医療福祉、雇用機会
滑川市	あすなる倶楽部	北村 憲幸	滑川市	医療福祉
	あすなる滑川	島川 進	滑川市野町 1656	医療福祉、まちづくり、雇用機会
	えん	島崎 ひろみ	富山県滑川市大浦 601 番地	医療福祉、人権平和
	自然遊育サポートとやま	戸田 雅彦	滑川市常盤町 1117 番地 2	医療福祉、社会教育、文化スポーツ、環境保全
	滑川宿まちなみ保存と活用の会	金山 彰夫	滑川市瀬羽町 1862 番地	まちづくり、文化スポーツ
	ナメリカワデザイン	桶川 高明	滑川市柳原 30-26	まちづくり、経済活性、雇用機会
	ハサウェイ放課後クラブ	永島 ひろみ	滑川市上小泉 2139-1	社会教育、まちづくり、男女共同、子ども
	フットボールセンター富山	堀田 朋基	滑川市高月町 129 番	文化スポーツ
	ほがらか	寺田 妃登美	滑川市下島 143-3	医療福祉
黒部市	あいの風	二上 久	黒部市宇奈月町栃屋 151-4	医療福祉、子ども
	明日育	城 幸男	黒部市吉城寺 454 番地	社会教育、まちづくり、経済活性、NPO 支援

市町	NPO 法人名	代表者	住所	活動分野
黒部市	ありそ	助田 要三	黒部市荒俣 66	医療福祉
	宇奈月自立塾	牟田 光夫	黒部市宇奈月温泉 5509 番地 16	医療福祉、国際協力、子ども、雇用機会、NPO 支援
	共同生活型自立支援機構	川又 直	黒部市宇奈月温泉 5509 番地 16	まちづくり、観光、経済活性化
	黒部アクアアスリート	中島 昌之	黒部市三日市 992 番地 14	社会教育、文化スポーツ、子ども、NPO 支援
	黒部まちづくり協議会	松下 哲也	黒部市新牧野 220	まちづくり、観光
	ケアマネジメントかがやき	新田 和子	富山県黒部市生地神区 495 番地 3	医療福祉
	KU スポーツクラブ Will	佐々木 智見	黒部市宇奈月町浦山 2112 番地 黒部市宇奈月体育センター内	社会教育、まちづくり、観光、文化スポーツ、人権平和、子ども、経済活性化、NPO 支援、条例指定
	コミュニティサポート黒部	中田 宜臣	富山県黒部市三日市大町 3309 番地	医療福祉、社会教育、まちづくり、文化スポーツ、子ども、経済活性化
	三樹福寿会	田中 三夫	富山県黒部市植木 194 番地の 2	医療福祉、子ども
	松桜閣保勝会	川村 昭一	黒部市若栗 1180-1	まちづくり、文化スポーツ
	しんせい会	三箇 俊臣	黒部市三日市 3872-1	医療福祉、社会教育、まちづくり、文化スポーツ、子ども
	立山信仰ゆかりの仁王門保存の会	植木 真人	黒部市三日市 3646 番地	まちづくり、文化スポーツ、環境保全
	ちびっこきらら保育園	松倉 孝	黒部市堀切 1388-2	男女共同、子ども
	新川地区獣肉生産組合	野村 春幸	黒部市窪野 910 番地	農山漁村、環境保全、NPO 支援
入善町	木ここち	亀田 司	黒部市立野 129 番地 1	医療福祉、人権平和
	ケアマネジメント結	中村 淳子	入善町櫛山 49-8	医療福祉
	工房あおの丘	西島 亜希	入善町道古 34-3	医療福祉、まちづくり
	パートナー	渡辺 菜美	入善町上野 1672	医療福祉、子ども
	公清会	石丸 真弓	入善町入善 4716 番地 8	医療福祉
朝日町	再生可能エネルギープロジェクト	大平 正通	富山県下新川郡朝日町沼保 954 番地	まちづくり、農山漁村、環境保全、経済活性化
	ゆきあかり	野村 博	朝日町草野 118-3	医療福祉、まちづくり、子ども

出典: とやまボランティア・NPO ナビ

2. アンケート調査

(1) 調査概要

① 調査の目的

にいかわ農村振興基本計画の策定にあたり、農村振興に関する意見を住民から幅広く聞き、計画策定の基礎資料として活用するため実施しました。

② 調査の概要

◇調査対象：令和2年10月1日現在の住民基本台帳から20歳以上の方を市町ごとに無作為抽出した1,195人(滑川市、魚津市、黒部市、入善町：各240人、朝日町：235人)

◇調査方法：郵送による配付・回収(無記名)

◇調査期間：令和2年10月16日(金)～11月10日(火)

◇配布数：1,195通

◇回収数：524通(回収率43.8%)

③ 調査項目の基本構成

調査項目は下表のとおりです。

調査項目
住まい、性別、年齢、現在及び10年後の農業の関わり方、集落での行事等の認知度、住民活動の参加意向、地域で誇りに思うこと、日常で困っていること、地域への定住意向、農業・農村が持つ多面的機能の認知度及び維持において重要なこと、農村地域及び地域農業の維持や発展に重要なこと、今後の農業・農村の維持・発展に関する意見

(2) 調査結果

※全体と中山間地域の集計結果に大きな差異が見られる設問については、中山間地域の結果も示している

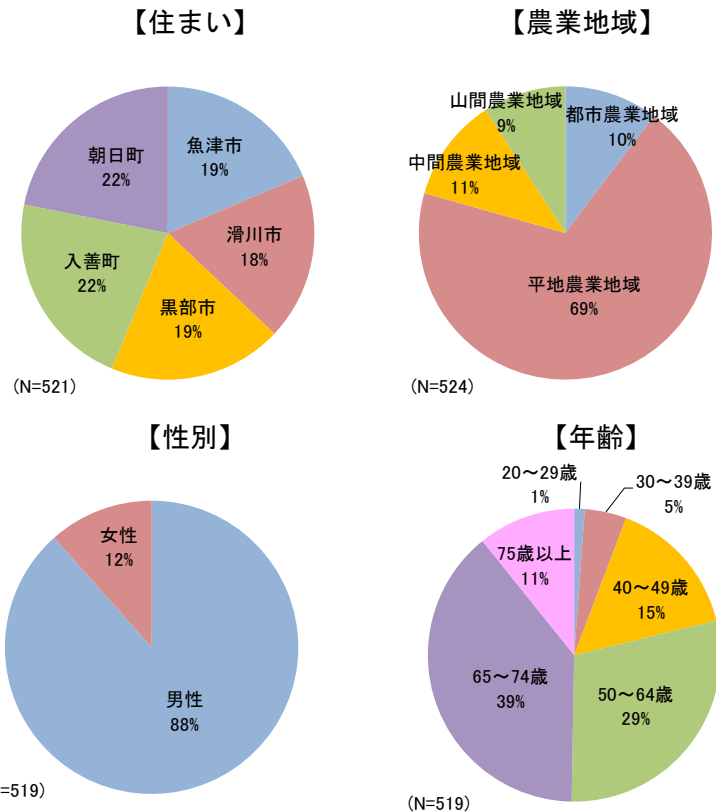
① ご自身について (問1～3)

住まい：各市町で偏りなく回答を得ています。

農業地域：「平地農業地域」が約7割と最も多いです。

性別：「男性」からの回答が9割を占めています。

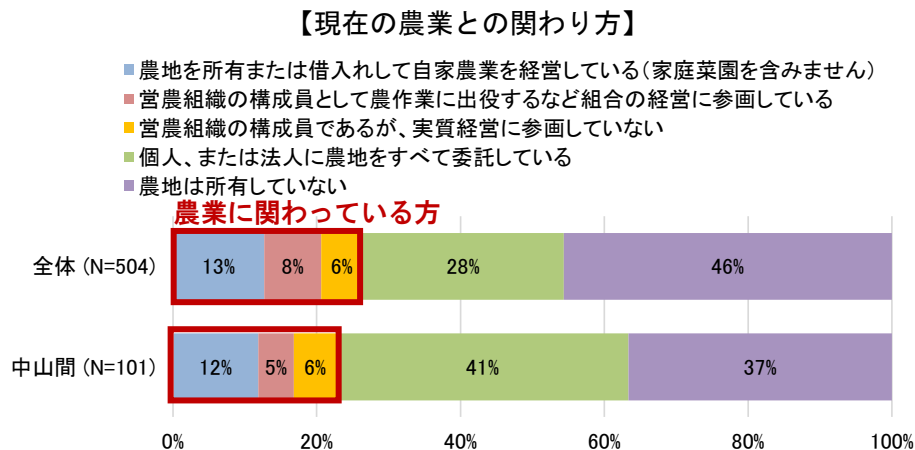
年齢：「50歳以上」が約8割と多く、「65歳以上」は5割となっています。



② 農業との関わり方について (問4～10)

●現在の農業との関わり方

- ・「農地は所有していない」が約5割と最も多く、次いで「個人、または法人に農地をすべて委託している」「農地を所有または借入れして自家農業を営んでいる」が多いです。
- ・現在、農業に関わっている方は約3割、関わっていない方は約7割となっています。
- ・中山間地域では、「個人、または法人に農地をすべて委託している」が約4割と最も多くなっています。



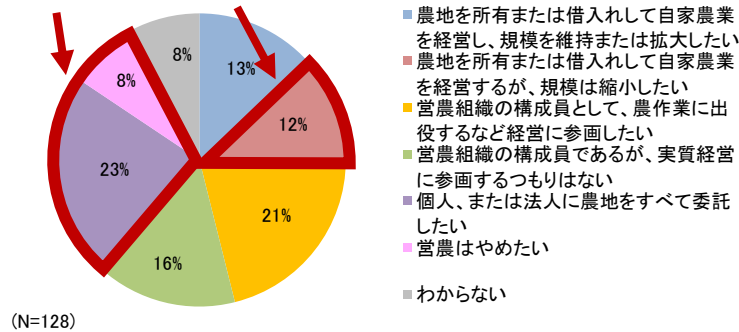
●10年後の農業との関わり方

◇現在、農業に関わっている方について

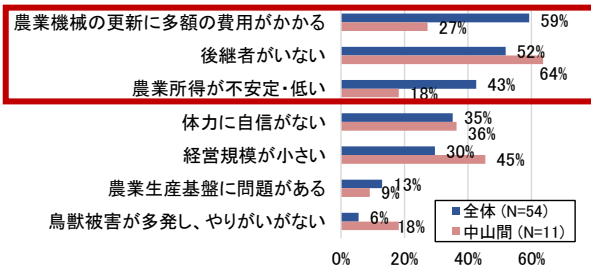
- ・「個人、または法人に農地をすべて委託したい」「営農組織の構成員として、農作業に出役するなど経営に参画したい」がそれぞれ2割以上と多いです。
- ・今後、農業との関わりを薄くしたい方が約4割となっており、その理由として「農業機械の更新に多額の費用がかかる」「後継者がいない」「農業所得が不安定・低い」がそれぞれ4割以上と多く、中山間地域では「後継者がいない」が約6割と最も多くなっています。
- ・今後の農地活用として「借り手があれば貸したい」が約6割と最も多く、次いで「買い手があれば売りたい」「家庭菜園程度に管理したい」が多いです。

【10年後の農業との関わり方】

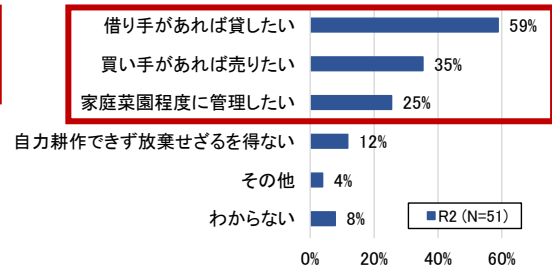
今後、農業との関わりを薄くしたい方



【農業との関わりを薄くする理由(複数回答)】



【今後の農地活用(複数回答)】

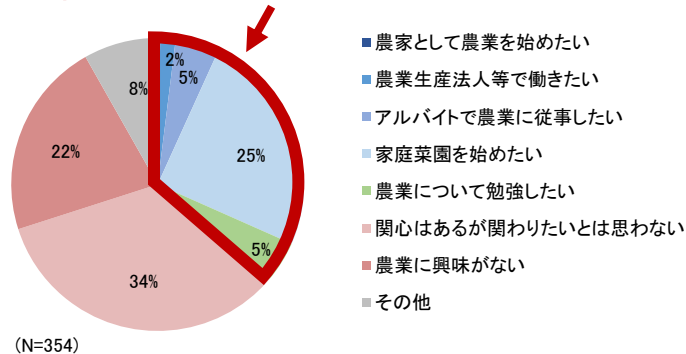


◇現在、農業に関わっていない方について

- ・「関心はあるが関わりたいとは思わない」が約3割と最も多く、次いで「家庭菜園を始めた」「農業に興味がない」が多いです。
- ・今後、農業に関わりたいと思っている方は約4割となっています。

【今後の農業との関わり方】

今後、農業に関わりたいと思っている方



●集落での行事や活動

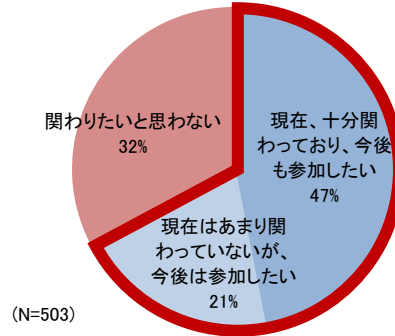
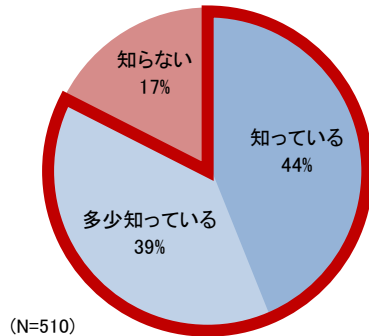
- ・集落での行事や活動について「知っている」「多少知っている」の合計が約8割と多く、年齢が高くなるにつれて認知度が高くなっています。
- ・今後の地域の住民活動について「現在、十分関わっており、今後も参加したい」「現在はあまり関わっていないが、今後は参加したい」の合計が約7割と多く、特に40～64歳が7割以上と多いです。

【集落での行事等の認知度】

【住民活動の参加意向】

＼約8割が「知っている」と回答／

＼約7割が「今後参加したい」と回答／

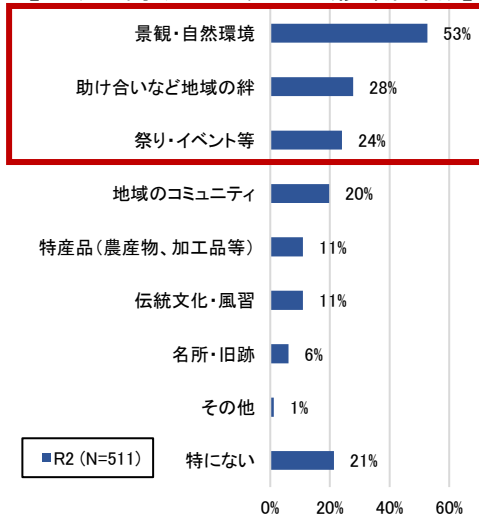


③ 地域に対する思いについて (問 11～13)

●地域で誇りに思うこと

- ・「景観・自然環境」が約5割と最も多く、次いで「助け合いなど地域の絆」「祭り・イベント等」が多いです。

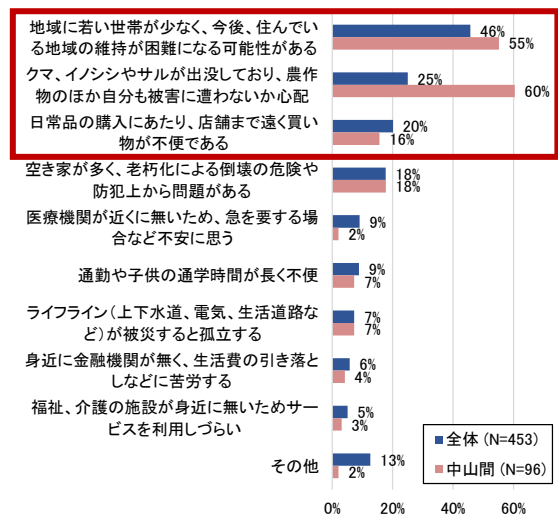
【地域で誇りに思うこと(複数回答)】



●日常で困っていること

- ・「地域に若い世帯が少なく、今後、住んでいる地域の維持が困難になる可能性がある」が約5割と最も多く、次いで「クマ、イノシシやサルが出没しており、農作物のほか自分も被害に遭わないか心配」「日用品の購入にあたり、店舗まで遠く買い物が不便である」が多いです。
- ・中山間地域では、「クマ、イノシシやサルが出没しており、農作物のほか自分も被害に遭わないか心配」が6割と最も多くなっています。

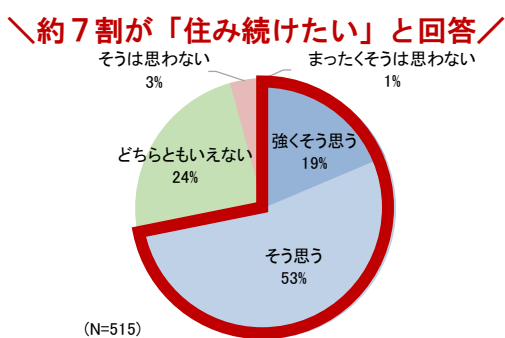
【日常困っていること(複数回答)】



●地域への定住意向

- ・「強くそう思う」「そう思う」の合計が約7割と多く、「そうは思わない」「まったくそうは思わない」の合計は1割を下回っています。

【地域への定住意向】



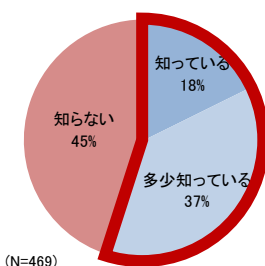
④ 農業・農村の維持や発展に向けて（問 14～17）

●農業・農村が持つ多面的機能

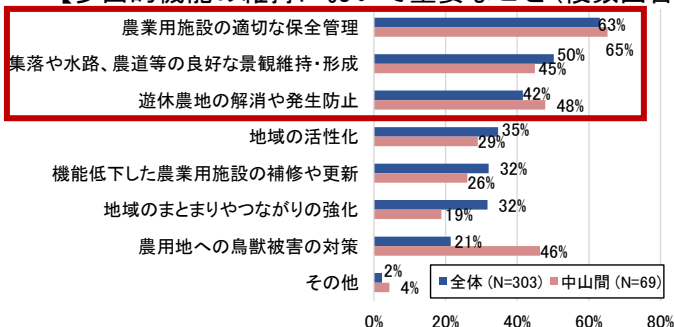
- ・農業・農村が持つ多面的機能について「知っている」「多少知っている」の合計が約6割と多く、年齢が高くなるにつれて認知度が高くなっています。
- ・多面的機能の維持において重要なことは、「農業用施設の適切な保全管理」が約6割と最も多く、次いで「集落や水路、農道等の良好な景観維持・形成」「遊休農地の解消や発生防止」が多くなっており、中山間地域では「農用地への鳥獣被害の対策」が全体と比較して多くなっています。

【多面的機能の認知度】

＼約6割が「知っている」と回答／



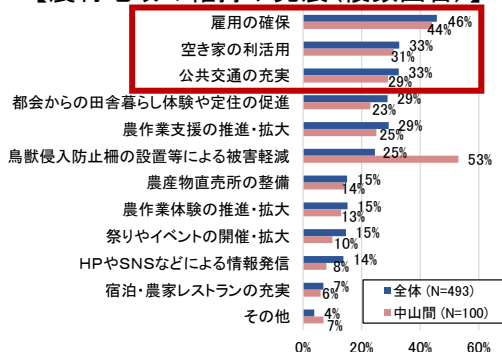
【多面的機能の維持において重要なこと（複数回答）】



●農村地域の維持や発展に重要なこと

- ・「雇用の確保」が約5割と最も多く、次いで「空き家の利活用」「公共交通の充実」が多いです。
- ・中山間地域では、「鳥獣侵入防止柵の設置等による被害軽減」が約5割と最も多くなっています。

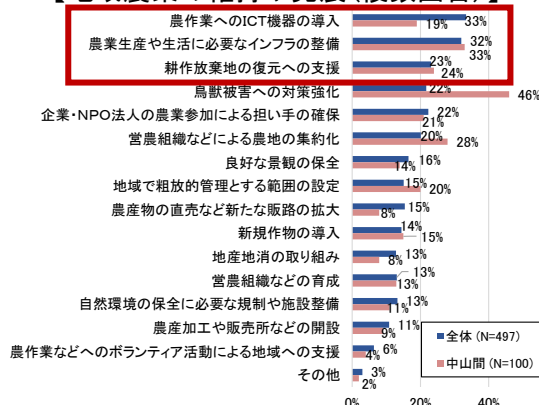
【農村地域の維持や発展（複数回答）】



●地域農業の維持や発展に重要なこと

- ・「農作業へのICT機器の導入」「農業生産や生活に必要なインフラの整備」がそれぞれ約3割と最も多く、次いで「耕作放棄地の復元への支援」が多いです。
- ・中山間地域では、「鳥獣被害への対策強化」が約5割と最も多くなっています。

【地域農業の維持や発展（複数回答）】



3. 上位・関連計画

(1) 富山県の方針

計画名 (策定期期)	元氣とやま創造計画 (H30.3:2018~2026年度)	富山県農業・農村振興計画 (H30.5:2018~2026年度)	富山県農業農村整備実施方針—とやま水土里プロジェクト2019— (R1.8:2019~2026年度)
全体の目標	<p align="center">みんなで創ろう！人が輝く 元氣とやま新時代</p> <p align="center">—活力、未来、安心のふるさと—</p> <ul style="list-style-type: none"> ●活力とやま：勤勉で進取の気性に富む人材、恵まれた自然、歴史・文化、交通・情報通信基盤、産業集積などを活かし、創意工夫、意欲ある取組みが展開されている「活力」あふれる県 ●未来とやま：明日を担う人材が健やかに生まれ、文化・スポーツの振興など多彩な県民活動、ふるさとの魅力を活かした地域づくりが進められている「未来」への希望に満ちた県 ●安心とやま：豊かな自然や生活環境を活かし、住み慣れた地域の中で、健康で快適に、安全で「安心」して暮らせる県 	<p align="center">将来にわたり発展する</p> <p align="center">「競争力の高い農業」と「豊かで美しい農村」の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ●農業の成長産業化を促進し、農業所得の向上に資する「産業政策」と、豊かで美しい農村を持続的に維持・発展させるための「地域政策」を車の両輪として推進 ●農業：高品質な農産物の生産、優良な農業生産基盤の確保、先端的な生産技術の導入、ブランド力の強化等による販路の拡大などにより、生産性・収益性の向上や担い手の育成・確保が図られ、農業所得が向上する競争力の高い農業が実現 ●農村：かけがえのない自然や景観、伝統文化、自然エネルギーなど、さまざまな地域資源の魅力を地域ぐるみで保全・活用されるとともに、地域と都市住民との交流などにより、地域の個性が光る豊かで美しい農村が形成 	<p>本実施方針は県の「元氣とやま創造計画」並びに農林水産部の「富山県農業・農村振興計画」を上位計画とし、国の「土地改良長期計画」を踏まえ、これからの農業農村整備の実施方針を示すものであり、農業者をはじめ市町村、土地改良区、農業団体のみならず、県民共通の指針となることを目指す。</p>
計画のポイント	<p>活力11 生産性・付加価値の高い農林水産業の振興 「意欲ある若い担い手の育成・確保と農業経営基盤の強化」</p> <p>農地の集積による規模拡大など経営基盤の強化や、消費者ニーズに対応した収益性の高い園芸作物の産地化などが進展し、意欲ある担い手により、地域の特性を活かした収益性の高い農業が展開されていること。</p> <p>①意欲ある若い担い手の育成・確保 「とやま農業未来カレッジ」の研修内容の充実や女性就農の促進／経営感覚に優れた担い手育成のための青年農業者向け農業経営研修の充実／就農準備時や経営開始直後の所得確保のための農業次世代人材投資資金の交付／多様な担い手の確保のための企業等による農業参入の促進</p> <p>②農地集積の促進や農業経営基盤の強化 担い手の確保が困難な中山間地域等も含めた、農地中間管理機構を活用した農地集積の一層の促進／収益性の高い「とやま型農業経営モデル」の確立を目指して農業所得増大に取り組む経営体への支援／経営の法人化や複合化等による経営の多角化など経営基盤強化のための農業機械等の導入に対する支援／収入保険制度など経営形態に応じたセーフティネットの活用促進</p> <p>③多様な園芸産地の育成 生産組織や大規模農業経営法人の機械・施設の整備への支援等による1億円産地づくりの加速化／施設園芸や新技術導入等による経営規模等に応じた多様な園芸生産振興への支援／新規品目の導入など新産地等における栽培技術の確立と高品質生産の推進による安定生産の確保／薬用作物の栽培体系の確立や生産・調製に必要な機械・施設整備への支援による薬用作物の産地形成の促進</p> <p>④生産性の高い農業の確立 米政策の見直しに対応する需要に応じた作物生産への取組みなど地域戦略の実践への支援／富山米新品種「富富富」の高品質・良食味栽培技術の普及／品質や生産性の向上のための機械・施設の整備等への支援／高品質な畜産物の安定供給を図るための畜産生産基盤の整備に対する支援</p>	<p>ポイント1：農業所得の向上（めざす農業所得）：発展タイプとして750万円を設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「とやま型農業経営モデル」事業の成果を踏まえた所得目標 ・農業を魅力ある産業として担い手の確保を図る上で他産業の給与額平均の上位水準を目指す <p>ポイント2：「競争力の高い農業」の実現（生産性・収益性の向上による農業所得の確保）</p> <ol style="list-style-type: none"> ①競争力のある農産物の生産 富山米新品種「富富富」の高品質・良食味栽培／「1億円産地づくり」等による大規模園芸産地の形成 ②競争力を高める技術の開発・普及 省力、高品質化を図る「とやま型水田スマート農業」の推進 ③意欲ある担い手の育成と経営強化 メガファームや複合化等の「とやま型農業経営モデル」の実践 ④優良な農業生産基盤の確保 農地の大区画化や汎用化、水利施設のパイプライン化やICT化 ⑤食のとやまブランド戦略の強化による販路の開拓・拡大 富山米新品種「富富富」のブランド化の推進／農林水産物等の輸出の促進 <p>ポイント3：「豊かで美しい農村」の実現</p> <ol style="list-style-type: none"> ①豊かで魅力ある農村の形成 地域資源を活かした6次産業化、農村女性の起業、農家民泊の推進 ②中山間地域の活性化 集落機能の維持・活性化、総合的な鳥獣被害防止対策の推進 	<p><新川地域の将来ビジョン> 豊かで競争力のある地域農業を目指すため、担い手への農地集積・集約化を加速させ、収益力の向上が図られるよう、農地の更なる大区画化や汎用化などを進めるとともに、自動給水栓等のICT技術の導入など、農家が使いやすく、農作業の省力化が図られるよう、きめ細やかな農地整備を推進する。 また、老朽化が著しい基幹水利施設は「機能保全計画」に基づき長寿命化を図るとともに、集中豪雨による災害を未然に防止するため、ため池の耐震整備などを推進する。 さらに、農業農村整備の推進には地域の協力が不可欠であることから、「新川水土里たより」の発行や土地改良施設の見学会等を通じ、幅広いPR活動を行い、地域住民の理解の醸成を図る。</p> <p><施策の展開></p> <ol style="list-style-type: none"> ①水（施設）の適切な管理と強靱な基盤の形成 農業水利施設の保全・高機能化／防災・減災対策の推進／土地改良区の体制強化 ②競争力の高い農業を支援する土（農地）の整備 担い手の体質強化に向けた農地の大区画化等の推進／多様な農産物生産のための汎用化の推進 ③豊かで美しい里（農村）の形成 地域資源の有効活用／快適で豊かな農村環境の整備／都市農村交流の推進／中山間地域の活性化
農業・農村の目標値	<p>計画全体で189の目標指標を設定（代表的なものを以下に記載）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●高品質な米の生産割合 91.0%（現況：2016年）→現況以上（2026年） ●新規就農者数 52名（現況：2016年）→60名以上（2026年） ●園芸産出額 97億円（現況：2016年）→140億円（2026年） 	<p>計画全体で48の目標指標を設定（代表的なものを以下に記載）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●農業産出額 666億円（2016年）→740億円（2026年） ●農業経営の目指す姿 農業所得：発展タイプ750万円、標準タイプ500万円 ●農村 農村環境保全活動参加者数：69,000人 イノシシによる農作物被害額：1,000万円以下 など 	<p>計画全体で21の目標指標を設定（代表的なものを以下に記載）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●農業水利施設の管理協定締結数 529件（現況：2017年）→538件（2026年） ●防災重点ため池の整備箇所数 13箇所（現況：2017年）→62箇所（2026年） ●土地改良区数 71（現況：2017年）→54（2026年） ●6次産業化販売金額（加工・直売分野） 104億円（現況：2017年）→210億円（2026年）

(2) 各市町の方針（総合計画の整理）

市町名	魚津市	滑川市	黒部市	入善町	朝日町
計画名	第5次総合計画前期基本計画	第5次総合計画前期基本計画	第2次総合計画基本構想 第2次総合計画前期基本計画	第6次総合計画後期基本計画	第5次総合計画後期基本計画
策定期	R3.3（R3～R7年度） （※現在更新中）	R3.3（R3～R7年度） （※現在更新中）	構想H29.9（H30～H39年度） 計画H30.6（H30～H34年度）	H28.3（H28～H32年度）	H28.3（H28～H37年度）
全体の目標	ともにつくる 未来につなぐ 人と自然が輝くまち魚津	ひと・まち・産業が元気なまち滑川	大自然のシンフォニー 文化・交流のまち 黒部 市民の参画と協働によるまちづくり	扇状地に 水と幸せがあふれるまち 入善 ～人のきずなで未来へつなぐ～	夢と希望が持てるまちづくり 朝日町
農業・農村の方針	<p>①農業生産基盤の整備強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化している基幹水利施設の長寿命化を図るとともに、農業生産基盤の適切な機能確保に努める。 （土地改良事業／県単独農業農村整備事業／農業用施設管理費） <p>②農業経営基盤の整備強化と担い手の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農用地等の地域資源の適切な保全管理を推進し、担い手農家の確保、育成に努める。また、5GやICTの活用も含めて野生鳥獣による農作物被害の軽減を図る。 （多面的機能支払交付金／元気な中山間地域づくり支援事業／鳥獣被害対策事業／担い手育成推進事業） <p>③農産物のブランド化推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土壌を活かした農産物の栽培や地域特産物の生産を軸として、旬の地場産野菜を使ったレシピを公開するなどして、農産物のブランド化や地産地消を推進する。 （6次産業化・地産地消事業／環境保全型農業直接支援対策事業／花卉産地支援事業） 	<p>①魅力ある農業への転換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマート農業を推進するための農業用機械・施設等の導入支援、人・農地プラン及び農地中間管理事業等の活用による農地の集積・集約化を図り、農業経営の安定化と農地の維持向上を図る。 ・農業生産基盤の整備促進を図るため、事業の推進を国・県へ働きかける。 ・担い手育成支援事業等により、認定農業者や新規就農者の支援・育成を行い、地域農業の担い手の確保を図る。 ・安全安心な地場産野菜の生産を支援し、園芸作物の生産拡大やブランド化を推進する。 ・有害鳥獣の駆除や侵入防止柵の設置など鳥獣被害防止対策を推進し、農作物被害の減少を図る。 ・土地改良区の統合に向けた取り組みの支援等を通じ、土地改良区の運営体制の強化を図る。 	<p>大自然の恵みを活かした、活力あふれる持続性ある農林水産業のまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担い手育成や生産組織を強化し、安定的で持続可能な農林水産業の経営を支援 ・農林水産業の生産基盤整備の推進 ・有害鳥獣対策の実施による人と野生鳥獣との棲み分けの明確化 ・消費者ニーズに応える高品質で安全な農林水産物の提供 ・農林水産物の地産地消と食育の推進 <p>①農業生産体制支援事業 ◆は重点事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆担い手育成の推進（経営体質の強化等）／土づくり等品質向上対策の推進／施設・機械整備の促進／米の需給調整システムの安定確保 <p>②農業基盤整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆県営農地整備事業の促進／◆農村地域の水環境等の保全・活用／◆中山間地域の保全・有害鳥獣対策の推進 <p>③生産・流通・販売対策促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆産地ブランド化の推進／農林水産加工・販売施設の整備および有効活用の促進／価格安定・消費拡大の推進／地産地消と食育の推進／◆くろべ牧場まきばの風の運営強化 	<p>①持続可能な農業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 認定農業者や集落営農組織などの担い手・後継者の育成／優良農地の保全や老朽化した農業関連施設の改修等の農業基盤の保全・整備／多面的機能の保全・強化／地域ぐるみでの営農体制の強化／環境に配慮した循環型農業の推進 <p>②もうかる農業の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> 農地の利用集積の促進／収益性の高い作物栽培等や複合経営の取り組み支援による農業所得の向上／輸出米等の新規需要米の取組支援による農地の有効活用と新たな需要の開拓／付加価値の高い農産物の生産推進／直売所等を活用した販路拡大 <p>③特産品の振興と多様な商品開発</p> <ul style="list-style-type: none"> チューリップやジャンボ西瓜の後継者育成や作付面積拡大による経営の安定化／農商工連携や6次産業化の推進による付加価値の高い特産品の開発 	<p>農林水産業における経営体の強化、担い手の育成、地産地消の推進等により、収入の増加と就業の場としての魅力を高めていくとともに、食の新たな展開として、6次産業化を推進し、活力ある農林水産業・農山漁村の振興を図る。</p> <p>①経営基盤の強化、担い手の確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 協業経営化、経営法人化の推進（集落営農の組織化・法人化）／経営の規模拡大・多角化の推進／認定農業者の育成、生産技術指導体制の充実／新規就農林漁業者の受入れ体制の整備／農林水学舎（担い手育成）の整備 <p>②生産基盤の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 土地改良整備／農道・用排水路整備／遊休農地・耕作放棄地防止対策／林道整備 <p>③6次産業化と農商工等連携の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 特産品・加工品の開発、販路拡大のための体制整備／地域ブランド構築の体制整備／具体的な戦略プランや実施体制の早期確立／特産品・地域ブランド品の販路拡大／加工施設整備の支援 <p>④地産地消の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校給食への地元農産物の使用推進／直売機会の確保・拡大の促進／地産地消の情報発信力の強化／食育の推進
農業・農村の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ●認定農業者数（法人含む） 59経営体→62経営体（R7） ●野生鳥獣による農作物被害額 8,739千円（R1）→4,282千円（R7） ●学校給食における地場産食材使用率 45.0%（R1）→47.0%（R7） 	<ul style="list-style-type: none"> ●認定農業者数 56経営体→56経営体（R7） ●農業産出額 19億円/年→19億円/年（R7） ●担い手への農地集積率 63%→75%（R7） 	<ul style="list-style-type: none"> ●担い手の農地利用集積率 64%→90%（H39） ●有害鳥獣被害面積 199a/年→57a/年（H39） ●食料自給率（カロリーベース） 83%→85%（H39） ●くろべ牧場まきばの風MOOガーデン来場者数 95,625人/年→150,000人/年（H39） 	<ul style="list-style-type: none"> ●農地流動化率 37.1%→66.7%（H32） ●町民農業総所得額（課税標準額） 159百万円/年→250百万円/年（H32） ●地場産農産物直販金額 －千円/年→300,000千円/年（H32） 	<ul style="list-style-type: none"> ●法人化された農業経営体数〔累計〕 11法人→19法人（H37） ●認定新規就農者認定数/認定農業者数〔累計〕 2件→10件/48経営体→65経営体（H37） ●ほ場整備地区数〔累計〕 2地区→6地区（H37） ●担い手への集積・集約農地面積〔累計〕 688ha→1,354ha（H37） ●学校給食地場産品利用量〔年間〕 2,680kg→5,000kg（H37）

4. 地域の診断

(1) 地域の課題

地域の情勢やアンケート調査の結果を踏まえ、地域の課題を整理します。

地域の課題で示されている色分けは、次の課題に該当することを示しています。

● 農業生産に関する課題	● 農業基盤に関する課題
● 担い手に関する課題	● 交流に関する課題
● 自然・文化に関する課題	● 生活環境に関する課題

① 地域の情勢で得られた地域の課題

項目	地域の情勢	地域の課題	
自然条件	位置・地勢	<ul style="list-style-type: none"> 新川地域は、県東部の魚津市、滑川市、黒部市、入善町、朝日町の3市2町から構成され、その地勢は、大小河川がつくる扇状地が広がっているなど、豊かな自然に恵まれています。 	<ul style="list-style-type: none"> 大小河川がつくる扇状地等の豊かな<u>自然環境の保全</u>が必要です。
	歴史・沿革	<ul style="list-style-type: none"> 昭和27年から昭和29年にかけて、合併や市制施行等により、現在の5市町が誕生しました。 また、その後も編入や分離、合併などの動きが見られます。 	<ul style="list-style-type: none"> 5市町でそれぞれ積み重ねてきた地域の個性を発信し、<u>交流を推進すること</u>が必要です。
	気象	<ul style="list-style-type: none"> 典型的な日本海側気候で、年間降水量が比較的多いことが特徴であり、冬期間に降水(積雪)が多くなっています。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本海側気候、多雨多雪地帯等の<u>地域に適した農村・農業の育成</u>が必要です。
	地形・地質	<ul style="list-style-type: none"> 扇状地や隆起地形などの多様な地形、砂壤土などの多様な地質で形成されています。 	<ul style="list-style-type: none"> 扇状地などの多様な地形・地質を生かした<u>自然環境、景観の保全</u>が必要です。
土地利用の動向	土地利用	<ul style="list-style-type: none"> 土地利用の構成割合は、田が全体の約6割と最も多く、次いで山林・宅地が約2割となっています。 田・宅地の構成割合は、富山県平均を上回っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の半数を占める<u>田(田園風景)を保全</u>するとともに、<u>田などの地域資源の活用</u>が必要です。
	農業振興地域	<ul style="list-style-type: none"> 本地域の農業振興地域の総面積は24,873haであり、そのうち農用地面積は約52%を占めています。 農用地区域に設定されている面積は12,308haであり、そのうち農地面積は約99%を占めています。 	<ul style="list-style-type: none"> 農業振興地域の半数を占める農用地区域を中心とした<u>農業の維持・発展</u>が必要です。
	地域指定	<ul style="list-style-type: none"> 自然的条件から「特別豪雪地帯」「振興山村」「農村地域産業導入地区」「特定農山村地域」「指定棚田地域」が指定されています。 社会条件から「辺地」「過疎地域」が指定されています。 	<ul style="list-style-type: none"> <u>地域の状況を踏まえた農村づくり</u>が必要です。
人口構造の動向	人口・世帯数	<ul style="list-style-type: none"> 5市町ともに人口・世帯人員が減少傾向となっています。 世帯数では、朝日町では減少傾向、他の4市町では増加傾向となっています。 	<ul style="list-style-type: none"> <u>人口減少への対策強化</u>が必要です。
	階層別人口の推移	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年における年少人口は18,060人(総人口の11.8%)、生産年齢人口は86,061人(56.2%)、老年人口は48,963人(32.0%)となっています。 年少人口及び生産年齢人口は減少傾向、老年人口は増加傾向を示しています。 	<ul style="list-style-type: none"> <u>少子高齢化への対策強化</u>が必要です。
産業構造の動向	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年における第1次産業人口は3,547人(総人口の4.5%)、第2次産業人口は31,866人(40.6%)、第3次産業人口は43,084人(54.9%)となっています。 第1次産業人口割合及び第2次産業人口割合は減少傾向、第3次産業人口割合は増加傾向を示しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 農業を含む第1次産業に従事する<u>人材の確保、後継者の育成</u>が必要です。 	

	項目	地域の情勢	地域の課題
農業・農村構造の動向	総農家数及び農業就業人口	<ul style="list-style-type: none"> 総農家数は、平成12年から平成27年にかけて52.5%減少しています。 専業、兼業農家別で見ると第2種兼業農家数が平成12年から平成27年にかけて64.7%減少しています。 農業就業人口は、平成12年から平成27年にかけて60.0%減少しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 農業就業人口が大幅に減少しており、人材の確保、後継者の育成が必要です。
	認定農業者数及び担い手集積率	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度の認定農業者数は406経営体であり、担い手集積率は71.6%となっています。 特に、入善町において担い手数が多く、担い手集積率も高くなっています。 	<ul style="list-style-type: none"> 農地の集積を加速させることにより、単位面積あたりの費用を低減し、経営効率を高めることが必要です。
	経営耕地面積	<ul style="list-style-type: none"> 経営耕地面積は、平成12年から平成27年にかけて5.9%減少しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 農地の維持・活用により、農村景観の保全が必要で
	耕作放棄地	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年における耕作放棄地の面積は140haとなっています。 市町別では、魚津市が56haと最も多く、次いで黒部市が45haとなっています。 	<ul style="list-style-type: none"> 耕作放棄地の活用を進め、農地の荒廃を防ぐことが必要です。
	収穫量・出荷量	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年3月現在の収穫量・出荷量は、米が45,320tと最も多くなっています。 市町別で見ると、魚津市はだいこんや養豚など、滑川市はハトムギ、黒部市はソバやねぎなど、入善町は米やジャンボ西瓜など、朝日町はきゅうりやばれいしょなどが他の市町と比較して多くなっています。 	<ul style="list-style-type: none"> 「入善ジャンボ西瓜」など市外からも認められる農産物のブランド地位を維持し、全国に向けた継続的な情報発信が必要です。
	作付面積・飼養頭羽数	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年3月現在の作付面積は、地域全体で9,957haとなっており、主穀作が97.5%（うち米が81.5%）、園芸作物が1.6%を占めています。 飼養頭羽数を見ると、黒部市は酪農、入善町は肉牛、魚津市は養豚や養鶏が他の市町と比較して多くなっています。 	<ul style="list-style-type: none"> 米の生産を維持するとともに、新規作物の導入による新たな需要の創出が必要です。
	有害鳥獣による農作物被害	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年の被害額は3,058万円であり、平成25年の1,626万円から88.1%増加しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 鳥獣被害防止に向けた対策が必要です。
	農業団体組織	<ul style="list-style-type: none"> 農業団体組織は、「魚津市農業協同組合」「アルプス農業協同組合」「黒部市農業協同組合」「みな穂農業協同組合」があります。 組合ごとに方針を定め、農業振興の推進を図っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 組合相互間の連携により、それぞれの良さを活かしながら農業振興を図ることが必要です。
生活環境の整備状況	道路・公共交通	<ul style="list-style-type: none"> 道路は、広域幹線道路として、南西から北東にかけて北陸自動車道、国道8号、広域農道が並走しており、周辺圏域との連絡道路として利用されています。南北方向は、県道を軸に市町道がこれを補完する形で整備されています。 公共交通は、南西から北東にかけて北陸新幹線とあいの風とやま鉄道線が走り、あいの風とやま鉄道線と一部並走しながら富山市と宇奈月温泉を結ぶ富山地方鉄道が敷設され、各市町の交通輸送面の機軸となるほか、幹線を中心に路線バス・コミュニティバスが運行されています。 	<ul style="list-style-type: none"> 北陸自動車道などの良好な交通アクセス条件や拠点を活かした地域間交流の活性化が必要です。 少子高齢化に対応した公共交通の維持・充実が必要です。
	水道	<ul style="list-style-type: none"> 水道の状況について、本地域全体の水道普及率は75.6%となっています。市町別で見ると、滑川市の水道普及率が97.7%であるのに対して、入善町は22.9%となっています。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の実情を踏まえた効率的な水道整備の推進により、市町ごとの格差を解消することが必要です。
	下水道	<ul style="list-style-type: none"> 下水道の状況について、本地域全体の下水道普及率は96.2%となっています。市町別で見ると、入善町の下水道普及率が100.0%であるのに対して、朝日町は87.4%となっています。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の実情を踏まえた効率的な下水道整備の推進により、市町ごとの格差を解消することが必要です。

項目		地域の情勢	地域の課題
生活環境の整備状況	情報通信	<ul style="list-style-type: none"> 光ファイバ整備状況について、市町別の利用可能世帯率は平均して9割を超えています。入善町は83.56%と下回っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 光ファイバなどの情報通信インフラの整備により、市町ごとの格差を解消することが必要です。
	教育	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年現在、小学校29校（児童数6,809人、教員数527人）、中学校9校（生徒数3,710人、教員数272人）、高等学校8校（生徒数3,163人）があります。 少子化の傾向から、今後さらに子どもの数が減少していくことが予測されます。 	<ul style="list-style-type: none"> 少子化への対応、教育環境を充実させるとともに、食農教育等の継続的な実施による次世代の担い手の確保・育成が必要です。
	保健・医療	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年10月現在、医療施設として病院が16箇所、一般診療所が95箇所、歯科診療所が59箇所あります。 平成30年12月現在、医療従事者数は、医師が312人、歯科医師が82人、薬剤師が300人、看護師・准看護師が2,018人となっています。 	<ul style="list-style-type: none"> 少子高齢化等に対応した地域の医療体制の充実が必要です。
	社会福祉	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年現在、保育所の施設数は47箇所、民生委員数は439人、老人クラブのクラブ数は309箇所あります。 保育所と老人クラブについては、平成20年から平成30年にかけて減少傾向にあります。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育所等の施設数を適正に維持するとともに、子育て環境の充実が必要です。 高齢者が安心して暮らせるよう福祉環境の充実が必要です。
	環境保全	<ul style="list-style-type: none"> ごみ計画処理区域内人口と総人口を比較すると、ごみ計画処理区域内人口は5市町の人口を網羅しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、適切なごみ処理を行うなど、環境を保全することが必要です。
地域資源の分布	自然・観光資源	<ul style="list-style-type: none"> 宇奈月温泉などの自然や地形を活かしたものなど、地域住民が大切に守り続けてきた地域資源が広く地域に分布しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 広く地域に分布する自然・観光資源の保全・活用が必要です。
	行事・イベント	<ul style="list-style-type: none"> たてもん祭りや鹿嶋神社稚児舞などの地域の伝統文化を受け継いだものなどがあり、地域に親しまれています。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域交流に関する取り組みとの連携強化が必要です。
	歴史・文化資源	<ul style="list-style-type: none"> 国、県、市・町指定の文化財が数多く存在しており、国指定文化財が17件（うち、国選択が1件）、県指定文化財が31件、市・町指定文化財が164件（うち、市準指定が2件）となっています。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の特性を有する文化資源の保全・活用することが必要です。
	特産品・直売所	<ul style="list-style-type: none"> 本地域には、ほたるいか、チューリップ、ヒスイなど、地域の特性や風土に根付いた多様な特産品があります。 直売所では、地域の特産品が販売されています。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の特性や風土に根付いた多様な特産品の振興が必要です。
地域づくり・交流活動の状況		<ul style="list-style-type: none"> 本地域には、地域づくりや交流活動を行うNPO法人が、魚津市に11団体、滑川市に9団体、黒部市に16団体、入善町に5団体、朝日町に2団体あります。 	<ul style="list-style-type: none"> 農業振興に関わる活動との連携や支援の検討が必要です。 団体相互間の連携により、地域づくり、交流活動の推進を図ることが必要です。

② アンケート調査の結果で得られた地域の課題

	項目	調査結果	地域の課題
農業との関わり方	現在の農業との関わり方	<ul style="list-style-type: none"> 「農地は所有していない」が約5割と最も多く、次いで「個人、または法人に農地を全て委託している」「農地を所有または借入れて自家農業を経営している」が多くなっています。 現在、農業に関わっている方は約3割、関わっていない方は約7割となっています。 	<ul style="list-style-type: none"> 農業に関わっている方への継続的な支援に加え、人材の確保、後継者の育成が必要です。
	10年後の農業との関わり方	<p>◇現在、農業に関わっている方について</p> <ul style="list-style-type: none"> 「個人、または法人に農地をすべて委託したい」「営農組織の構成員として、農作業に出役するなど経営に参画したい」がそれぞれ2割以上と多くなっています。 今後、農業との関わりを薄くしたい方が約4割となっており、その理由として「農業機械の更新に多額の費用がかかる」「後継者がいない」「農業所得が不安定・低い」がそれぞれ4割以上と多くなっています。 今後の農地活用として「借り手があれば貸したい」が約6割と最も多く、次いで「買い手があれば売りたい」「家庭菜園程度に管理したい」が多くなっています。 <p>◇現在、農業に関わっていない方について</p> <ul style="list-style-type: none"> 「関心はあるが関わりたいとは思わない」が約3割と最も多く、次いで「家庭菜園を始めたい」「農業に興味がない」が多くなっています。 今後、農業に関わりたいと思っている方は約4割となっています。 	<ul style="list-style-type: none"> 農業機械等の導入支援などによる経営基盤の安定・強化が必要です。 人材の確保、後継者の育成が必要です。
	集落での行事や活動	<ul style="list-style-type: none"> 集落での行事や活動について「知っている」「多少知っている」の合計が約8割と多く、年齢が高くなるにつれて認知度が高くなっています。 今後の地域の住民活動について「現在、十分関わっており、今後も参加したい」「現在はあまり関わっていないが、今後は参加したい」の合計が約7割と多く、特に40～64歳が7割以上と多くなっています。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の住民活動等による交流の推進が必要です。
地域に対する思い	地域で誇りに思うこと	<ul style="list-style-type: none"> 「景観・自然環境」が約5割と最も多く、次いで「助け合いなど地域の絆」「祭り・イベント等」が多くなっています。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の誇りである景観や自然環境の保全が必要です。
	日常で困っていること	<ul style="list-style-type: none"> 「地域に若い世帯が少なく、今後、住んでいる地域の維持が困難になる可能性がある」が約5割と最も多く、次いで「クマ、イノシシやサルが出没しており、農作物のほか自分も被害に遭わないか心配」「日用品の購入にあたり、店舗まで遠く買い物が不便である」が多くなっています。 	<ul style="list-style-type: none"> 少子高齢化への対策強化が必要です。 鳥獣被害への対策強化が必要です。 日常生活での移動の足となる公共交通の確保が必要です。
	地域への定住意向	<ul style="list-style-type: none"> 「強くそう思う」「そう思う」の合計が約7割と多く、「そうは思わない」「まったくそうは思わない」の合計は1割を下回っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民が求める行政支援の充実が必要です。
農業・農村の維持や発展に向けて	農業・農村が持つ多面的機能	<ul style="list-style-type: none"> 農業・農村が持つ多面的機能について「知っている」「多少知っている」の合計が約6割と多く、年齢が高くなるにつれて認知度が高くなっています。 多面的機能の維持において重要なことは、「農業用施設の適切な保全管理」が約6割と最も多く、次いで「集落や水路、農道等の良好な景観維持・形成」「遊休農地の解消や発生防止」が多くなっています。 	<ul style="list-style-type: none"> 農業用施設の適切な保全管理が必要です。 地域住民が誇りに思える景観の保全が必要です。 農地転用などによる遊休農地の活用が必要です。

項目		調査結果	地域の課題
農業・農村の維持や発展に向けて	農村地域の維持や発展に重要なこと	<ul style="list-style-type: none"> ・「雇用の確保」が約5割と最も多く、次いで「空き家の利活用」「公共交通の充実」が多くなっています。 ・「鳥獣侵入防止柵の設置等による被害軽減」については、中山間地域が約5割と多くなっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農村地域住民の<u>雇用の確保</u>が必要です。 ・農村地域の発展に向け、<u>空き家の利活用等</u>が必要です。 ・日常生活での移動の足となる<u>公共交通の確保・維持</u>が必要です。 ・<u>鳥獣被害への対策強化</u>が必要です。
	地域農業の維持や発展に重要なこと	<ul style="list-style-type: none"> ・「農作業へのICT機器の導入」「農業生産や生活に必要なインフラの整備」がそれぞれ約3割と最も多く、次いで「耕作放棄地の復元への支援」が多くなっています。 ・「鳥獣被害への対策強化」については、中山間地域が約5割と多くなっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTなどの<u>先端技術の活用等による農作業の省力化</u>が必要です。 ・<u>農業生産や生活に必要なインフラの整備</u>が必要です。 ・<u>耕作放棄地の復元への支援</u>が必要です。 ・<u>鳥獣被害への対策強化</u>が必要です。

(2) 重点課題

①にいかわ地域の現状

地域の情勢

(※下記に示す数値は、本地域に含まれる市町の合計値)

●人口

- 総人口** 地域全体の人口(H27)は15.4万人であり、**5市町ともに人口が減少傾向**(H12比で▲8%) [p11~12]
- 年齢別人口** **少子高齢化が進行**し、65歳以上の人口(H27)は32%まで増加(H12比で+10%) [p13~14]

●農業・農村

- 就業人口** **第1次産業の就業人口割合は全体の約5%**であり、年々減少傾向 [p15~16]
- 農家数** **農家数は減少傾向、高齢化も進行**(H27:4,453戸、H12比で▲53%) [p17~19]
- 認定農業者数・集積率** 認定農業者数(R1)は406経営体であり、**農地の約7割が担い手に集積**[p20]
- 経営耕地面積** **経営耕地面積は減少傾向**(H27:約1.1万ha、H12比で▲6%) [p21]
- 耕作放棄地** **耕作放棄地は微増傾向**(H27:140ha、H12比で+12ha) ※土地持ち非農家の面積は除く [p22]
- 作付面積** 地域全体(R2)で9,957haであり、**主穀作が98%(米82%)、園芸作物が2%**を占める [p24]
- 特産品** **ねぎ、さといも、だいこん、すいか等の野菜や、りんご、なし、もも、かき等の果樹**を生産 [p69~74]
- 鳥獣被害** **有害鳥獣による農産物の被害額は増加傾向**(R1:3,000万円)[p25]

●生活環境

- 交通** 北陸新幹線金沢開業により広域交通の利便性が飛躍的に向上したが、地域交通については一部で公共交通空白地域が存在 [p27]
- 下水道** 地域全体の下水道普及率は96%。入善町が100%に対して、朝日町が87% [p28]
- 教育・保険・医療・福祉** 少子化により減少する児童・生徒に対するより良い教育環境の確保や、高齢化による健康・医療・福祉に関する需要増加への対応 [p29~33]

●地域資源の分布

- 自然・観光資源** 立山連峰から扇状地、ヒスイ海岸に至る山・川・海の豊かな自然が存在 [p35~49]
- 行事・イベント** 農村文化を継承する行事や山・川・海の多様なイベントが開催 [p51~57]
- 歴史・文化資源** 国指定文化財が17件、県指定文化財が31件、市・町指定文化財が164件指定 [p59~67]

●地域づくり・交流活動

- NPO法人** 本地域にNPO法人が43団体存在 [p77~78]

農村振興に関するアンケート調査 (2020年10月実施)

●農業との関わり方

—現在と10年後の農業との関わり方

- ◇現在、農業に関わっている方(約3割)
 - ▶「個人や法人に農地をすべて委託したい(約2割)」「営農組織の構成員として、農作業に出役するなど経営に参画したい(約2割)」が上位
 - ▶今後、農業との関わりを薄くしたい方が約4割。その理由として「農業機械の更新に多額の費用がかかる(約6割)」「後継者がいない(約5割)」「農業所得が不安定・低い(約4割)」が上位
 - ▶今後の農地活用として「借り手があれば貸したい(約6割)」「買い手があれば売りたい(約4割)」「家庭菜園程度に管理したい(約3割)」が上位
- ◇現在、農業に関わっていない方(約7割)
 - ▶今後、農業に関わりたいと思っている方は約4割

●地域に対する思い

- 定住意向** 「住み続けたいと思う」との回答が約7割、「住み続けたいとは思わない」との回答は1割未満
- 地域の誇り** 「景観・自然環境(約5割)」「助け合いなど地域の絆(約3割)」「祭り・イベント等(約2割)」が上位
- 日常生活で困っていること** 「若い世帯が少なく、今後の地域の維持が困難になる可能性がある(約5割)」「有害鳥獣の出没で、農作物や自分が被害に遭わないか心配(約3割)」「日用品の購入の際、店舗まで遠く買い物が不便である(2割)」が上位

●農業・農村の維持や発展に向けて

- 農業・農村が持つ多面的機能** 多面的機能に関する認知度は約6割。年齢が高くなるにつれて高い認知度
- 多面的機能の維持において重要なこと** 「農業用施設の適切な安全管理(約6割)」「集落や水路、農道等の良好な景観維持・形成(5割)」「遊休農地の解消や発生防止(約4割)」が上位
- 農村地域の維持や発展に重要なこと** 「雇用の確保(約5割)」「空き家の利活用(約3割)」「公共交通の充実(約3割)」が上位。「鳥獣侵入防止柵の設置等による被害軽減」については、中山間地域で約5割
- 地域農業の維持や発展に重要なこと** 「農作業へのICT機器の導入(約3割)」「農業生産や生活に必要なインフラの整備(約3割)」「耕作放棄地の復元への支援(約2割)」が上位。「鳥獣被害への対策強化」については、中山間地域で約5割

②上位・関連計画の整理

(1) 元気とやま創造計画 (2018.3 : 2018~2026年度)

【全体の目標】 みんなで創ろう！人が輝く 元気とやま新時代—活力、未来、安心のふるさと—

【計画のポイント】

1. 意欲ある若い担い手の育成・確保
2. 農地集積の促進や農業経営基盤の強化
3. 多様な園芸産地の育成
4. 生産性の高い農業の確立

(2) 富山県農業・農村振興計画 (2018.5 : 2018~2026年度)

【全体の目標】 将来にわたり発展する「競争力の高い農業」と「豊かで美しい農村」の実現

【計画のポイント】

1. 農業所得の向上
2. 「競争力の高い農業」の実現
3. 「豊かで美しい農村」の実現

(3) 富山県農業農村整備実施方針 (2019.8 : 2019~2026年度)

【計画のポイント】

1. 水(施設)の適切な管理と強靱な基盤の形成
2. 競争力の高い農業を支援する土(農地)の整備
3. 豊かで美しい里(農村)の形成

③にいかわ地域における課題の整理

人口減少・少子高齢化に伴い、本地域でも農業従事者の不足が顕著となり、生活基盤・農業生産基盤を安定させつつ、担い手の確保・育成を図りながら、農地生産の効率化や農地集積の加速などを図る必要があります。一方で、本地域は4,000mの高低差で育まれた自然・景観・文化・歴史といった地域資源など多くの強みを有し、さらに、このまま住み続けたいと思っている地域住民の意向が高いことから、地域が団結して地域資源を維持・活用していくことが必要です。分野別の主な課題については、以下の通りです。

1. 農業に関する課題

●**農業生産** … 地域の個性を活かしたブランド力・販売力の強化、消費者視点の農業生産の推進、安全な食品の提供

●**農業基盤** … 生産性向上につながる農業基盤の整備・維持、耕作放棄地の解消と発生防止

2. 人に関する課題

●**担い手** … 農業の担い手の確保・育成、担い手への農地集積の促進、経営基盤の安定・強化

●**交流** … 都市間交流の促進や地域を支える各種団体の連携による地域の活性化

3. 農村に関する課題

●**自然・文化** … 山・川・海の豊かな自然や歴史・文化、景観の保全・活用

●**生活環境** … 鳥獣被害対策の推進、幅広い世代が安全・安心で快適に暮らせる生活環境の充実

第3章 地域の将来像

1. 地域の将来の望ましい姿

重点課題を踏まえ、本地域の将来像を次のとおり設定します。

4000mの高低差で育まれる地域の個性をつなぎ、 未来に誇れる「にいかわ地域」農業・農村の実現

2. 農村振興のテーマ

将来像を踏まえ、「農業づくり」「人づくり」「農村づくり」の3つの視点に着目し、農村振興のテーマを設定します。

(1) 地域の個性を活かす“農業づくり”

(対応する課題：農業生産、農業基盤)

深海1,000mの富山湾から3,000m級の山が連なる立山連峰まで4,000mの高低差のある大自然を有したにいかわ地域において、豊かな水を活かした米づくりを中心に、海洋深層水を使ったトマト栽培や収益性の高い園芸作物など、地域の特徴を活かした高品質な農産物の生産や販路拡大、各地域の農産物をつなぎ高付加価値の特産品を開発するとともに、最新技術の導入や優良農地の確保などにより生産基盤を強化し、安全でおいしいふるさとの味を提供することで、にいかわ地域の個性を活かした農業を実現します。

(2) 農業の未来をつなぐ“人づくり”

(対応する課題：担い手、交流)

少子高齢化の更なる進行を見据え、認定農業者や集落営農組織などの地域の担い手に農地を集約するとともに、経営基盤の安定・強化を図ります。さらに、特色ある地域の様々な資源を活用した交流促進により関係人口を創出し、各種団体の連携により地域内の人をつなぎ、地域を担う人材を確保・育成することで、にいかわ地域の農業を未来につなげる人づくりを推進します。

(3) 安全・安心で誇れる“農村づくり”

(対応する課題：自然・文化、生活環境)

山・川・海の多様な自然や景観、歴史、文化など様々な魅力を地域ぐるみで保全・活用するとともに、幅広い世代が安心して生活を営むことができるよう、災害や鳥獣被害に備えた対策を講じ、公共交通などの生活環境を維持・確保することで、地域の個性を活かした農産物や担い手の拠り所となる、安全・安心で誇れる農村を形成します。

第4章 農村振興に関する施策の基本方針

1. 地域の将来像の実現のために必要な施策



2. 推進プログラム

(1) 地域の個性を活かす“農業づくり”

①個性を活かした農産物の生産 (対応する課題：地域に適した農業の育成、新規作物の導入による新たな需要の創出 など)

○高品質で選ばれる米づくりの推進

- ・米政策の見直しに円滑に対応し、消費者や実需者の多様なニーズに柔軟に応えることができるよう、業務用米や非主食用米を含め、富山米の品揃えの充実を図ります。
- ・高品質でおいしく生産性の高い富山米づくりを推進するとともに、新品種「富富富」について、関係機関・団体が一丸となって栽培技術の確立や生産体制の構築を図り、富山県を代表するブランド米に育てます。
- ・全国一の種もみ産地として、良質な種子の安定供給を図り、高品質で良食味かつ安全・安心な富山米の生産振興にしっかりと取り組みます。

取り組み	具体的内容
多様な需要に対応した米づくり	経営所得安定対策・産地交付金 水田農業生産振興対策事業
高品質で生産性の高い米づくり	強い農業・担い手づくり総合支援交付金 産地パワーアップ事業 「富富富」生産振興対策事業
種もみの品質確保と生産体制の強化	とやまの種籾生産振興対策事業

○水田等をフル活用した麦、大豆等の生産推進

- ・農業所得を確保し、農業経営の安定を図るため、大麦・大豆や園芸作物等を組み合わせた生産を推進するなど、水田等のフル活用を進め、農業の生産性、収益性を高めるとともに、地域の特性や創意工夫を活かした地域農業の成長産業化を進めます。

取り組み	具体的内容
高品質な大麦・大豆の生産推進	とやま型水田フル活用促進事業
非主食用米等の生産推進	経営所得安定対策・産地交付金

○園芸作物の生産推進

- ・地域の条件に応じた「1億円産地づくり」によるねぎ等の大規模な産地形成、施設園芸や新技術の導入による収益性の高い園芸作物の生産振興、薬用作物の生産性向上・産地化などによる多様な産地の形成を図り、担い手の育成・確保を推進するなど、園芸生産が一層拡大するよう、市町や関係団体と一体となって積極的に取り組みます。

取り組み	具体的内容
「1億円産地づくり」等による大規模な産地形成	1億円産地づくり加速化事業
収益性の高い園芸作物の生産	とやまの園芸産地グレードアップ事業
多様な園芸産地の形成	とやまの園芸産地グレードアップ事業

○畜産物の生産推進

- ・畜産生産基盤の強化や生産技術の高位安定化による生産拡大、担い手の確保、品質向上やブランド化による競争力強化などにより、畜産経営の持続的な発展と成長産業化を図ります。

取り組み	具体的内容
畜産生産基盤の整備	畜産クラスター事業 中山間地域活性化資金利子補給
畜産経営基盤の安定・強化	畜産経営向上対策事業
地域と調和した畜産経営の推進	畜産物安全性確保総合対策事業

○付加価値の高い商品・サービスの開発

- ・消費者や実需者等のニーズを踏まえ、付加価値の高い商品・サービスの開発や新たな販売に取り組む生産者に対し、6次産業化や農商工連携等を通じた支援を行うことで、農業者の所得増大を図ります。
- ・県、企業、関係団体等が連携し、地域資源を活用した、高品質で付加価値の高い商品開発を推進します。

取り組み	具体的内容
商品・サービスの開発や販路開拓に取り組む農業者への支援	とやま型農業経営支援事業 6次産業化とやまの魅力発信事業
地域産品の高付加価値化への取り組みの推進	6次産業化とやまの魅力発信事業 地産地消「とやまの旬」応援団提案活動支援事業
競争力のある農産物や薬用作物等の生産	新品種・新技術の確立支援事業 薬用作物産地確立支援事業

○農産物等の輸出促進

- ・本地域で生産された農産物等のブランド力向上や、海外市場に向けた専門人材の確保、輸出に取り組む事業者への生産・販売両面における支援体制の整備等により、米や地域産農産物等の輸出の促進を図ります。

取り組み	具体的内容
米や地域産農産物等の輸出力の強化	経営所得安定対策・産地交付金 産地パワーアップ事業
海外需要に応じた付加価値の高い商品の開発・生産	経営所得安定対策・産地交付金 産地パワーアップ事業

【目標指標】

目標指標	現状	目標	
米の1等比率	92.7%	95%	R5
大麦・大豆の単収 (大麦)	267kg/10a	350kg/10a	R5
(大豆)	157kg/10a	250kg/10a	
大豆の1～3等比率	14.8%	50%	R5
1億円産地づくり戦略品目 (ねぎ、さといも、だいこん)の栽培面積	53ha	70ha	R5
飼料用米栽培面積	205ha	242ha	R5

②個性を高める生産基盤の強化 (対応する課題：農業用施設の適切な保全管理、先端技術の活用等による農作業の省力化 など)

○農業水利施設の保全・高機能化

- ・老朽化が進行した農業用排水路について、機能保全計画に基づきひび割れ補修や表面被覆工法などの機能保全対策を実施することで、施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を図ります。
- ・また、水管理労力の削減に向けたパイプライン化やICT化等の農業水利施設の高機能化を推進します。

取り組み	具体的内容
農業水利施設の適切な維持管理	施設管理体制整備促進事業 水利施設整備事業
農業水利施設の高度化（水管理の省力化）	水利施設整備事業
農業水利施設の公益的機能の理解の醸成	施設管理体制整備促進事業 農村環境創造基金事業

○ICT等を活用した省力化、高品質化等の推進

- ・ICTやロボット技術を活用したスマート農業の普及により、農作業の省力化や高品質化など農産物の生産を推進します。
- ・消費者や実需者等のニーズを踏まえ、夏季の高温など気候変動に対応した安全で高品質な農産物栽培技術や畜産物の高品質化を図るための生産技術の導入を推進します。

取り組み	具体的内容
先端技術を活用した実用性の高い新技術導入の推進	農業競争力強化農地整備事業 とやま型水田スマート農業推進事業
地域特性に応じた農業生産基盤の整備	農業競争力強化農地整備事業 中山間地域農業農村総合整備事業
ハード事業（中山間）との連携	中山間地域農業農村総合整備事業

○農地の大区画化・汎用化の推進

- ・ 小区画や不整形で作業効率が悪いほ場を大区画化し、地域の農業経営体や農地中間管理機構（農地バンク）を通じ、農地の集積・集約化を一層促進させ、労働生産性の向上を図ります。
- ・ 園芸作物等の生産を可能とする汎用化整備を行い、農作物の収量・品質を高め、生産性の向上を図ります。

取り組み	具体的内容
意欲ある多様な農業経営体を育成・支援する基盤整備の推進	農業競争力強化農地整備事業 農地中間管理機構関連農地整備事業
土地改良施設の計画的な整備更新、適切な維持管理	農業競争力強化農地整備事業 多面的機能支払支援事業 中山間地域等直接支払事業
高生産性農業に向けた大区画化等の推進	農業競争力強化農地整備事業
水田における園芸作物（高収益作物）等の生産を可能とする排水対策等の整備	農業競争力強化農地整備事業 農地耕作条件改善事業

○優良農地の確保

- ・ 農業振興地域制度や農地転用許可制度の適切な運用、日本型直接支払制度の活用、担い手への農地の利用集積等を通じて、優良農地の確保を図ります。
- ・ 農地の集積や作物の計画的な作付けを推進するなど、耕作放棄地の発生抑制・再生に努め、農地の効率的な利用を促進します。

取り組み	具体的内容
優良農地の確保	耕作放棄地総合対策事業 多面的機能支払支援事業 中山間地域等直接支払事業 環境保全型農業直接支援対策事業
農地の効率的な利用の推進	農業競争力強化農地整備事業 とやま型水田フル活用促進事業 農地中間管理事業

○小水力発電の推進

- ・ 農業水利施設の適切な維持管理や土地改良区の運営基盤の強化にも資する、農業用水を利用した小水力発電など自然エネルギーを活用し、脱炭素社会への取り組みを推進します。

取り組み	具体的内容
農業用水等を利用した小水力発電の推進	農山漁村地域整備交付金事業
小水力発電の普及啓発と効果の地域連携	農山漁村地域整備交付金事業 県単独事業（調査・調整事業）

【目標指標】

目標指標	現状	目標	
農業水利施設の管理協定締結数	49	61	R12
機能保全計画に基づいた水路整備延長	5.3km	11km	R12
ICTなど先端技術を活用した新技術の導入地区	2	7	R12
ほ場整備面積	10,815ha	11,000ha	R12
水田汎用化整備面積	5,932ha	7,000ha	R12
大区画ほ場面積（1ha以上）	134ha	200ha	R12
農地（耕地）面積	11,918ha	11,900ha	R12
農業用水を利用した小水力発電の整備箇所数	9	11	R12

③ふるさとを味わう食の提供 (対応する課題：農業の維持・発展、地域に適した農業の育成 など)

○食育や地産地消の推進

- ・ライフステージに応じた健康増進につながる食生活の実現、伝統的な食文化の継承、食の循環や環境を意識した食品ロス削減につながる食育を推進します。
- ・魅力ある特産品の開発や学校給食での地産食材の活用拡大、直売所・インショップの開設支援など、安全で安心な地産の農産物や林産物などの生産・供給体制の強化や地域産品の活用・購買気運の醸成を図り、地産地消を推進します。

取り組み	具体的内容
食育の推進	富山型食生活普及推進事業 県産食材活用拡大プロジェクト事業
地域ぐるみの地産地消の推進	地産地消「とやまの旬」応援団提案活動支援事業

○食品の安全確保の推進

- ・食の安全に関する情報提供の充実、適正農業管理（GAP）の普及やHACCPによる衛生管理の徹底、適正な食品表示などの取り組みにより、農産物や林産物などの生産から食品の製造・流通・消費に至る全ての段階を通じ、安全・安心な地域産品の生産・供給を進めます。

取り組み	具体的内容
安全な農林水産物の供給と食品の安全確認体制の強化	有機 JAS 認証、GAP 認証取得支援事業
食品の安全に関する情報発信等の充実強化	食品安全対策推進事業 食品安全対策事業
食品表示の適正化の推進	食品表示適正化推進事業 食品表示等指導強化対策事業

○環境にやさしい農業の推進

- ・化学肥料・農薬の使用を低減するエコファーマーの取り組みや有機農業などの環境にやさしい農業を推進します。
- ・「富山県適正農業規範（とやまGAP規範）」等に基づく安全・安心な農業の普及と実践により、持続性の高い農業や高品質な農産物の生産拡大を進めます。

取り組み	具体的内容
環境にやさしい農業の推進	有機 JAS 認証、GAP 認証取得支援事業 とやま GAP 実践推進事業 環境保全型農業直接支援対策事業
環境にやさしい農業の啓発等	環境保全型農業直接支援対策事業

【目標指標】

目標指標	現状	目標	
インショップにおける農林水産物等販売額	143,400 千円	162,960 千円	R5
直売所における農林水産物等販売金額	110,080 千円	129,300 千円	R5
有機・特別栽培農作物の栽培面積	137ha	226ha	R5
GAPの認証取得経営体数	16	21	R5

(2) 農業の未来をつなぐ“人づくり”

①意欲ある人材の確保・育成 (対応する課題：人材の確保・育成、経営基盤の安定・強化 など)

○地域を支える担い手の確保・育成

- ・認定農業者や集落営農組織などの担い手を育成し、意欲ある農業者が地域農業の中心となる地域営農体制の構築を図ります。
- ・「あさひ農学舎」や地域おこし協力隊の活用、「とやま農業未来カレッジ」との連携及び農業機械への導入支援などにより、地域農業を支え、次世代を担う青年農業者や外国人を含め、多様な担い手の育成・確保と定着に、関係機関と連携して積極的に取り組みます。
- ・女性農業者による農産加工や直売等の企業活動を支援し、女性の就農と定着を図ります。

取り組み	具体的内容
新規就農者、青年農業者の確保・育成	担い手育成・規模拡大推進事業
女性農業者の起業活動等への支援	がんばる女性農業者支援事業
地域の実情に応じた多様な担い手の確保	とやま型農業成長戦略チャレンジ支援事業 中山間農業者所得向上モデル事業
魅力ある地域資源の磨き上げ、観光を担う人材の育成	とやま型中山間地域資源利活用推進事業

○担い手の経営力向上と経営基盤強化

- ・スマート農業の実践や高収益作物の導入等、収益性の高い経営モデルの確立を目指して農業所得増大に取り組む、経営感覚に優れた農業経営者を育成します。
- ・農地集積の促進による規模拡大、経営の複合化などに必要な農業機械等の導入支援、農業経営体の法人化などを進め、担い手の経営基盤の一層の強化を図ります。

取り組み	具体的内容
担い手の経営力向上と経営基盤強化	強い農業・担い手づくり総合支援交付金 農地中間管理事業
地域営農体制の構築と基盤強化	とやま型農業経営支援事業 農地中間管理事業

○土地改良区の体制強化

- ・組織の再編や土地改良区会計の複式簿記化など運営基盤強化に繋がる取り組みを推進し、土地改良区の体制強化を図ります。

取り組み	具体的内容
土地改良区の組織・運営基盤の強化	統合再編整備事業
土地改良区への業務支援	県土連が行う指導・支援事業
改正土地改良法への対応	土地改良施設資産評価データ整備事業

【目標指標】

目標指標	現状	目標	
新規就農者数	15	17	R5
農村女性起業数	47	50	R5
担い手による経営面積の割合	73%	76%	R5
認定農業者数	406	389	R5
法人経営体	144	152	R5
土地改良区数	12	7	R5

②地域愛を高める地域内外の交流の強化 (対応する課題：地域資源を活用した交流の推進、情報発信の強化 など)

○未来を担う子ども達への郷土愛を醸成

- ・農業体験のほか、田んぼの生き物調べなどを通じ、農業の営みと身近な環境に生息する生物への理解や、ふるさとの魅力に気づく機会をつくり、子ども達が将来も住み続けたいと思う地域への愛着を育みます。
- ・歴史的な土地改良施設や基幹的農業水利施設の見学会を通じ、新田開発や土壌改良に取り組み、成しとげた歴史を学ぶとともに、山から海まで4,000mの高低差が織りなす水循環の過程で農業用水が果たす多面的機能への理解を深めます。
- ・森づくりへの理解を深め、県民参加を推進するとともに、将来を担う子ども達への木育を通じ、地域への愛着を育みます。

取り組み	具体的内容
学校と地域との連携による情操教育の推進	田んぼの生き物調べ 放課後子ども教室推進事業・土曜学習推進事業
基幹的農業水利施設の見学会の開催	管理体制整備促進事業 歴史的な土地改良施設広報啓発事業
とやまの森づくり普及啓発推進	水と緑の森づくり事業

○都市農村交流の推進

- ・「とやま帰農塾」等と連携し、農山村の文化や豊かな自然に触れ、田舎暮らしを体験する交流活動等を通じて、都市住民の移住・定住を促進します。
- ・また、都市住民を対象に、「とやまの田舎」等への参加誘導を促進し、中山間地域を主体に都市農村交流の取り組みを支援します。

取り組み	具体的内容
都市農村交流の推進	とやまの田舎交流支援事業 帰農塾の開催
移住・定住の促進	定住・半定住受入モデル地域育成支援事業

○「にいかわ地域」のPR強化

- ・食のとやまブランドマーケティング戦略のもと、消費者や実需者のニーズを捉えた販売促進活動や広報活動を強化することで、「にいかわ地域」ならではの食の魅力積極的に地域内外に発信します。

取り組み	具体的内容
食のとやまブランド推進の取り組みの充実・強化	「越中とやま食の王国」づくり事業
にいかわ地域の食の魅力発信の充実・強化	ふるさと魅力再発見・PR事業

【目標指標】

目標指標	現状	目標	
地域の水循環を学ぶ基幹的水利施設の見学会 (施設数)	8	10	R8
体験交流人口	37,275 人	40,000 人	R8
交流地域活性化重点地域 (指定数)	11	14	R8

(3) 安全・安心で誇れる“農村づくり”

① 快適で豊かな農村環境の形成 (対応する課題：景観・自然環境の保全、鳥獣被害への対策強化 など)

○ 美しい農村環境の整備・保全

- ・ 水田等に生息する動植物に配慮した水路等の基盤整備や、地域ぐるみによる維持管理活動の推進により、美しい農村環境を保全します。
- ・ 棚田などの農村の豊かな景観や環境を次世代に残すための地域づくり協定に基づく保全管理活動や棚田地域振興法に基づく振興活動などを支援します。
- ・ 多面的機能支払支援事業等により、活動中の集落には、地域資源の適切な保全管理のための活動と農業用施設の軽微な補修や長寿命化のための活動を継続的に実施し、農業・農村の多面的機能の維持・発展を図ります。

取り組み	具体的内容
快適な農村環境の整備	中山間地域農業農村総合整備事業 農山漁村振興交付金 多面的機能支払支援事業 中山間地域等直接支払事業
農村環境の保全管理の推進	農山漁村振興交付金 多面的機能支払支援事業 中山間地域等直接支払事業
施設の長寿命化と農村環境保全のための活動	中山間地域農業農村総合整備事業 多面的機能支払支援事業

○ 持続可能な中山間地域の振興

- ・ 中山間地域において、集落の自発的・主体的な取り組みを基本とした集落機能の維持・活性化や、集落間でのネットワーク形成の取り組みにより、地域全体でのコミュニティ機能の維持・強化を戦略的に推進します。
- ・ 人口の減少により、さまざまな分野での担い手が不足していることから、平野地域を含めた多様な関係人口の増加を促進し、サポート体制を構築します。
- ・ 収益性の高い農業の実現に向けて、園芸作物の導入を積極的に推進するとともに、集落営農をはじめとした組織による雇用の創出を目指します。
- ・ 中山間地域の特色を活かした農業生産基盤と生産・販売施設等の整備について、一体的な推進を図ります。
- ・ 森林の持続的・効率的な経営を推進するため、森林を面的にまとめて具体的な経営方針を示す森林経営計画の策定を推進します。
- ・ 森林資源の循環利用に向け、本格的な利用期を迎えた人工林の計画的な主伐・再造林を推進します。

取り組み	具体的内容
戦略的な中山間地域振興の推進	中山間地域農業農村総合整備事業 元気な中山間地域づくり支援事業 中山間地域チャレンジ事業
担い手の確保と就農人口の増加	担い手育成・規模拡大推進事業 中山間地域農業農村総合整備事業
農業所得の向上に向けた園芸作物の導入推進	とやまの園芸産地グレードアップ事業 中山間地域チャレンジ事業
地域の特色を活かした農業生産基盤や生産・販売施設等の整備推進	中山間地域農業農村総合整備事業
効率的な林業経営を行うための集約化の推進	森林整備事業 農山漁村地域整備交付金 森林環境譲与税
利用期を迎えた人工林の主伐・再造林の推進	森林整備事業 優良無花粉スギ「立山 森の輝き」普及推進事業 県産材利用促進事業

○鳥獣被害防止対策の推進

- ・農作物被害を防ぎ、安心安全な暮らしを確保するため、集落環境管理や侵入防止柵の整備等、野生鳥獣の集落への侵入防止対策について、地域ぐるみでの取り組みを推進するほか、人員が不足する地域へのボランティアやサポーターの派遣・参加を進めます。
- ・猟友会の協力を得ながら、各市町村で組織する実施隊による捕獲活動の強化と、捕獲技術の次世代継承を図る農業者や地域住民等、捕獲従事者の育成に努めます。
- ・捕獲鳥獣は、管内の獣肉加工処理施設を核としたジビエ食材として利活用するほか、埋却・焼却による適正な処理を進めます。
- ・野生生物との棲み分けを目指し、地域住民との協働により、地域や生活に密着した明るい里山の再生に取り組みます。

取り組み	具体的内容
鳥獣被害防止対策の推進	中山間地域農業農村総合整備事業 鳥獣被害防止総合対策事業
野生鳥獣の適正な保護と管理	野生動物保護管理対策事業 鳥獣被害防止総合対策事業
ジビエの利活用	鳥獣被害防止総合対策事業 富山県獣肉利活用促進事業
野生生物との棲み分けを目指す、地域住民との協働による里山林の整備	里山再生整備事業 農山漁村地域整備交付金 森林・山村多面的機能発揮対策交付金

【目標指標】

目標指標	現状	目標	
農村環境保全活動の取り組み集落数	303 集落	312 集落	R8
棚田を保全する活動件数	5	6	R8
中山間地域等直接支払協定締結数	79	140	R8
農業・農村サポーター活動参加者数	44	100	R8
耕作放棄地面積	377ha	300ha	R8
イノシシによる農作物被害額	2,741 万円	1,584 万円	R8

②安全・安心な生活環境の整備 (対応する課題：公共交通の維持・確保、生活に必要なインフラの整備 など)

○防災・減災対策の推進

- ・近年増加傾向にある集中豪雨に対応し、法面崩壊による水路閉塞や溢水被害を未然に防止するため、山腹水路を暗渠化し、施設の保全による農作物の安定生産を図ります。
- ・また、老朽化や耐震強度が不足するため池を計画的に改修し、決壊による農業被害等の発生を防止します。
- ・農業用水路への転落事故を未然に防止するため、ソフト及びハード対策について、行政、関係団体、地域組織が連携し、ワークショップ等を通じて総合的に実施します。
- ・海岸防災林の整備により潮風害等の影響を緩和し、農業の発展に寄与します。
- ・山地災害などから山村地域の住民の生命や財産を守るための治山施設を整備し、災害に強い森づくり・県土づくりを進めます。

取り組み	具体的内容
災害の未然防止対策等の推進	農村地域防災減災事業
ソフト対策による被害の最小化	農村地域防災減災事業 防災対策推進事業
災害発生時の迅速な対応	災害復旧事業
住民の生命や財産を守る治山施設や森林の整備	民有林補助治山事業 農山漁村地域整備交付金 森林整備事業 保安林の指定と適切な管理

○生活インフラや公共交通等の生活環境の維持・確保

- ・豊かな生活環境を確保するため、日常的に利用する生活道路の整備を促進するとともに、少子高齢化や自然環境保全に対応した公共交通を推進します。また、生活に欠かせない情報通信網など生活インフラの整備を促進します。
- ・地域住民が安心して暮らすことができるように、空き家の利活用を推進します。
- ・山村地域における産業の活性化や山村の生活環境を改善するための林道等の路網の整備を進めます。

取り組み	具体的内容
生活道路の整備	中山間地域農業農村整備事業 林道事業
污水处理施設の整備の推進	農業集落排水事業 中山間地域農業農村総合整備事業
空き家の適切な管理と利活用	空き家ネットの活用

【目標指標】

目標指標	現状	目標	
防災重点農業ため池の防災対策の実施箇所数	14	30	R12
農地地すべり防止施設の機能保全対策地区	0	3	R12
空き家情報バンクのマッチング率	35.5%	40%	R12

3. ゾーンごとの取り組みと連携の方針

にいかわ地域の農村が抱える様々な課題を改善するとともに、更なる付加価値の向上など競争力の高い農業を実現するためには、地区ごとの対応では難しく、各地で培ってきた農産物・人・地域の多様な個性をつなぐことが重要です。

本計画で示す取り組みの具体化を図るために、地域特性が類似する「都市・平地農業ゾーン」「中山間農業ゾーン」の2つのゾーンに分類し、各ゾーンの主な取り組みを示すとともに、地域内外における、農産物・人・地域をつなぐ「連携軸」を位置付けることで、未来に誇れる持続可能な農業・農村を目指します。

【連携軸のイメージ】



農村振興基本計画図

都市・平地農業ゾーン

1. 地域の個性を活かす“農業づくり”

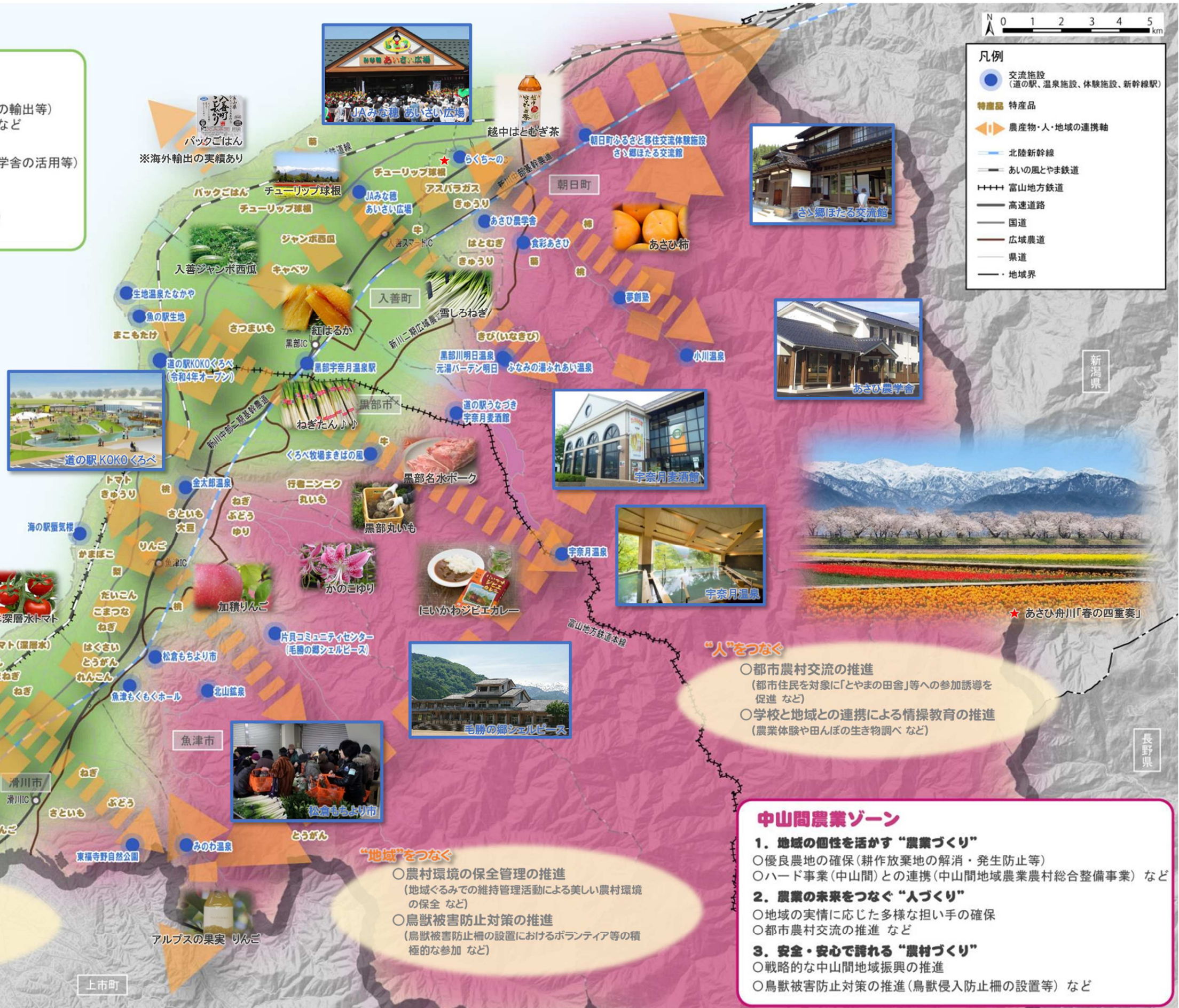
- 米や地域産農産物等の輸出力の強化(パックごはんの輸出等)
- 優良農地の確保(耕作放棄地の解消や発生防止等) など

2. 農業の未来をつなぐ“人づくり”

- 地域の実情に応じた多様な担い手の確保(あさひ農学舎の活用等)
- 移住・定住の促進(とやま帰農塾の活用等) など

3. 安全・安心で誇れる“農村づくり”

- 災害の未然防止対策等の推進(海岸防災林の整備等)
- 空き家の適切な管理と利活用 など



4. 計画の推進体制

近年の農業・農村を取り巻く環境の変化に柔軟に対応しながら、地域の個性をつなぎ、未来に誇れる農業・農村を実現するため、関係機関の自主的な取り組みのもとに、各機関の体質強化を促進します。

さらに、地域内の農林振興センターや市町のほか、JAや土地改良区、新川森林組合、各種協議会、農家・農家組合と緊密に連携しながら、新川管内中山間地域活性化推進連絡会議を通じて施策や取り組みなどを検討・実行し、持続可能な農村振興を図ります。



にいかわ農村振興基本計画

令和3年3月 発行

〒937-0863 富山県魚津市新宿 10-7 (魚津総合庁舎内)
富山県新川農林振興センター 指導課 計画班

TEL : 0765-22-9137

FAX : 0765-22-9154